

# 鳥取県がん登録事業報告書

平成17年標準集計結果

平成22年3月

鳥 取 県

鳥取県健康対策協議会

## はじめに

此の度、鳥取県健康対策協議会・がん登録対策専門委員会により、「鳥取県がん登録事業報告書、平成17年標準集計結果」が作成されました。これも、ひとえに日頃からご協力、ご支援いただいております届出医療機関の方々のご尽力の賜と心より深く感謝申し上げます。

鳥取県がん登録事業の大きな目的の一つは、県内におけるがん罹患の状況を出来る限り正確に把握し、県民のがん対策に寄与することと考えています。全国の動きとしても、厚生労働省がん対策推進本部より「がん対策基本法」が発表され平成19年4月からこの法律が施行されるようになりました。本県においても「がん対策基本法」に基づき平成20年2月に、鳥取大学医学部附属病院が県がん診療連携拠点病院として新規に指定されました。これにより、県内の地域がん診療連携拠点病院4病院（鳥取県立中央病院・鳥取市立病院・鳥取県立厚生病院・独立行政法人国立病院機構-米子医療センター）に加えて5病院のがん診療連携拠点病院が確立し、がん医療均てん化の体制が大きく前進しました。

がん診療連携拠点病院が確立は、鳥取県がん登録事業にも良い影響を与え、拠点病院の院内がん登録制度の充実も伴って、がん登録件数が飛躍的に増加し登録精度が改善されています。ちなみに、がん登録の精度を示すDCNが19.0%となり、基準となる30.0%よりかなり低い値を示し、がん登録精度が大きく向上している傾向にあります。

がん対策に、がん登録は不可欠なものです。県民の命を守るために鳥取県がん登録事業は極めて大切なものと思われまます。鳥取県における、がん対策の更なる発展のために、本報告書が少しでもお役に立てれば幸いだと考えております。

届出していただいております医療機関におかれましては、今後ともご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年3月

鳥取県健康対策協議会　がん登録対策専門委員会  
委員長　　岸本拓治

# 目 次

I. がん登録事業の概要	1
1. 鳥取県がん登録の目的	
2. がん登録の対象	
3. 登録事項	
4. 登録のながれ	
がん登録事業の実施フロー	4
指標の解説	5
II. 鳥取県における平成17年がん罹患・受療状況標準集計結果	6
1. 粗罹患率および年齢調整罹患率	
2. 部位別罹患割合と年次推移	
3. がん罹患の年次推移	
4. がん罹患の地域別比較	
5. 年齢階級別がん罹患率	
6. がんの受療状況	
7. がん患者の医療機関からの届出状況	
8. 鳥取県における登録精度	
III. 報告資料（医師会報掲載分）	16
報告資料1 平成21年度がん登録対策専門委員会報告（一部抜粋・改変）	
報告資料2 第18回地域がん登録全国協議会総会研究会報告	
報告資料3 平成21年医療機関別・部位別年間届出件数・新規登録件数集計結果報告	
IV. 資料	
資料1-1 部位別・受診動機別集計結果（実数・%）	27
資料1-2 診断方法（旧届出票・新届出票）	28
資料1-3 病巣の拡がり	29
資料2-1 部位別・治療方法別患者割合（%）	30
資料2-2 治療状況の年次推移	

資料 3-1	主要病院別届出件数の年次推移	.....	31
資料 3-2	医療機関別届出件数の年次推移 (グラフ)	.....	32
資料 3-3	2008年主要病院・部位別届出集計		
資料 4-1	鳥取県における登録精度 (DCN) の年次推移	.....	33
資料 4-2	鳥取県における組織診実施割合 (HV/I%) の年次推移	.....	34
資料 5-1	鳥取県がん罹患集計結果一覧表 (平成17年 男性)	.....	35
資料 5-2	鳥取県がん罹患集計結果一覧表 (平成17年 女性)	.....	36
資料 5-3	鳥取県がん罹患集計結果一覧表 (平成17年 総数)	.....	37
資料 6	平成17年・市町村別罹患数	.....	38
資料 7	平成17年・市町村別年齢調整罹患	.....	39
資料 8-1	平成17年 標準化罹患比 (全国=100)	.....	40
資料 8-2	平成17年 標準化死亡比 (全国=100)		
資料 9-1	主要部位・性別罹患数の年次推移 (鳥取県・全国)	.....	41
資料 9-2	主要部位・性別死亡数の年次推移 (鳥取県・全国)		
資料 10-1	主要部位別年齢調整罹患率および死亡率の全国比較 (男性)	.....	42
資料 10-2	主要部位別年齢調整罹患率および死亡率の全国比較 (女性)	.....	43
資料 11-1	主要部位・性別罹患数の年次推移 (東部・中部・西部)	.....	44
資料 11-2	主要部位・性別年齢調整罹患率の年次推移 (東部・中部・西部)	.....	45
V. 参考資料			..... 46
参考資料 1	鳥取県がん登録事業実施要綱		
参考資料 2	登録情報の提供および疫学研究等での利用手続き		
参考資料 3	「鳥取県がん登録届出票」		
参考資料 4	「鳥取県がん登録届出票届出記入要領」		
平成21年度がん登録対策専門委員会名簿・編集後記			..... 54

# I. がん登録事業の概要

鳥取県における地域がん登録は、昭和44年、45年の悪性新生物調査を基盤とし、昭和46年からは鳥取県医師会、鳥取県、鳥取大学医学部の三者で構成される「鳥取県健康対策協議会」発足と同時に、がん対策専門委員会（昭和59年よりがん登録専門委員会と改称）が「鳥取県腫瘍登録」（通称がん登録）として実施・運営を行っている。

本事業の特徴は、県内の事業に加えて、厚生労働省のがん登録特別研究助成金による研究班に参加することで、現在全国で13府県1市ががん登録を実施している。ルーチン作業としては、各年度の標準集計であり、3年遅れで全国の集計結果を発表している。

1992年からは「地域がん登録全国協議会」の発足に伴い鳥取県も参画し、地域がん登録の精度向上と活用ならびに登録技術・情報の交換を目的にした活動をおこなっている。

## 1. 鳥取県がん登録の目的

鳥取県内のがん登録情報を基にして、がん予防活動の推進、がん医療の向上と評価を目的とする以下の諸活動を行うことによって、県民の健康の保持増進に資することを、最終目標とする。

- (1) 罹患数および罹患率の集計と動向の把握
- (2) がん患者の受療状況の把握
- (3) 登録患者の生存率の測定と動向の把握
- (4) がん予防、医療活動の企画のための基礎資料の提供ならびに評価
- (5) 医療機関との情報交流
- (6) 疫学研究への活用
- (7) 年度毎に採択される課題研究の実施

## 2. がん登録の対象

- (1) 鳥取県居住者で下記の疾患と診断／疑診された者、または死亡した者である。
  - 1) 悪性新生物（ICD-10のC00-96）
  - 2) 上皮内癌（ICD-10のD05-D06）
  - 3) 性質不詳の新生物（ICD-10のD37-D48）この中には、良性と明記されていない脳腫瘍、内分泌腫瘍を含んでいる。
- (2) 鳥取県内居住者であって死亡した者のうち、死亡票のいずれかの欄に悪性新生物の記載、または性質不詳の悪性新生物の記載のある者も対象としている。なお、最終的に死亡票の情報のみで登録された者は「死亡日」を「診断日」として、「罹患数」に加えている。

## 3. 登録事項

がん登録は、登録対象者に係る次に掲げる事項について登録する。

- (1) 届出医療機関
- (2) 氏名
- (3) 性別
- (4) 生年月日

- (5) 現住所
- (6) 診断名
- (7) 病理組織診断名
- (8) 病巣の拡がり
- (9) 初診年月日
- (10) 症状初発年月
- (11) 受診の動機
- (12) 診断・疑診年月日
- (13) 診断根拠
- (14) 治療方法
- (15) 生存状況
- (16) 前医療機関
- (17) 紹介医療機関

#### 4. 登録のながれ

- (1) 医師が県内居住者の悪性新生物、または性質不詳の新生物を診断または疑診したとき、あるいはそのような患者の死亡したときは、届出票記入要領に従って、「鳥取県がん登録届出票」に所定の事項を記入し、「返信用封筒」を用いて、鳥取県医師会腫瘍調査部に送付する。

また、医師は腫瘍調査部から「問い合わせ票」、「追跡票」または「補充票」を受け取ったときには、同様に所定の事項を記入し、「返信用封筒」を用いて返送する。

- (2) 鳥取県医師会腫瘍調査部は、医療機関から送付された月間の「届出票」および回答された「問い合わせ票」または「追跡票」について、既に届出られている者に関する「届出票」か否かを調べ、同一人の記録がレコード・リンケージされるようにデータ入力を行う（原票登録処理）。

次いで「届出票」に記入もれや疑義、または不明な点が発見されれば「問い合わせ票」と「問い合わせ依頼状」とを作成して、届出た医療機関に問い合わせる。

- (3) 「届出票」の項目（16）、（17）に記入されている医療機関から、その患者について届出がなされていない場合は、その記入されている医療機関宛に、「問い合わせ票」と「問い合わせ依頼状」とを作成して送付する。

- (4) 鳥取県医師会腫瘍調査部は、毎月、所定の届出処理が終わった「腫瘍登録簿」および「届出票」と回答された「問い合わせ票」を鳥大医学部環境予防医学分野に送付する。

- (5) 鳥大医学部環境予防医学分野は、県医師会腫瘍調査部から送付された「腫瘍登録簿」に基づいて、毎月、既登録の「腫瘍登録簿」と照合し未登録であれば、登録番号を発行して「腫瘍登録簿」に記入する。

- (6) 死亡小票照合は、鳥取県福祉保健部の協力によって鳥大医学部環境予防医学分野が行うもので、「腫瘍登録簿」と死亡小票の照合を行って、「腫瘍登録簿」中の死亡者の確認と、未登録の悪性新生物または性質不詳の新生物による死亡者の発見を行うものである。毎年1回行うものとする。

- (7) 死亡小票照合によって、「腫瘍登録簿」中の死亡が確認された者は、死亡小票から必要事項を転記する。

- (8) 「腫瘍登録簿」以外の死亡小票中悪性新生物または性質不詳の新生物による死亡者は、「補充票」に死亡小票から必要事項を転記し、死亡診断書作成の

医療機関に「補充票」と「補充票届出依頼状」とを送付して届出を求める。

(9) 県医師会腫瘍調査部は、登録された者の生死の確認を行うために死亡小票照合と「追跡票」発送とを行う。

「追跡票」の発送とは、上述の処理の後、必要に応じて「腫瘍登録簿」中に生存者となっている者の生死を確認するために行うものである。

(10) 鳥取大医学部環境予防医学分野は、年1回の標準集計に基づく腫瘍データを利用して、罹患および死亡状況についての集計解析を行い、所定の統計表並びに腫瘍データリストを作成する。

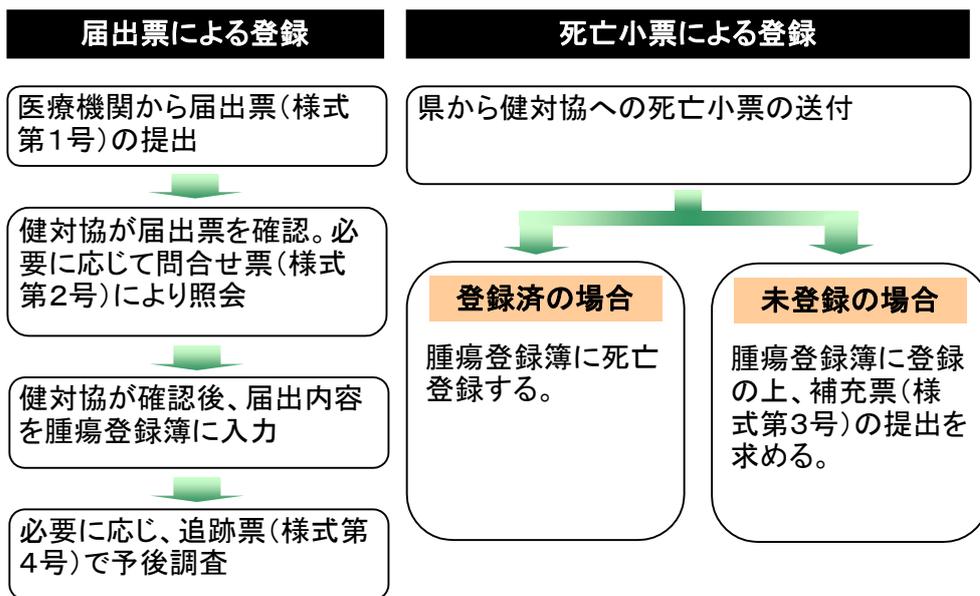
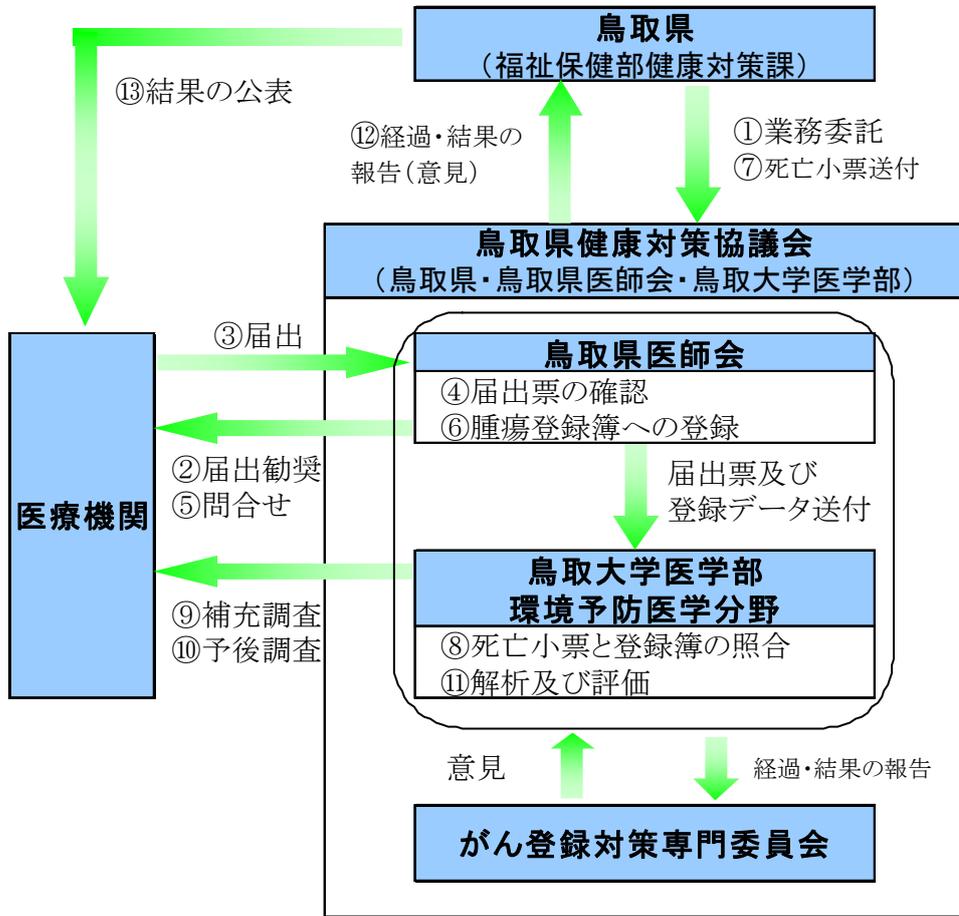
集計結果は、毎年、年単位で鳥取県医師会腫瘍調査部および鳥取県健康対策協議会がん登録対策専門委員会によって「鳥取県がん登録事業報告書」としてにまとめられ、協力医療機関をはじめとして、市町村、県外がん登録室に送付される。また、ホームページにも掲載される。

以上の作業によって「腫瘍登録」患者は少なくとも毎月、記録の追加、訂正、更新が行われることとなり、罹患状態並びに死亡状態について届出医療機関との間で処理の細かい情報交流が行われることになる。

なお、集計時期については以下の考えに従って3年遅れの集計を実施している。

がん（悪性新生物）は、診断確定の難しい疾病であり、治療期間も長期に及ぶ。そのため、届出が遅れることを想定し、集計は、診断年の少なくとも2年以降に行うことが、厚生労働省がん研究助成金による「地域がん登録」研究班が発行した「地域がん登録の手引き」で定められている。これを「標準集計」としており、本県もこれに従って毎年実施している。

## ■がん登録事業の実施フロー



## 指 標 の 解 説

### 1 罹患数、届出患者数

届出患者数は、医療機関より届出があった患者が初めて悪性新生物と診断された年月日をもとに、集計対象年（その年の1月1日より12月31日まで）のがん患者の届出の数である。

罹患数は、届出患者数と届出がなく集計対象年の死亡情報により悪性新生物で死亡した患者数の合計数のことである。

### 2 死亡数

厚生労働省人口動態調査死亡票鳥取県分による。

$$3 \text{ 罹患率 (死亡率)} = \frac{\text{罹患数 (死亡数)}}{\text{人 口}} \times 100,000$$

$$4 \text{ 年齢調整罹患率} = \frac{\left\{ \left[ \begin{array}{l} \text{観察集団の年齢階級 標準人口のその} \\ \text{別罹患率 (死亡率)} \times \text{年齢階級別人口} \end{array} \right] \right\} \text{の年齢階級の総和}}{\text{標 準 人 口 の 総 和}} \times 100,000$$

$$5 \text{ 罹患数のうち死亡情報で初めて登録された者の割合 (DCN 割合)} = \frac{\text{死亡情報で初めて登録した数}}{\text{対象年の罹患数}} \times 100$$

毎年集計する対象年のがんに罹患した者（罹患数）の中で、死亡情報で初めて把握された（医療機関からのがんの届出なし）者の割合を表す。この値が低いほど、地域がん登録の精度が良いことになる。

$$6 \text{ 罹患数のうち死亡情報のみで登録された者の割合 (DC0 割合)} = \frac{\text{死亡情報のみの登録数}}{\text{対象年の罹患数}} \times 100$$

毎年集計する対象年のがんに罹患した者（罹患数）の中で、死亡情報のみで把握された（医療機関からのがんの届出なし）者の割合を表す。この値が低いほど、地域がん登録の精度が良いことになる。

$$7 \text{ 組織診断の実施割合} = \frac{\text{病理診断を行った患者数}}{\text{罹患数 (届出患者数)}} \times 100$$

収集された資料の医学的信頼度を示すために用いる。この指標は死亡情報も含めた罹患数に対する組織診断の実施割合（H/I）と医療機関より届出があった罹患数（届出患者数）に対する組織診断の実施割合（H/R）とがある。

$$8 \text{ 罹患/死亡比 (I/D)} = \frac{\text{罹患数}}{\text{死亡数}}$$

集計対象年の悪性新生物の罹患数が、その年の悪性新生物の死亡数の何倍かを示す。この値が、1.5～2.0であれば、届出の漏れが少ないと判断できる。

### 9. 標準化罹患（死亡）比

= 実際の罹患（死亡）数 / 期待罹患（死亡）数 × 100 …… 全国を100とした場合の罹患（死亡）比

# 鳥取県における平成17年がん罹患・受療状況標準集計結果

## 1. 粗罹患率および年齢調整罹患率

### a) 罹患集計

厚生労働省がん登録研究班のがん罹患の標準集計方式に従い平成17年(2005年)の罹患集計を行った。がんの全部位では罹患総数3,876件(男2,281、女1,595)で、人口10万対粗罹患率は男786.4、女502.8であった。

年齢調整罹患率(標準人口は60年日本人モデル人口)は、男464.2、女267.6であった。

部位別に見ると、鳥取県における罹患割合は、男女共に胃が最も高く(男22.1%、女15.8%)、次いで男では肺(16.2%)、前立腺(10.7%)、結腸(9.2%)が高く、女では乳房(13.2%)、結腸(11.2%)の順となった(表1)。年齢調整罹患率は、男では胃105.2、肺69.3、前立腺44.1、女では順位が変わって乳房が48.8でトップ、次いで胃40.3、子宮30.5の順となった(表1)。

地域別の標準化罹患比(全国値=100)では、東部では男は直腸、胃、肝臓、女は肝臓、子宮、中部では男の肝臓が、西部では男の肺、女の直腸が高い罹患比を示した。(表2)。

表1 鳥取県における性、主要部位別がん罹患状況—平成17年(2005年)—

男	全部位	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ 腫
罹患数	2,281	80	503	209	144	194	58	76	369	1	0	0	244	93	55
罹患割合(%)	100.0	3.5	22.1	9.2	6.3	8.5	2.5	3.3	16.2	0.0	0.0	0.0	10.7	4.1	2.4
粗罹患率	786.4	27.6	173.4	72.1	49.6	66.9	20.0	26.2	127.2	0.3	0.0	0.0	84.1	32.1	19.0
調整罹患率	464.2	16.8	105.2	41.5	30.2	41.6	10.7	16.1	69.3	0.2	0.0	0.0	44.1	18.4	13.2
全国推定罹患率	409.8	15.1	81.1	38.5	25.3	32.0	9.2	13.7	59.6	0.0	0.0	0.0	41.4	13.7	15.5

女	全部位	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ 腫
罹患数	1,595	15	252	178	88	88	68	69	141	210	126	52	0	33	49
罹患割合(%)	100.0	0.9	15.8	11.2	5.5	5.5	4.3	4.3	8.8	13.2	7.9	3.3	0.0	2.1	3.1
粗罹患率	502.8	4.7	79.4	56.1	27.7	27.7	21.4	21.8	44.4	66.2	39.7	16.4	0.0	10.4	15.4
調整罹患率	267.6	2.9	40.3	26.5	14.6	12.3	6.9	7.8	20.8	48.8	30.5	10.6	0.0	3.7	7.8
全国推定罹患率	260.8	2.3	31.2	24.7	11.2	10.4	7.0	7.9	18.4	56.1	32.3	9.2	0.0	2.7	8.2

\*全国推定罹患率は2003年データを使用

## 2. 部位別罹患割合と年次比較

鳥取県における罹患割合は、男女共に胃が最も高く(男22.1%、女15.8%)、次いで男では肺(16.2%)、前立腺(10.7%)、結腸(9.2%)が高く、女では乳房(13.2%)、結腸(11.2%)の順となった(表1)。全国と比較すると、男はほぼ一致したが、女では胃と乳房の順位が逆転したがほかはほぼ一致した(次頁図1)。罹患・死亡割合の1979年と2005年の年次比較をみると、罹患・死亡割合とも胃、子宮で減少、とくに胃の死亡と子宮の死亡割合は半減している。逆に、顕著に増加した部位は男女とも結腸で、死亡・罹患割合とも2倍から3倍に増加した。また、女の肺は死亡・罹患割合とも増加した(次頁:図2-1, 図2-2)。

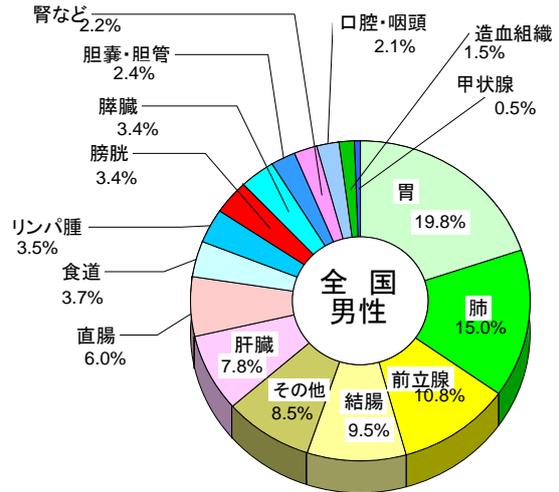
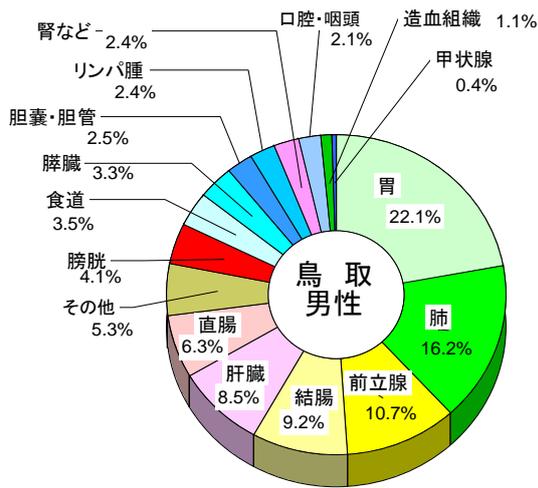


図1 罹患割合の性別・全国比較  
(鳥取:2005年 全国:2003年)

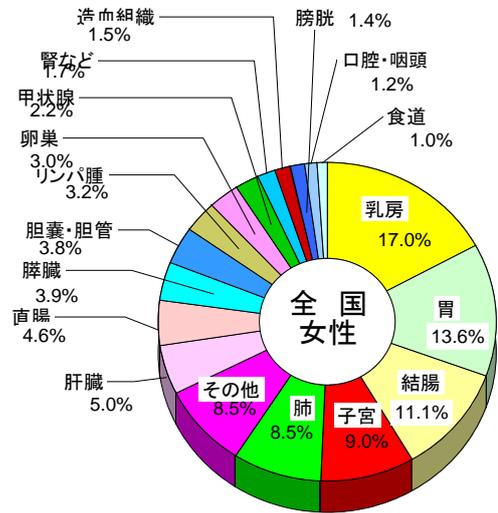
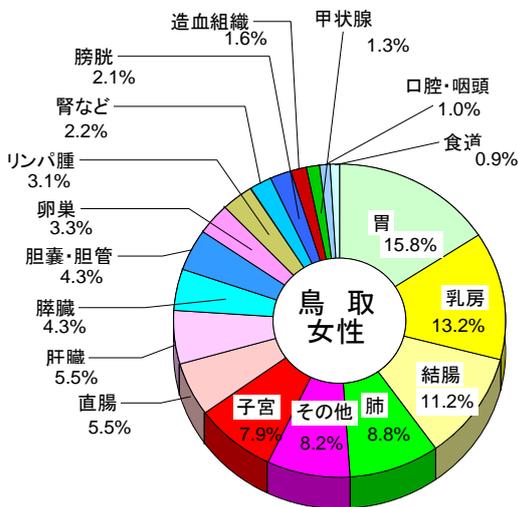
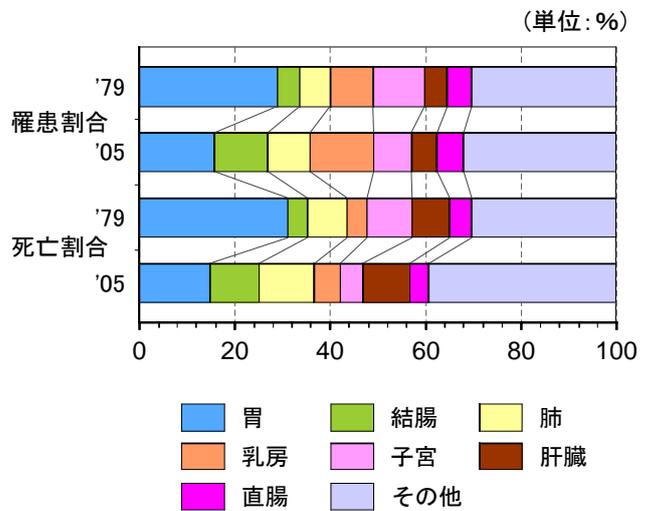
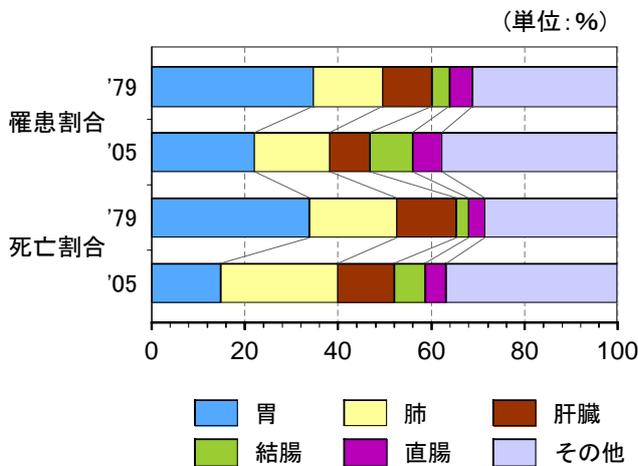


図2-1 罹患・死亡割合の年次推移(男)

図2-2 罹患・死亡割合の年次推移(女)



### 3. がん罹患の年次推移

#### a) 罹患数

男女とも全部位、男では肺、前立腺  
女では乳房において罹患数の増加傾向が観察された。

全部位では、男で1979-80年の851件/年から2005年の2,287件/年の顕著な増加を、とりわけ男の前立腺では、21件から244件の11倍強もの顕著な増加を示した(図3-1, 図3-2)。

図3-1 鳥取県における部位別がん罹患数の年次推移(男)

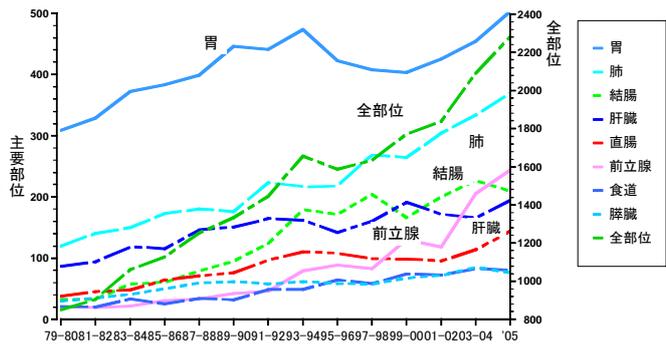
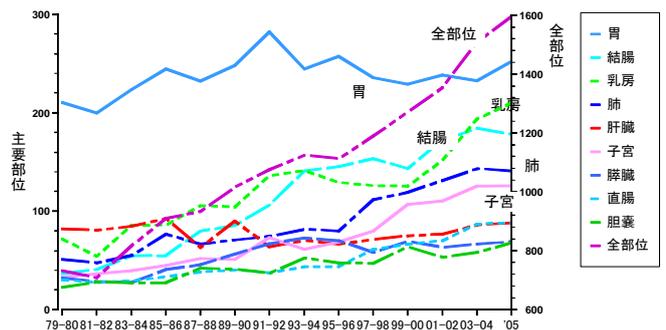


図3-2 鳥取県における部位別がん罹患数の年次推移(女)



#### b) 罹患割合

男女とも胃の減少が顕著であるが、未だ男女とも胃が最も高い罹患割合を示す。男では結腸が、女では結腸、肺、乳房で増加傾向が見られた(図2-1, 図2-2)。

#### c) 年齢調整罹患率

前年(2004年)に比べて2005年は、男では結腸、女では乳房、子宮、直腸で減少傾向が見られた以外は、男女ともほとんどの部位で増加傾向が観察された。(図4-1, 図4-2)。

一方、調整死亡率の推移は、男は胃、肝臓に減少傾向が見られ、女は肝臓、直腸で減少傾向が見られた。しかし、男の肺、直腸、女の胃、乳房は増加傾向を見た(図5-1, 図5-2)。

図4-1 年齢調整罹患率の年次推移(男)

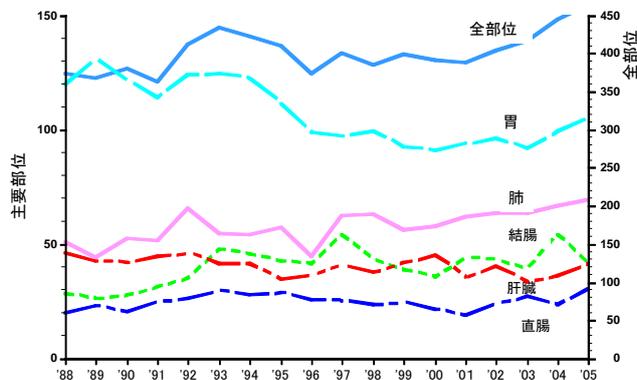


図5-1 年齢調整死亡率の年次推移(男)

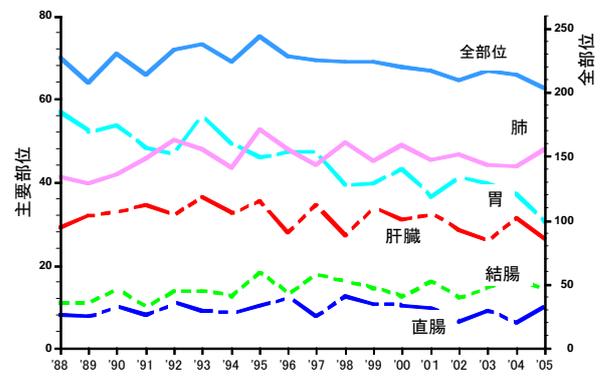


図4-2 年齢調整罹患率の年次推移(女)

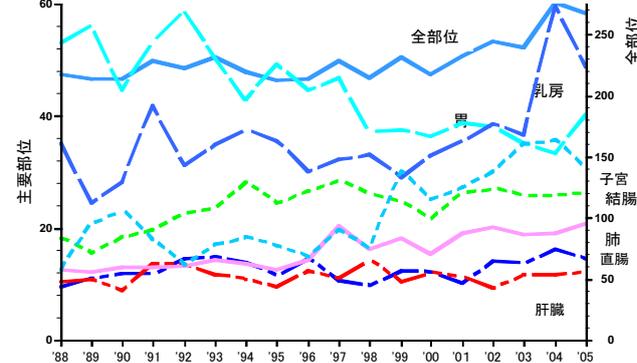
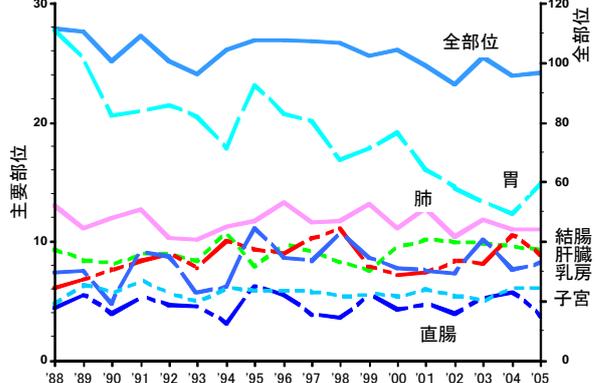


図5-2 年齢調整死亡率の年次推移(女)



d) 年次推移からみた年齢調整罹患率および死亡率の全国比較

左側のグラフはすべて年齢調整罹患率（人口 10 万対）を示し、右側のグラフはすべて年齢調整死亡率（人口 10 万対）を示す。

詳細な数値表は、資料 10-1,10-2 に後掲してあるので、参照されたい。

全部位においては、罹患では全国同様増加傾向を示すが、死亡では漸減傾向が観察される。

図 6-1

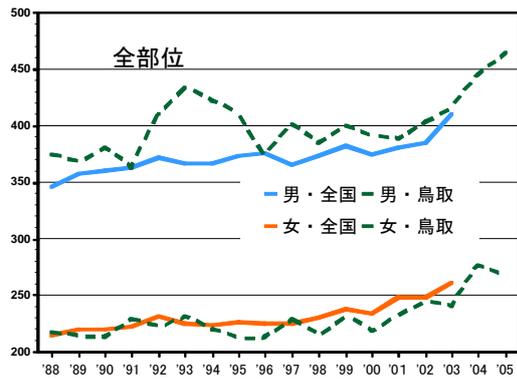
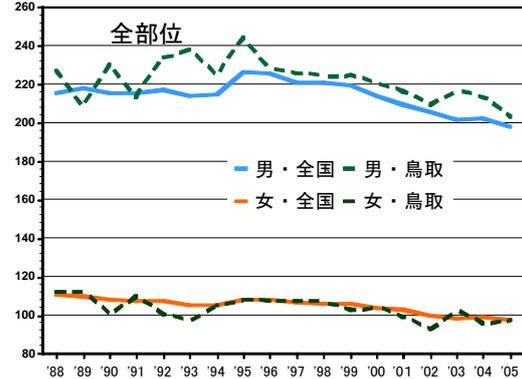


図 7-1



胃においては、罹患死亡とも減少傾向が観察される。とくに、罹患率は、鳥取県が高い。

図 6-2

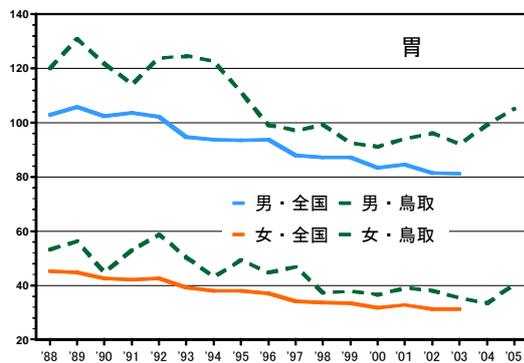
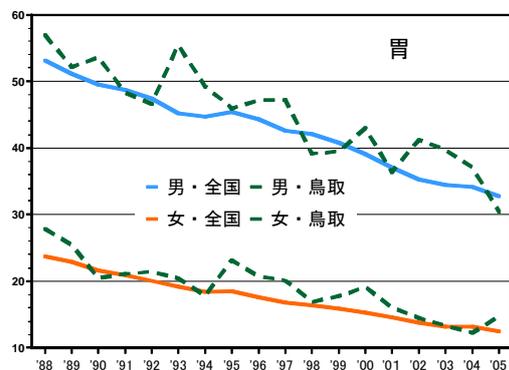


図 7-2



結腸においては、罹患・死亡とも減少傾向を示す。

図 6-3

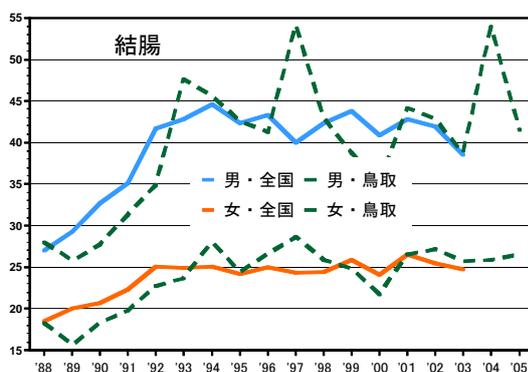
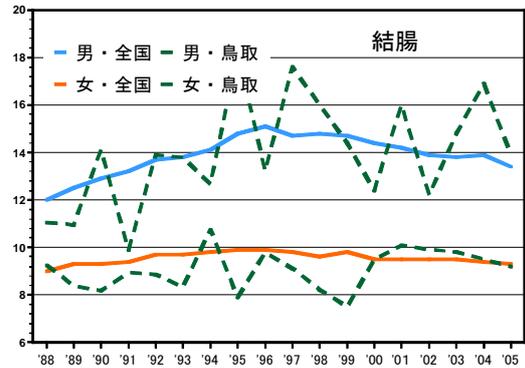
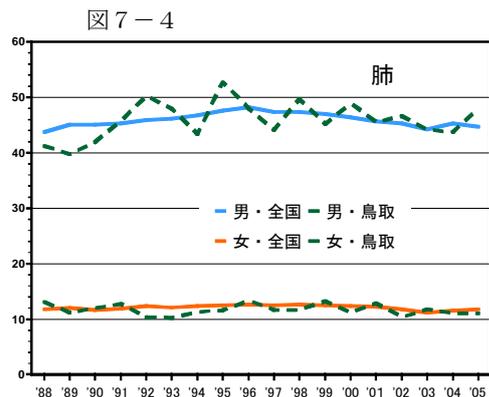
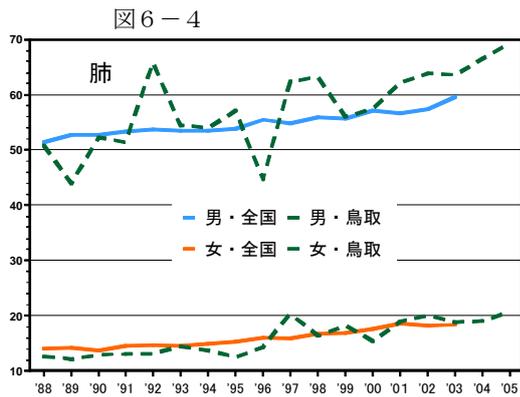


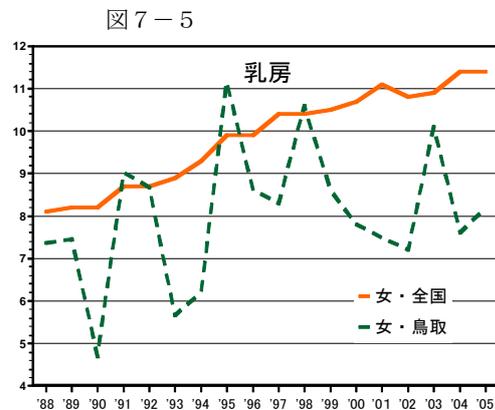
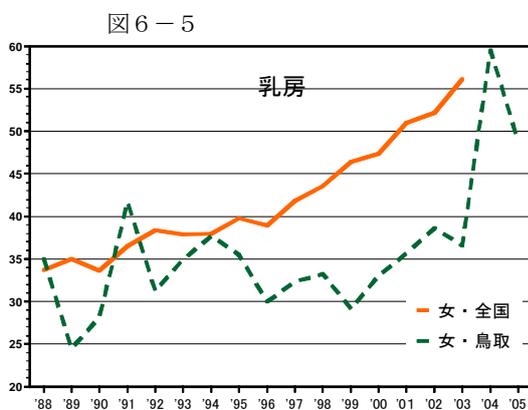
図 7-3



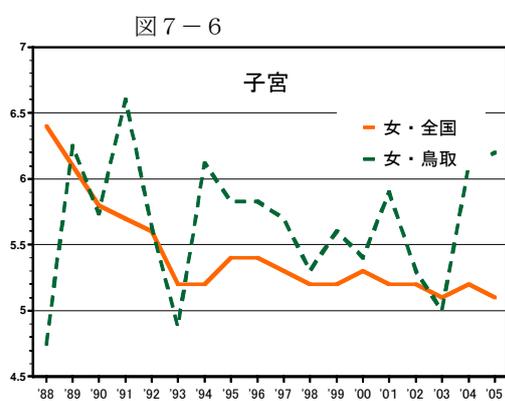
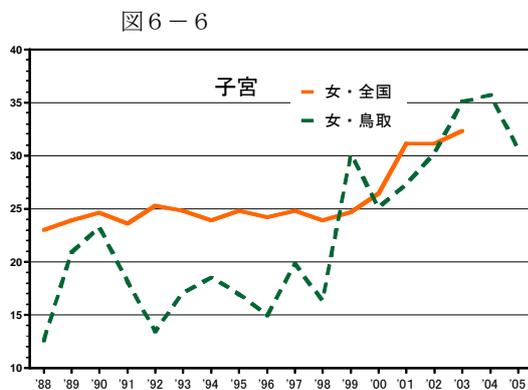
肺においては、罹患は増加傾向にあるが、死亡はむしろ漸減傾向にある。



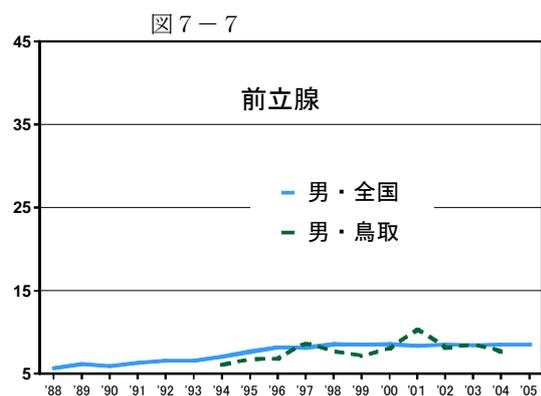
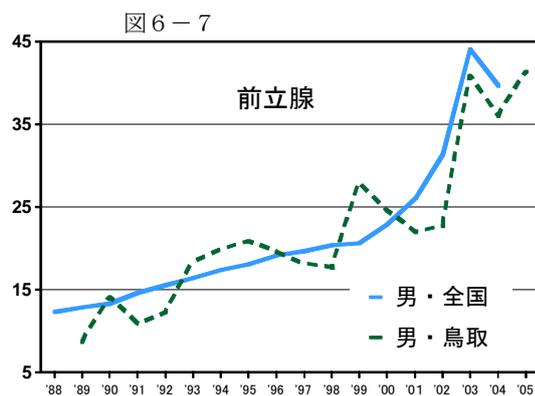
乳房においては、罹患は増加傾向にあるが、死亡はむしろ横這い傾向にある。



子宮においては、罹患は増加傾向にあるが、死亡はむしろ漸減傾向にある。



前立腺においては、罹患は増加傾向にあるが、死亡はむしろ横ばいもしくは漸減傾向にある。



4. がん罹患の地域別比較

a) 年齢調整罹患率による比較

東部では男女の全部位、胃、肝臓、肺、結腸、女の子宮が、中部では、男の全部位、胃、肝臓、結腸、肺、女の全部位、胃、結腸、肺、乳房、西部では男の全部位、胃、結腸、肝臓、肺、女の胃が全国値を上回る高い罹患率を示した。市郡別では、岩美郡の男の胃、肺、八頭郡の男の肝臓、東伯郡の女の結腸、米子市の女の乳房、西伯郡の女の子宮が高い罹患率を示した(図8-1～図8-4)。

b) 標準化罹患比(全国=100)による比較

東部では男は直腸、胃、肝臓、女は肝臓、子宮、中部では男の肝臓が、西部では男の肺、女の直腸が高い罹患比を示した。しかし、女の中部では肝臓が79.4、西部では乳房が71.6、肺が75.4、と低い罹患比を示した。(表2)。

市郡別には、鳥取市の男の直腸が146.7、女の肝臓が137.1、米子市の女の直腸が145.6、倉吉市の男の肝臓が147.6、境港市の男の肝臓が169.8、岩美郡の男の肺が164.3、八頭郡の男の結腸が154.3、東伯郡の男の直腸が144.8と高い罹患比を示した。ちなみに、標準化死亡比においては鳥取市の男の肝臓が125.5、米子市の男の直腸が141.3、倉吉市の女の子宮が188.2、境港市の女の子宮が295.2、岩美郡の女の結腸が192.7、八頭郡の女の肝臓は329.8、東伯郡の女の子宮が189.0、西伯郡の男の直腸が126.4、日野郡の女の結腸が166.0と高い死亡比を示した(表2, 3, 4)。

図8-1 地域別・年齢調整罹患率(全部位) 人口10万対

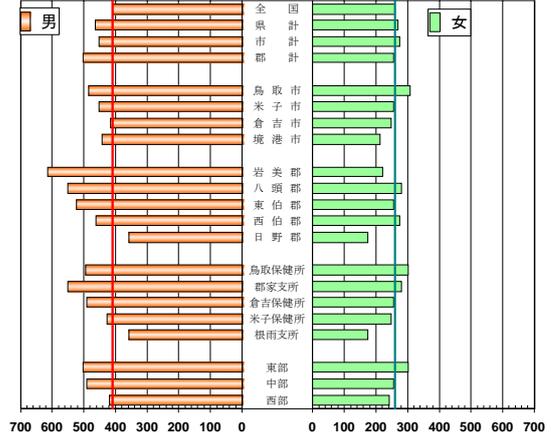


図8-2 地域別・年齢調整罹患率(胃) 人口10万対

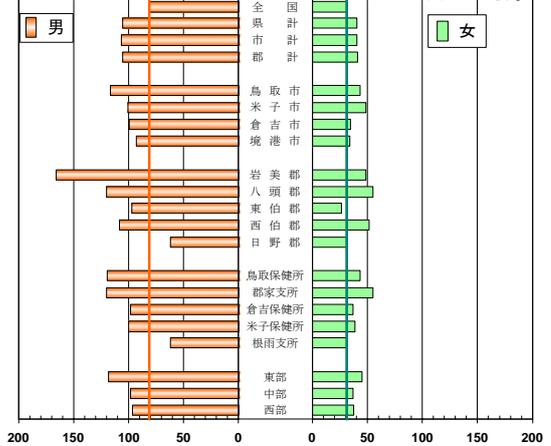


図8-3 地域別・年齢調整罹患率(肝臓)人口10万対

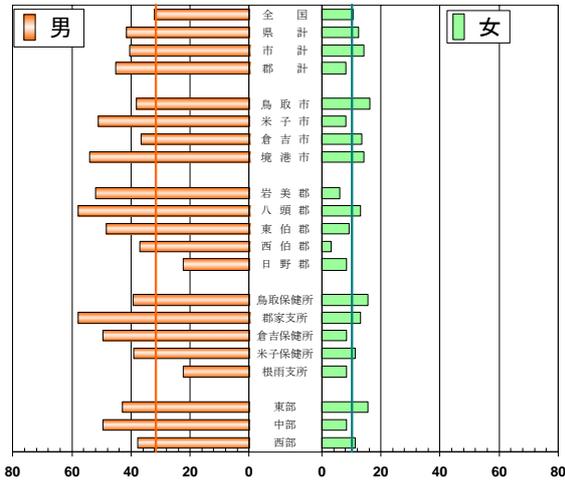


図8-4 地域別・年齢調整罹患率(結腸) 人口10万対

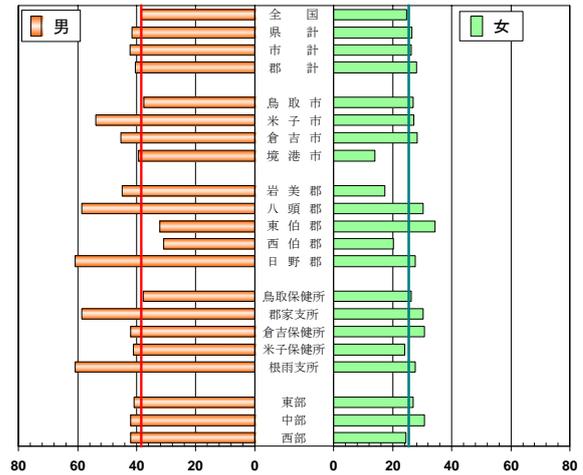


表2 鳥取県における地域別標準化罹患比(SIR)の比較

全国=100

		全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
男	東部	119.2	139.7	105.9	146.9	130.9	116.9	—	—
	中部	114.2	113.1	98.3	113.4	135.3	111.3	—	—
	西部	99.9	112.8	112.9	100.6	110.0	113.2	—	—
女	東部	113.9	121.1	105.2	111.4	131.9	117.9	97.3	128.3
	中部	95.6	99.8	97.7	81.5	79.4	112.5	111.6	87.2
	西部	91.7	107.6	88.7	144.3	88.6	75.4	71.6	86.9

表3 平成17年・地域別標準化罹患比(全国値=100)

	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県計	110.3	101.1	123.3	111.2	107.2	96.8	121.2	118.9	123.2	103.3	114.3	99.3	89.5	103.4
市計	109.2	104.2	128.0	115.2	110.2	97.6	127.0	122.7	121.7	118.4	113.6	105.5	92.3	99.2
郡計	112.6	94.4	113.5	103.0	101.0	95.4	108.8	111.1	126.4	73.3	115.6	86.8	83.1	113.9
鳥取市	116.5	116.9	140.8	124.3	97.3	105.7	146.7	121.0	113.8	137.1	117.6	132.4	103.5	128.1
米子市	101.5	98.1	119.4	105.4	123.2	101.9	125.1	145.6	109.3	111.2	103.8	88.3	83.6	71.0
倉吉市	107.4	95.4	117.0	129.2	124.3	93.2	74.8	74.7	147.6	87.9	118.6	97.9	109.5	56.5
境港市	104.3	77.1	112.4	84.5	104.2	46.7	112.3	117.3	169.8	101.1	122.4	48.5	42.5	124.2
岩美郡	143.0	92.5	174.9	88.0	85.6	85.5	177.9	0.0	159.6	135.7	164.3	55.1	54.6	149.1
気高郡	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
八頭郡	123.4	107.9	121.2	119.1	154.3	110.5	136.3	110.3	202.2	107.5	95.9	76.6	81.1	121.3
東伯郡	119.7	95.7	109.9	75.4	77.4	101.3	144.8	87.2	125.4	72.4	105.5	124.6	113.3	113.6
西伯郡	101.8	91.7	115.9	130.9	85.8	70.6	47.8	183.3	92.8	37.8	125.9	68.3	66.6	114.6
日野郡	77.6	73.8	63.1	99.8	130.0	120.3	50.6	80.1	55.0	62.0	123.6	57.7	45.9	65.8
鳥取保健所	118.4	115.0	143.3	121.4	96.5	104.1	148.9	111.7	117.1	137.0	121.1	126.2	100.1	129.5
郡家支所	123.4	107.9	121.2	119.1	154.3	110.5	136.3	110.3	202.2	107.5	95.9	76.6	81.1	121.3
倉吉保健所	114.2	95.6	113.1	99.8	98.3	97.7	113.4	81.5	135.3	79.4	111.3	112.5	111.6	87.2
米子保健所	102.0	93.3	117.5	108.4	111.2	85.6	105.0	150.2	115.0	91.3	112.2	77.2	73.4	88.3
日野保健所	77.6	73.8	63.1	99.8	130.0	120.3	50.6	80.1	55.0	62.0	123.6	57.7	45.9	65.8
東部	119.2	113.9	139.7	121.1	105.9	105.2	146.9	111.4	130.9	131.9	116.9	117.9	97.3	128.3
中部	114.2	95.6	113.1	99.8	98.3	97.7	113.4	81.5	135.3	79.4	111.3	112.5	111.6	87.2
西部	99.9	91.7	112.8	107.6	112.9	88.7	100.6	144.3	110.0	88.6	113.2	75.4	71.6	86.9

表4 平成17年・地域別標準化死亡比(全国値=100)

	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県計	103.8	100.0	92.7	106.1	101.2	95.4	111.0	98.6	107.8	114.9	112.2	88.1	72.7	121.0
鳥取市	106.4	99.3	83.0	129.4	66.9	119.7	105.3	84.1	125.5	123.2	115.0	101.2	59.4	69.0
米子市	99.2	98.4	85.4	104.8	122.8	61.9	141.3	110.2	102.8	98.8	111.3	96.4	108.1	120.2
倉吉市	112.6	97.2	122.5	91.8	124.4	78.5	99.8	75.3	151.0	66.2	138.1	75.1	60.1	188.2
境港市	120.0	119.0	91.7	101.4	123.8	108.7	115.8	244.2	129.5	215.9	124.3	35.4	60.9	295.2
岩美郡	105.4	89.3	98.1	37.6	-	192.7	190.8	139.9	35.6	178.9	155.0	39.2	76.4	141.8
八頭郡	102.7	134.0	119.9	89.8	155.8	95.8	36.0	166.1	134.7	329.8	97.9	78.0	92.2	56.7
東伯郡	101.3	112.3	103.1	92.6	74.5	86.2	100.5	62.3	83.8	81.6	113.7	115.0	50.8	189.0
西伯郡	96.1	66.1	90.9	101.9	125.3	65.2	126.4	75.9	57.3	16.5	78.5	85.7	42.1	77.7
日野郡	90.2	88.5	63.8	104.4	153.3	166.0	64.4	-	48.0	40.6	88.9	27.1	120.8	106.3
鳥取保健所	105.7	104.4	90.1	116.5	77.4	120.5	99.3	101.3	121.4	162.6	114.6	93.0	65.4	71.6
倉吉保健所	106.3	105.5	111.7	92.2	96.6	82.7	100.1	68.2	113.8	74.6	124.5	96.9	55.0	188.4
米子保健所	101.7	93.5	87.7	103.5	123.5	69.9	133.6	122.2	96.1	96.1	105.2	84.2	85.7	137.2
日野保健所	90.2	88.5	63.8	104.4	153.3	166.0	64.4	-	48.0	40.6	88.9	27.1	120.8	106.3

### 5. 年齢階級別がん罹患率

全体的に年齢とともに増加傾向がみられるが、乳房は60歳代でピークを示し、60歳代以降は80歳代までは急激に減少し人口10万対133.6から67まで低下しその後減少状態を示した。子宮は60歳代でピークを示し、60歳代以降は減少状態を示した。(図9-1～図9-6)。

乳房と子宮について年齢階級別の罹患構成比を1979-83年までと2004-05年までの2つの期間に分けて比較すると、乳房では70歳以上の高齢者における罹患割合の増加が顕著であったが、子宮では39歳未満における若年層の増加が顕著であった(図10)。

図9-1 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

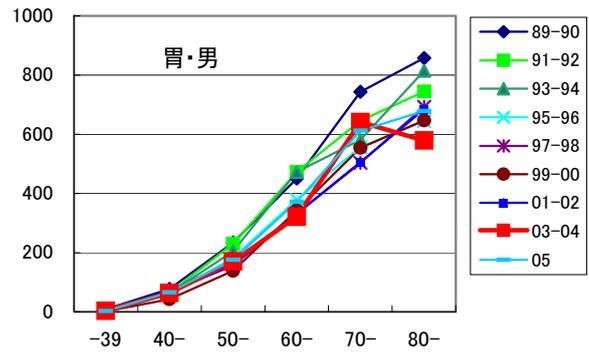


図9-2 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

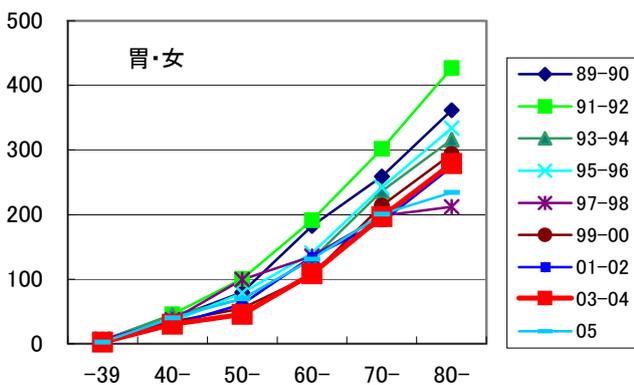


図9-3 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

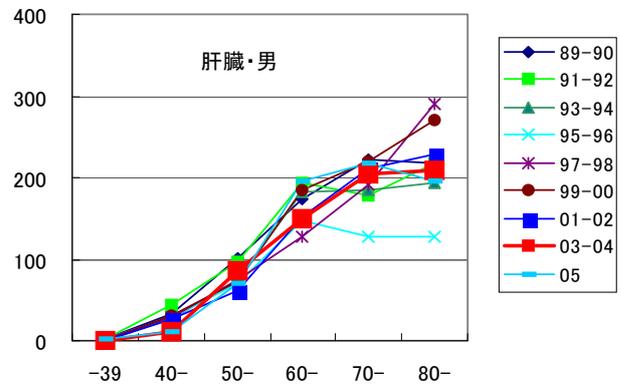


図9-4 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

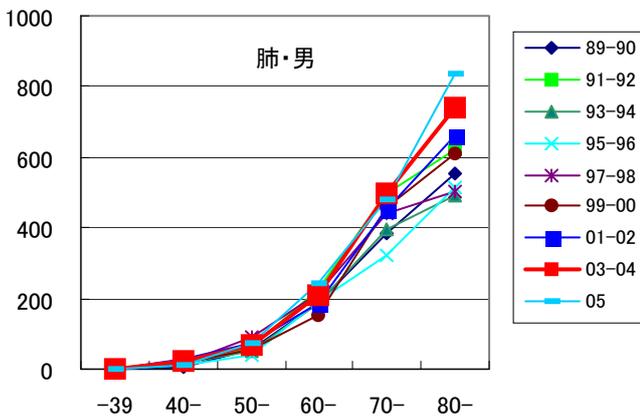


図9-5 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

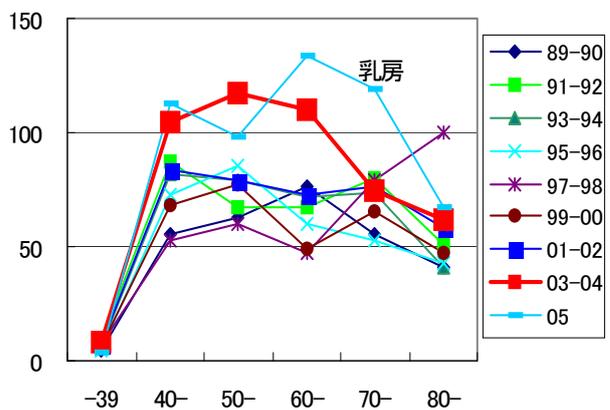


図9-6 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

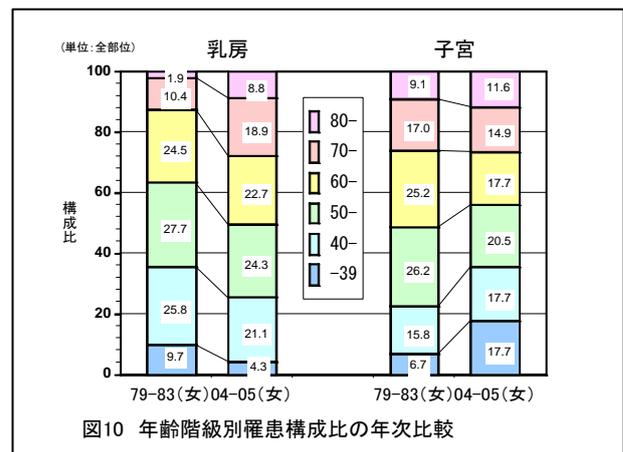
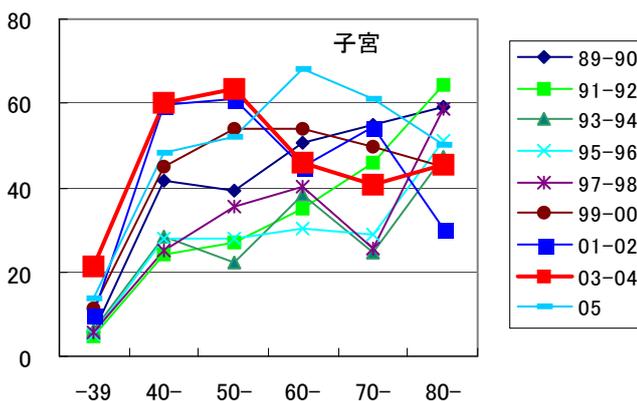


図10 年齢階級別罹患構成比の年次比較

6. がんの受療状況

表5-1 部位別・受診動機別集計結果(%)

a) 受療動機別集計

2005年診断日とされた診断票に基づいて受診動機について集計した結果、全部位では有訴受診が最も多く、44.1%、次いで他疾患治療中13.4%、各種がん検診、健康診断（人間ドック等）の順となった。部位別には、有訴受診は乳房と子宮で最も高く、健康診断は胃、肺で、各種がん検診は乳房が最も高く24.6%、次いで結腸、胃の順であった。他疾患治療中は肝臓が26.6%で最も高く、次いで肺、胃、全部位の順となった。（表5-1）。

2005年標準集計対象

	有訴受診	健康診断	各種がん検診	他疾患治療中	その他	計
全部位	44.1	10.0	10.4	13.4	22.2	100.0
胃	31.1	17.4	14.9	14.4	22.2	100.0
結腸	42.5	9.0	21.9	10.6	15.9	100.0
直腸	52.8	9.7	14.2	8.0	15.3	100.0
肝臓	24.3	4.7	0.6	26.6	43.8	100.0
肺	36.4	11.7	10.2	16.0	25.7	100.0
乳房	57.7	3.7	24.9	1.6	12.2	100.0
子宮	54.6	2.8	5.6	3.7	33.3	100.0

b) 受療集計

治療方法では全国に比べて鳥取県の手術実施割合は高い。部位別にみて全国に比べ鳥取県が高い部位は、以下の通りであった（表6）。

- (1) 手術割合：全部位、胃、結腸、肝臓、肺、子宮
- (2) 放射線治療：全部位、胃、肝臓、乳房

鳥取県における化学療法の実施割合は、高い方から肺、肝臓、全部位、直腸、乳房、結腸の順となった。

表6 部位別・治療方法別患者割合 (%)

- 2005年診断

部位	ICD-10	手術		放射線治療		化学療法
		鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県
全部位	C00-C96 D05-D06	63.2	59.1	10.4	9.8	26.4
胃	C16	82.7	71.2	0.9	0.6	16.4
結腸	C18	82.4	78.1	0.6	0.6	17.1
直腸	C19-C21	73.2	81.1	2.0	2.1	24.8
肝臓	C22	54.9	19.2	5.9	2.1	39.2
肺	C33-C34	36.7	33.6	20.5	21.9	42.8
乳房	C50 D05	55.3	87.2	20.2	18.8	24.5
子宮	C53-C55 D06	74.0	68.2	11.5	18.2	14.5

\*全国値は2000年

7. がん患者の医療機関からの届出状況

平成20年のがん患者診断票届出総数は4,693件で前年に比較し73件の減少であった。地域別では東部で2,146件、中部で848件、西部で1,699件で、東・中部は増加が顕著であった。

主要病院の届出件数の年次推移から、全体的に増加傾向にあり、東部では鳥取市立病院、中部では、鳥取県立厚生病院、西部では、山陰労災病院、済生会境港病院の届出が前年に比し増加した。しかし、鳥取県立中央病院、鳥取赤十字病院、米子医療センター、博愛病院の届出件数は減少傾向に転じた。他方、智頭病院、日野病院、日南病院は0件であった。

大学病院、主要病院およびその他病院・診療所に3区分し、1979年から30年間の年次推移を見ると、主要病院がほぼ安定した届出でしかも近年増加傾向あるのに対して、1989年以降の大学病院の届出の減少・低迷傾向が懸念されたが、2003年より300件以上に増加し、昨年はさらに1,000件以上になり増加傾向にあったが、今年は減少した（表7）。

表7 主要医療機関、地域別届出件数の年次推移（1992年-2008年）

	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
主要病院	1,469	1,360	1,599	1,167	1,329	1,696	1,273	1,385	1,339	1,505	1,786	2,226	2,751	2,392	2,568	2,908	3,317
大学病院	361	242	261	305	357	215	245	266	233	286	208	375	355	304	419	1,107	706
その他病院・診療所	688	591	621	646	669	493	562	602	440	525	534	459	589	594	759	751	670
東部	1,023	933	1,024	764	827	927	780	834	720	965	1,104	1,576	1,867	1,667	1,887	2,022	2,146
中部	417	339	547	481	486	451	476	462	379	414	523	436	476	513	628	486	848
西部	1,078	921	908	871	1,039	1,020	822	947	910	936	896	1,046	1,352	1,110	1,231	2,258	1,699
県全体	2,518	2,193	2,481	2,118	2,355	2,404	2,080	2,253	2,012	2,316	2,528	3,060	3,695	3,290	3,747	4,766	4,693
HV/I (%)	鳥取県	53.7	55.7	54.4	47.6	48.6	47.5	46.3	48.3	51.0	54.7	57.9	59.2	61.8	65.5	-	-
	全国	62.0	62.6	63.1	63.0	66.0	66.9	66.9	67.9	67.9	66.7	62.2	61.8	-	-	-	-
DCN/I (%)	鳥取県	24.5	28.9	27.5	28.2	24.8	31.9	36.5	36.2	36.3	32.9	26.1	28.3	24.0	19.0	-	-
	全国	23.9	23.3	23.4	24.2	30.3	29.6	28.2	27.6	26.8	27.3	27.9	34.5	-	-	-	-

主要病院：県中、市立、赤十字、岩美、智頭、厚生、国立、労災、博愛、済生会、西伯、日南、日野

8. 鳥取県における登録精度

a) がん登録精度の年次推移からみた全国との比較

届出精度としてのDCNと診断精度としての罹患数における組織診実施割合(HV/I%)の2つの指標について年次推移を示す。

HV/I%は平成2年以降全国値を下回っている。

DCNは、過去全国平均より低値で良好であったが、1997年から4年間は届出件数の減少によりDCNは全国平均を上回って高値となり登録精度の低下傾向が見られた。しかし、届出勧奨により2005年の標準集計では前年より5.0%減少の19.0%となり、改善傾向がみられた(表8)。

なお、DCNは死亡票ではじめて登録される患者数の割合(%)を示す。がん登録研究班では、DCNは30%未満、I/D比は1.5以上の登録精度を要求している。

表8 鳥取県および全国における登録精度の年次推移

	DCN/I(%)		I/D比		HV/I(%)	
	鳥取県	全国*1	鳥取県	全国*1	鳥取県	全国*1
1983	31.7	33.0	1.5	1.4	35.4	48.8
1984	36.7	36.9	1.6	1.5	34.6	48.4
1987	27.9	29.7	1.7	1.5	52.5	53.7
1989	21.5	29.8	1.8	1.5	56.1	54.1
1990	28.0	23.7	1.8	1.6	47.8	61.1
1992	24.5	23.9	1.9	1.6	53.7	62.0
1995	28.2	24.2	1.7	1.6	47.6	63.0
1996	24.8	30.3	1.7	1.6	48.6	66.0
1997	31.9	29.6	1.8	1.6	47.5	66.9
1998	36.5	28.2	1.7	1.7	46.3	66.9
1999	36.2	27.6	1.8	1.7	48.3	67.9
2000	36.3	26.8	1.8	1.7	51.0	67.9
2001	32.9	27.3	1.8	1.7	54.7	66.7
2002	26.1	27.9	1.9	1.8	57.9	62.2
2003	28.3	34.5	1.9	1.7	59.2	61.8
2004	24.0		2.0		61.8	
2005	19.0		2.2		65.5	

\*1: 年度により採用府県市の件数が変動  
I/D比: 罹患数の死亡数に対する比  
HV/I(%) : 罹患患者中の組織診実施割合

b) 部位別にみたDCNの比較

鳥取県における部位別DCNの年次推移を見ると、男女とも食道、肝臓、胆嚢、膵臓、肺、腎臓、リンパ組織および造血組織で30-60%の高いDCNであったのが、26年間の間に徐々に低下して、食道や腎臓では20%を下回るほどの改善が見られている。しかし、造血器組織、胆嚢、リンパ組織では30%以上で未だ改善の余地がある。

その他の部位については、顕著なDCNの低下が見られ、男女とも20%を割って、10%代からヒト桁代となる数値が示されて、登録精度の向上が観察された。とりわけ、男の膀胱、結腸、直腸、前立腺、胃、女の乳房、子宮、直腸、結腸、胃が低値を示した(表9)。

表9 鳥取県における部位別登録精度の年次推移

性別	1979	1984	1990	1996	2005	性別	1979	1984	1990	1996	2005
全部位	36.8	35.8	30.4	25.0	18.8	全部位	35.3	34.4	24.8	24.5	19.4
食道	57.1	34.3	27.8	18.0	15.0	食道	33.3	62.5	25.0	40.0	20.0
胃	31.6	35.2	18.5	14.1	12.7	胃	37.3	35.6	18.2	18.0	13.1
結腸	23.3	16.7	22.0	12.9	11.0	結腸	24.2	39.6	23.2	12.0	12.9
直腸	28.6	32.7	14.9	23.1	11.8	直腸	31.6	20.7	10.2	11.5	9.1
肝臓	55.6	24.6	42.6	28.6	26.3	肝臓	61.8	45.5	37.3	34.2	37.5
胆嚢	71.4	47.0	45.7	42.6	36.2	胆嚢	65.2	41.9	39.6	60.0	44.1
膵臓	65.5	58.8	36.1	29.6	25.0	膵臓	57.6	60.0	40.0	40.5	34.8
肺	43.2	41.3	40.9	48.2	28.2	肺	51.1	49.2	42.1	37.0	21.3
前立腺	38.1	45.5	45.3	15.1	12.3	乳房	18.2	16.1	9.7	9.3	7.1
膀胱	22.7	28.1	24.4	13.0	5.4	子宮	32.9	16.9	15.6	25.4	5.6
腎臓	45.5	54.5	61.9	20.0	22.2	卵巣	47.1	34.6	25.0	50.0	17.3
甲状腺	20.0	0.0	0.0	14.3	0.0	膀胱	14.3	29.4	28.6	23.1	27.3
リンパ組織	44.4	28.6	53.7	61.2	31.9	リンパ組織	25.0	33.3	52.0	42.9	35.1
造血組織	41.2	0.0	76.2	53.8	50.0	造血組織	47.1	0.0	40.0	70.0	44.0
						腎臓	25.0	16.7	53.3	36.4	25.7
						甲状腺	0.0	15.4	10.5	3.0	25.0

c) 地域別にみたDCNの比較

平成17年の地域別・部位別DCNにおいて、県全体では肝臓が最も高く29.8%、次いで肺の26.3%が20%以上であった。この傾向は、市計、郡計および東・中・西部でも同様であった。とくに、西部においては殆どの部位で高い値を示した(表10)。

表10 平成17年 地域別・部位別DCN(%)

市町村	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
県計	19.0	12.8	11.9	10.8	29.8	26.3	7.1	5.6
市計	19.1	12.5	10.6	9.8	30.5	28.1	7.2	2.3
郡計	19.0	13.7	14.8	13.2	28.2	22.4	6.9	12.8
鳥取市	11.5	8.3	7.9	3.8	18.2	19.6	2.6	0.0
倉吉市	19.4	17.1	10.5	7.7	21.4	16.7	8.7	0.0
米子市	25.5	14.5	10.4	8.6	45.0	42.2	14.9	4.3
境港市	40.4	23.7	29.4	53.8	52.4	48.1	0.0	11.1
岩美郡	18.3	8.7	0.0	33.3	22.2	33.3	0.0	25.0
気高郡	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
八頭郡	14.3	10.4	12.5	6.7	23.1	18.5	9.1	0.0
東伯郡	18.0	13.0	15.8	11.5	24.1	20.3	0.0	21.4
西伯郡	17.9	15.7	7.4	17.6	37.5	19.6	7.7	9.1
日野郡	40.6	23.5	35.3	0.0	60.0	33.3	66.7	0.0
鳥取保健所	12.0	8.3	7.4	5.8	18.6	20.8	2.5	1.9
郡家支所	14.3	10.4	12.5	6.7	23.1	18.5	9.1	0.0
倉吉保健所	18.6	15.1	13.2	10.3	22.8	18.7	3.9	15.0
米子保健所	25.9	16.1	12.1	17.0	45.4	37.1	12.1	7.0
日野保健所	40.6	23.5	35.3	0.0	60.0	33.3	66.7	0.0
東部	12.4	8.6	8.4	5.9	19.5	20.5	3.3	1.6
中部	18.6	15.1	13.2	10.3	22.8	18.7	3.9	15.0
西部	26.9	16.5	14.6	16.3	46.1	36.8	14.5	6.7

# 届出精度の向上で DCN19%（平成 17 年） 近々一桁台も夢ではない

平成 21 年度がん登録対策専門委員会

■ 日 時 平成 21 年 7 月 18 日（土）午後 1 時 40 分～午後 2 時 50 分

■ 場 所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町

■ 出席者 21 人

岡本健対協会長、岸本委員長

宮崎・吉中・明穂・岩垣・古城・山下・福島・石飛・南崎・藤井・

前田・国政・石長・能勢・紀川・尾崎・岡本幹三各委員

県健康政策課：澤田副主幹

健対協事務局：田中主事

## 挨拶(要旨)

### <岡本会長>

がん診療連携拠点病院が指定され、院内がん登録が充実されたことを受けて、地域がん登録の精度が非常に良くなっている。届出精度としての DCN は 19% となり、一桁台も近いと思う。今後共、よろしくお願いします。

### <岸本委員長>

皆様のご協力により、届出数がかかなり伸びている。DCN の改善等で、鳥取県のがん対策の基本データをきちんと積み上げることが出来、非常にすばらしい傾向である。このことは、「がん対策基本法」が施行され、拠点病院等が指定されたことによる。

本日は、がん登録精度をより高めるために、忌憚のないご意見をお願い致します。

## 報 告

### 平成 20 年度がん登録事業報告：岡本幹三委員

#### 1) 鳥取県における平成 17 年がん罹患・受療状況 標準集計結果

##### a) 罹患集計

##### (1) 罹患数

がんの全部位では罹患総数 3,876 件（男 2,281、女 1,595）で、部位別に男では胃>肺>前立腺>結腸>肝臓の順で、女では胃>乳房>結腸>肺の順で男だけ全国と一致した。

年次推移では、男女とも全部位・胃、男では肺、前立腺、女では乳房において罹患数の増加傾向が観察された。

##### (2) 粗罹患率

人口 10 万対 638.3（男 786.4、女 502.8）であった。

##### (3) 年齢調整罹患率

人口 10 万対 349.7（男 464.2、女 267.6）で、男女とも 2003 年の全国推計値を上回る値を示した。

##### (4) 年齢調整罹患率の年次推移（1988-2005 年）

前年（2004 年）に比べて 2005 年は、男では結腸、女では乳房、子宮、直腸で減少傾向が見られた以外は、男女ともほとんどの部位で増加傾向が観察された。

##### (5) 地域別標準化罹患比（全国=100）

東部では男は膵臓、直腸、膀胱、胃、女は膀胱、肝臓、子宮、中部では男の前立腺、膀胱が、西部では男の肺、結腸、女の膀胱、直腸、卵巣、食道が高い罹患比を示した。しかし、男のリンパ腫は中西部とも 50.9、75.0、中部では女の食道が 29.1、

表1 鳥取県における性、主要部位別がん罹患状況 —平成17年(2005年)—

男	全部位	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ腫
罹患数	2,281	80	503	209	144	194	58	76	369	1	0	0	244	93	55
罹患割合	100.0	3.5	22.1	9.2	6.3	8.5	2.5	3.3	16.2	0.0	0.0	0.0	10.7	4.1	2.4
粗罹患率	786.4	27.6	173.4	72.1	49.6	66.9	20.0	26.2	127.2	0.3	0.0	0.0	84.1	32.1	19.0
調整罹患率	464.2	16.8	105.2	41.5	30.2	41.6	10.7	16.1	69.3	0.2	0.0	0.0	44.1	18.4	13.2
全国推定罹患率	409.8	15.1	81.1	38.5	25.3	32.0	9.2	13.7	59.6	0.0	0.0	0.0	41.4	13.7	15.5

女	全部位	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ腫
罹患数	1,595	15	252	178	88	88	68	69	141	210	126	52	0	33	49
罹患割合	100.0	0.9	15.8	11.2	5.5	5.5	4.3	4.3	8.8	13.2	7.9	3.3	0.0	2.1	3.1
粗罹患率	502.8	4.7	79.4	56.1	27.7	27.7	21.4	21.8	44.4	66.2	39.7	16.4	0.0	10.4	15.4
調整罹患率	267.6	2.9	40.3	26.5	14.6	12.3	6.9	7.8	20.8	48.8	30.5	10.6	0.0	3.7	7.8
全国推定罹患率	260.8	2.3	31.2	24.7	11.2	10.4	7.0	7.9	18.4	56.1	32.3	9.2	0.0	2.7	8.2

\*全国推定罹患率は2003年データを使用

肝臓が79.4、西部では肺が75.4と低い罹患比を示した。

(6) 年齢階級別罹患率

全体的にほとんどの部位において年齢とともに増加傾向が見られるが、乳房は60歳代でピークを示し、その後減少した。子宮も60歳代でピークを示し、その後減少した。

乳房と子宮について年齢階級別の罹患構成比を1979-1983年までと2004-2005年までの2つの期間に分けて比較すると、乳房では70歳以上の罹患割合の増加と39歳未満の減少が顕著であったが、子宮では、39歳未満の若年層において3倍も増加した。

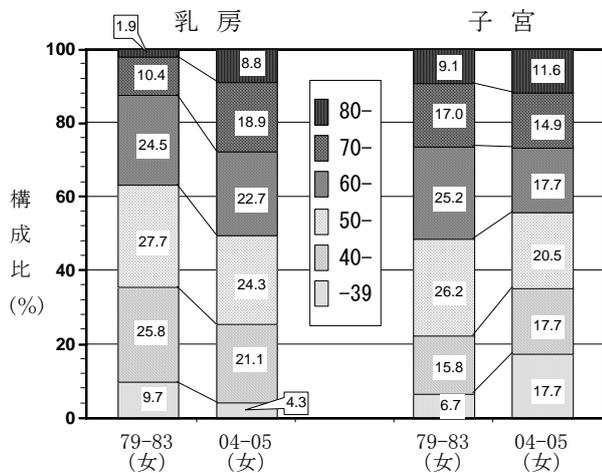


図1 年齢階級別罹患構成比の年次比較

b) 受診動機別集計

肝臓以外の部位で有訴受診が最も多く、全部位で44.1%、次いで他疾患治療中の13.4%、各種がん検診、健康診断(含人間ドック)の順となった。部位別には、皮膚、卵巣、口腔・咽頭で7割以上が有訴受診で、77.8%、72.4%、70.7%、他疾患治療中が多い部位は肝臓、甲状腺でそれぞれ26.6%、20.8%であった。

c) がん患者の医療機関からの届出状況

平成20年(2008年)の届出総数は、4,693件で前年より73件の減少であった。地域別では、東部で2,146件、中部で848件、西部で1,699件、前年に比して中部の増加が顕著であった。

d) 登録精度

(1) DCN

登録精度の評価として用いられるDCNの値は、平成17年(2005年)は19.0%となり、昨年より5.0%減少し、登録精度の向上が見られた。

部位別には、男女とも造血組織および膵臓で50%前後の高いDCNであった。女では胆嚢、肝臓、膵臓、男では胆嚢が30%以上のDCNを示した。

(2) I/D比

2.15で全国値1.93(2003年推計値)を上回る値を示した。

表2 部位別・受診動機別集計結果(%) 2005年標準集計対象

	有訴受診	健康診断	各種がん 検 診	他疾患 治療中	その他	計
全部位	44.1	10.0	10.4	13.4	22.2	100.0
胃	31.1	17.4	14.9	14.4	22.2	100.0
結腸	42.5	9.0	21.9	10.6	15.9	100.0
直腸	52.8	9.7	14.2	8.0	15.3	100.0
肝臓	24.3	4.7	0.6	26.6	43.8	100.0
肺	36.4	11.7	10.2	16.0	25.7	100.0
乳房	57.7	3.7	24.9	1.6	12.2	100.0
子宮	54.6	2.8	5.6	3.7	33.3	100.0

(3) 組織診断実施割合

組織診断実施割合は、65.5%で前年集計値より約 3.7%の増加が見られた。この値は全国推計値 61.8% (2003 年推計値) と比較すると、かなり改善されてきたといえる。

2) 登録精度の向上のための届出勸奨の送付

平成 17 年(2005 年)標準集計の登録精度は DCN=19.0% と改善されているが、さらなる精度向上をめざして平成 20 年(2008 年)度も前年度に引き続き県内医療機関へ鳥取県健康対策協議会の会長名およびがん登録対策専門委員会委員長名で届出勸奨を実施した。

3) 標準集計システムの構築

これまでは、既登録・未登録、多重の有無などのチェック作業を紙ベースで行っていた照合作業が、コンピュータ画面上で目視しながら加工処理することができるようにシステムを更新した。今

後の集計作業の省力化と汎用性のみならず集計結果の即時性と還元につながることを期待される。

4) 電子媒体によるがん登録届出システムの拡充

県内 14 の医療機関の協力を得て、平成 19 年 11 月より運用を開始することができた。

5) 鳥取県がん登録届出票の項目表記方法の見直し

現行の「がん登録届出票」の一部を、全国一律の院内がん登録の項目にあわせることとなった。よって、届出票、がん登録システムの一部変更については、早急に対応することとなった。変更箇所は以下のとおりである。(6)診断名の項目の改訂。(10)症状初発年月日の項目を削除する。(14)治療方法の選択項目に体腔鏡的手術を追加して変更する。

表3 主要医療機関、地域別届出件数の年次推移(1992年-2008年)

	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
主要病院	1,469	1,360	1,599	1,167	1,329	1,696	1,273	1,385	1,339	1,505	1,786	2,226	2,751	2,392	2,568	2,908	3,317
大学病院	361	242	261	305	357	215	245	266	233	286	208	375	355	304	419	1,107	706
その他病院・診療所	688	591	621	646	669	493	562	602	440	525	534	459	589	594	759	751	670
東部	1,023	933	1,024	764	827	927	780	834	720	965	1,104	1,576	1,867	1,667	1,887	2,022	2,146
中部	417	339	547	481	486	451	476	462	379	414	523	436	476	513	628	486	848
西部	1,078	921	908	871	1,039	1,020	822	947	910	936	896	1,046	1,352	1,110	1,231	2,258	1,699
県全体	2,518	2,193	2,481	2,118	2,355	2,404	2,080	2,253	2,012	2,316	2,528	3,060	3,695	3,290	3,747	4,766	4,693
HV/I(%)																	
鳥取県	53.7	55.7	54.4	47.6	48.6	47.5	46.3	48.3	51.0	54.7	57.9	59.2	61.8	65.5	-	-	-
全国	62.0	62.6	63.1	63.0	66.0	66.9	66.9	67.9	67.9	66.7	62.2	61.8	-	-	-	-	-
DCN/I(%)																	
鳥取県	24.5	28.9	27.5	28.2	24.8	31.9	36.5	36.2	36.3	32.9	26.1	28.3	24.0	19.0	-	-	-
全国	23.9	23.3	23.4	24.2	30.3	29.6	28.2	27.6	26.8	27.3	27.9	34.5	-	-	-	-	-

主要病院：県中、市立、赤十字、岩美、智頭、厚生、国立、労災、博愛、済生会、西伯、日南、日野

## 6) 平成 20 年(2008 年)度鳥取県がん登録事業報告書(平成 16 年(2004 年))集計の印刷・配布

### 7) 第 17 回全国がん登録協議会総会研究会

毎年、全国協議会では総会研究会が開催され、各自治体登録事業主管課を中心に活発な意見交流がなされてきた。平成 20 年度は、会長：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 原研病理教授 関根一郎先生の主管で、9 月 12 日に長崎大学医学部良順会館において開催され、9 月 11 日の実務者研修会と併せて多くの参加者があり成功裡に終わった。メインテーマは「がん対策基本法施行後の現状と課題」であった。

## 協 議

### 1) 平成 21 年度事業計画について、以下のとおり岸本委員長より説明があり、承認された。

#### (1) 平成 18 年(2006 年)がん罹患・受療状況標準集計

平成 18 年(2006 年)における性・年齢階級別における部位別がん罹患数を求め、粗罹患率・年齢調整がん罹患率を算出する。また、入院・手術・放射線治療および化学療法などの治療方法及び X 線・内視鏡・組織診などの実施検査についての受療状況集計を実施する。

罹患集計の結果は、医師会報、事業報告、ホームページを通して公表する。

#### (2) がん検診の精度評価

がん検診受診者データ全ての活用が可能となれば、がん登録とリンク(記録照合)することによって、各種がん検診の見逃し率をはじめとする精度評価(敏感度、特異度など)が可能となる。現在、鳥取県個人情報審議会へ諮問し、リンク解析の承認を得ることができているので、本年度も昨年に引き続き市町村の承諾に向けて市町村の個人情報審議会へ諮問していく必要がある。

(3) 登録精度の向上のための届出勧奨、補充届出票による遡り調査、各種検診発見がんからの登録

平成 14 年(2002 年)より登録精度は改善傾向があるが、引き続き登録精度の向上をめざして、県内主要病院を対象にした届出勧奨を進める。また、平成 18 年死亡小票からの補充届出票による遡り調査と各種検診発見がんの未登録分の登録も行う。

(4) 鳥取県におけるがんの生存率解析および死亡統計解析システムの構築

がん罹患死亡の動向について随時閲覧・参照できるようにするため、腫瘍登録管理システムの更新を行う。

(5) 平成 21 年度鳥取県がん登録報告書の印刷・配布

関係協力医療機関やがん登録専門委員の意見・要望等を取り入れて、報告書の編集刷新を図っていく。

(6) 第 18 回地域がん登録全国協議会総会研究会(新潟市)への参加

第 18 回地域がん登録全国協議会総会研究会が 9 月 3 日(木)、9 月 4 日(金)に新潟県民会館(会長：県立がんセンター新潟病院副院長 小松原秀一先生)において開催される。9 月 3 日はがん登録実務者研修会が開催され、9 月 4 日の総会研究会では、「がん検診とがん登録」をメインテーマに開催される予定である。

以下の質問があった。

Q1：上皮内がん、頭蓋内の新生物においては良性および性状不詳の新生物についても届出るので、それらを含めると生存率が高くなるのではないかと。

A：上皮内がんを含めると生存率は当然高くなるが、一般的には、乳房、子宮の上皮内がんや多重がんは除外した生存率解析が行われる。

Q 2 : がんを罹患していても、死因は別の病名で死亡という場合がある。死因の直接原因はがんとしてもいいのではないかと迷う症例がある。

A : 死亡統計の死因については、厚生労働省で一括して原死因の判定をしているので、必ずしもがん罹患イコールがん死亡とはなっていない。ちなみに、鳥取県がん登録では、死因の8割強ががん死で、他病死は約2割である。部位別には予後の悪いがん（肝臓、膵臓、肺、卵巣、悪性リンパ腫）は90%台、予後の良好ながん（胃、大腸、乳房、子宮、前立腺）は70%台ががん死となっている。

Q 3 : 部位別で進行度別の死亡率の評価を行ってほしい。

A : 届出項目に進行度別を取り入れたのが、2002年からである。よって、今後の生存率解析システムの構築が完了すれば、進行度別の生存率を提供することが出来、医療機関におけるがん診療技術の評価も可能になると思われる。

Q 4 : 胃癌の死亡率は低下傾向だが、結腸、直腸、乳癌の死亡率の低下が見られないのはどうしてか。

A : 食の欧米化により、大腸癌、乳癌の罹患数が多くなっていること。また、当該部位の進行癌が依然として多いことが要因と思われる。

# がん登録とがん検診

## 地域がん登録全国協議会第18回総会研究会

健康対策協議会・がん登録対策専門委員会 岡本 幹三

「がん登録とがん検診」をメインテーマに第18回地域がん登録全国協議会総会研究会が、9月3日から4日の両日、新潟県民会館で開催された。両日とも200人前後の参加者があった。

9月4日（金）は、特別講演のほか、「がん登録システムの標準化—その効果と問題点—」をテーマにしたパネルディスカッションが開催された。

まず、「標準化のめざすもの」として基調講演があり、標準化の共通の目標を定めて実行していく必要があることが強調された。総論賛成、実行はだめでは通用しない。実行あるのみである。

標準化とは、標準データベースシステムを導入して、できる限り少ない労力と資源で、がん対策に利用できる罹患数・罹患率と地域レベルの生存率を整備し、登録資料を有効活用すること、である。

現在31道府県（青森、岩手、宮城、山形、茨城、栃木、群馬、千葉、神奈川、新潟、富山、石川、福井、岐阜、愛知、滋賀、京都、大阪、鳥取、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、鹿児島、沖縄）ががん登録データを提出・標準集計を実施しているが、全国推計の基準を満たしているものはまだまだ少ない。DCN（毎年集計する対象年のがん罹患数の中で、死亡情報からはじめて把握された医療機関からのがんの届出以外のがん罹患数の割合）が30%以下、I/D比（集計対象年のがん罹患数が、その年のがん死亡数の何倍かを示す）が1.5以上を満たさないと罹患率の過小評価につながるからである。そのためにも、がん登録システムの標準化は不可欠といえる。しかし、標準データベースシステム（標準DBS）は、現在15登録室（青森、山形、茨城、栃木、群馬、山梨、福井、滋賀、愛知、兵庫、広

島、山口、愛媛、香川、熊本）が導入済みで、8県（北海道、新潟、石川、岐阜、京都、大阪、徳島、沖縄）が導入を計画している。ちなみに、鳥取県の平成17年のDCNは19.0%、I/D比は2.2でいずれも高い登録精度を維持している。また、鳥取県は、登録実務を県医師会と大学で処理する関係から一括して処理出来ないため、標準データベースシステム（標準DBS）の導入はしていない。しかし、届出システムの見直しをして、実務処理の専門スタッフを数名置き、1カ所でまとめて処理出来る体制が保証されれば、標準DBSの導入も実現可能かと思われるので、検討の余地はある。

標準化の必要性としては、生死確認、同一人物の抽出・同一人判定、多重がん判定における登録室間のバイアスを解消し、罹患率や生存率の地域間比較を可能にすることである。収集する項目も、目的に照らして必要最低限にし、データ活用としては、がんの発生予防、がん検診の整備、がん医療体制の均てん化・集中化の評価などに利用される。

いずれにしても、標準化の推進に当たっては、がん登録実務者の知識と経験が問われる。

次いで、栃木県からDBS導入、運用開始に当たっての体験談が報告された。DBSの導入によって、データの質が向上、他県データとの比較も可能となった。実務の面でも入力作業の負担が軽減した。集計表の打ち出しも簡単で、報告書作成に要する時間も労力も軽減された。しかし、データ移行には過去データとの整合性が保てないなどの課題があり、多くの労力と時間を費やした。

愛知県がん登録からは、遡り調査と届出票画像化機能の有効性について報告された。DCN症例に対する遡り調査は、初めての実施であったが、

DBS 導入によって対象年、死亡者の住所、死亡場所、がん記載区分、死亡施設の住所によって選択することができ、施設別の送付リストや遡り調査表の作成が可能となった。また、届出票の保存は、個人情報保護の観点から問題となるところであるが、画像化機能の検証もかねて、既存届出票約 36 万枚の一括画像化と DBS への登録作業を行うことができた。

福井県からは、DBS 導入の経緯と現在の問題点について述べられた。入力作業量は増加したが、入力データの目視確認も不要となり、各項目間の論理チェックが自動化されその分の作業量が軽減された。また、罹患集計用データ、世界がん登録用データも自動的に作成されるなど多大なメリットがあった。

長崎県からは、DBS を何故導入しないのか、標準化に対峙する立場からの話題提供があった。地域の独自性と標準化の期待について、地域には地域それぞれの事情があり、地域特性を考慮した自由度と独自コードやオプションコードを容認すべきである。とりわけ、病理情報収集による 100% 登録確保を目指す長崎では DBS を導入すると精度が低下する、という観点から、躊躇しているということであった。

関連発言として、新潟県から病歴業務におけるがん登録の標準化について、特に病理組織コーディングに関連して、多くの施設が抱えている問題について話題提供があった。その一例として、各臓器取り扱い規約と、UICC・TNM 分類と ICD-O-3 組織形態・性状コードが一致しない点、進行度分類で過去に臓器限局とした症例を、上皮内(m)と臓器限局(sm 以上)に分け直すことは事実上困難である、という問題提起があった。

特別発言として、山形県から標準化は強制されるものではなく、長崎県から提案のあった地域特性を考慮した自由度と独自コードや項目追加は何ら問題ない。標準化は、あくまでも登録室間のバイアスを解消し、罹患率や生存率の地域間比較を可能にするためのものである。誤解のないように

してほしい、というコメントであった。

特別講演では、「がん検診の精度管理と地域がん登録」をテーマに、県立がんセンター新潟病院の小越和栄氏が、がん登録データから推定できるがん検診の有効性とがん検診の精度および有効性について講演された。特に、内視鏡検診の有効性を証明する死亡率減少効果は、X線検診と比べて初回受診者では十分な効果があり、逐年検診受診者ではさらに顕著な効果があった、という話が注目された。

3日(木)は、がん登録実務に携わる医師や看護師、自治体職員 165 名が参加して、「病期分類概論」、「がん登録でどのように使用されているか」、「精度管理の評価方法」、「検診データ精度管理の実際」について、話題提供され意見交換が行われた。

病期分類は、治療計画に役立つばかりでなく、情報交換の手段として有効である。単純な分類、複数の分類を要約して趨勢変化を観察することができる。しかし、進展度を知らないで届出をしている医者もいるし、直感でコードする場合もあり、UICC 分類、TNM 分類など分類方法によっては、進展度の矛盾があり、問題も多い。がん登録取り扱い規約も煩雑で、地域がん登録への応用は困難。胃がんの上皮内がんの取り扱い、限局とするかどうか、所属リンパ節転移と隣接臓器リンパ節転移を地域がん登録ではまとめて限局としているが、生存率から解釈すると矛盾することを認識すべきである

病期分類の活用としては、進行度分布から限局割合の推移、市町村間の比較、限局割合の他県との比較をしたり、進行度別生存率の推移や他県との比較をしたりすることはもとより、がん対策の企画・評価にも活用されることについて事例をまじえた話題提供があった。

精度管理の評価方法では、がん検診の精度評価は、正しい評価、有効活用するために必要である。その評価指標として、プロセス指標とアウトカム指標がある。プロセス指標には、がん検診受診率、

要精検率、精検受診率、陽性反応的中率、がん発見率、感度、特異度などがある。なかでも、要精検率、陽性反応的中率、がん発見率は、対象集団の有病率との関連性が深く、地域差、性、年齢、受診歴などの交絡要因によって左右される。アウトカム指標には、がん死亡率があるが、短期間での評価は困難である。いずれにしてもプロセス指標の定義、算出方法と解釈についての説明が中心であった。

最後に、検診データの精度管理の実際について、話題提供があった。乳がん検診データ管理を中心に、裏の実像をひもとく話であった。乳がん罹患

と死亡は、並行して増加、ともに我が国の国民的課題となっている。乳がんの罹患率と死亡率の推移から、第一次予防、第二次予防の遅れがある。乳がんの歴史は、視触診→視触診+マンモグラフィ→マンモグラフィ+視触診、という流れで推移しているが、視触診は必ずしも必要な検査ではない。要は、有効な検診を多くの人に、正しく実施していくことである。しかし、今後の課題として、一次検診のさらなる精度向上、精検未受診者への積極的な受診勧告、適切な精検施設への誘導の重要性が提起された。

### 第18回地域がん登録全国協議会総会研究会プログラム

【総会研究会】平成21年9月4日(金曜日)

- 9:40-10:00 会長挨拶、来賓祝辞
- 10:00-12:00 パネルディスカッション「がん登録システムの標準化—その効用と問題点—」  
司会 津熊秀明  
基調講演：標準化のめざすもの 国立がんセンター 味木和喜子  
演題1. 実際に標準システムを導入、運用を開始して  
栃木県立がんセンター 大木いずみ他  
2. 愛知県がん登録における標準データベースシステムによる遡り調査、  
登録票画像化の実例の紹介 愛知県がんセンター 伊藤秀美  
3. 福井県における標準DBS導入の経緯 福井社会保険病院 藤田 学  
4. がん登録の標準化と地域特性 放射線影響研究所 早田みどり  
関連発言：病歴業務におけるがん登録標準化への対応  
—特に病理組織コーディングに関連して—  
県立がんセンター新潟病院 丸山洋一  
特別発言：標準DBS導入の実際から 山形県立がん・生活習慣病センター 柴田亜希子  
12:00-12:30 総会  
12:30-14:00 昼食兼ポスター見学  
1. 各登録室の現状 2. がん登録から見たがん検診  
3. がん登録を利用した研究 4. その他  
14:00-14:40 特別講演 司会 岡本直幸  
「がん検診の精度管理と地域がん登録」 県立がんセンター新潟病院 小越和栄  
14:40-14:50 ポスター表彰  
14:50 閉会の辞

**【実務者研修会】平成21年9月3日(木曜日)**

- 14 : 30-17 : 30 研修会
1. 進行度分類 (14:30-15:50)
    - 1) 病期分類概論  
司会 柴田亜希子  
福井県立病院 海崎泰治
    - 2) がん登録でどのように使用されているか  
大阪府立成人病センター 井岡亜希子
- 15 : 50-16 : 10 休憩
2. 検診の精度管理 (16 : 10-17 : 30)
    - 1) 精度管理の評価方法  
司会 小越和栄  
宮城県立がんセンター 西野善一
    - 2) 検診データ精度管理の実際  
新潟ブレスト検診センター 佐野宗明
- 18 : 30- 情報交換会  
オークラホテル新潟 4階

# 報告資料3 鳥取県医師会腫瘍調査部年間集計(平成21年1月～12月)

## (1)施設別登録件数

医療機関名		件数	新規登録件数
鳥取市	鳥取県立中央病院	726	519
	鳥取市立病院	730	516
	鳥取赤十字病院	314	249
	鳥取生協病院	25	20
	石井内科小児科クリニック	6	6
	梅沢産婦人科医院	5	3
	岸田内科医院	6	3
	清水内科医院	9	8
	宍戸医院	3	3
	竹田内科医院(本町)	6	5
	にしうら皮膚科	5	2
	野口産婦人科クリニック	2	2
	野の花診療所	87	48
	橋本外科医院	5	5
	前田医院	2	2
	松岡内科	4	4
	まつだ内科医院	17	14
	米本内科	8	8
	よろず医院	1	1
	林医院(用瀬町)	1	1
岩美郡	岩美病院	1	1
八頭郡	若桜柿坂医院	2	1
<b>東部小計</b>		<b>1,965</b>	<b>1,421</b>
倉吉市	鳥取県立厚生病院	584	435
	清水病院	2	2
	野島病院	198	131
	打吹公園クリニック	2	2
	音田内科	1	1
	せいきょう倉吉診療所	8	8
	野田外科医院	1	1
	もりしたクリニック	5	4
	山本内科医院	4	4

医療機関名		件数	新規登録件数
東伯郡	中部医師会立三朝温泉病院	21	12
	土井医院	3	2
	赤碕診療所	19	8
	岡本医院(北栄町)	1	1
	<b>中部小計</b>		<b>849</b>
米子市	鳥取大学医学部附属病院	751	615
	米子医療センター	637	421
	山陰労災病院	271	192
	博愛病院	68	47
	越智内科医院	16	14
	小酒外科医院	1	0
	下山医院	13	13
	竹内医院	1	1
	中村医院	4	3
	新田外科胃腸科病院	6	4
	循環器クリニック花園内科	1	1
	旗ヶ崎内科クリニック	15	12
	吹野内科消化器科小児科クリニック	2	2
	本田医院	3	3
	松田内科クリニック	1	1
	山口外科医院	5	5
	消化器クリニック米川医院	53	23
脇田産婦人科医院	2	2	
境港市	済生会境港総合病院	81	61
	小林外科内科医院	3	3
	西伯郡	佐々木医院(大山町)	6
西伯病院		38	21
伯耆中央病院		6	3
日野郡	日野病院	12	11
	江尾診療所	1	1
<b>西部小計</b>		<b>1,997</b>	<b>1,465</b>
<b>合計</b>		<b>4,811</b>	<b>3,497</b>

\*新規登録件数には、既登録分(含他医療機関届出分)や県外居住者分は含まれません。  
多重がんについては判定が煩雑なため、2009年分のみ含まれます。

(2) 部位別登録件数(含む重複例)

部 位	届 出 件 数	新 規 登 録 件 数
口 腔 ・ 咽 頭 癌	7 1	6 5
食 道 癌	1 2 8	8 2
胃 癌	8 3 4	6 0 2
結 腸 癌	4 8 9	3 6 5
直 腸 癌	2 5 9	1 8 3
肝 臓 癌	2 9 4	1 8 6
胆 嚢 ・ 胆 管 癌	1 4 9	1 0 5
膵 臓 癌	1 5 6	9 6
喉 頭 癌	3 0	2 2
肺 癌	6 7 1	4 5 9
皮 膚 癌	8 6	6 2
乳 癌	4 0 4	3 2 9
子 宮 癌	1 6 2	1 4 1
卵 巢 癌	4 3	2 8
前 立 腺 癌	2 6 5	1 9 1
膀 胱 癌	1 5 7	1 0 6
腎 臓 癌	1 1 1	8 1
脳 腫 瘍	3 6	2 7
甲 状 腺 癌	7 0	6 2
リ ン パ 腫	9 6	7 3
骨 髄 腫	2 9	2 0
造 血 組 織	7 5	5 9
そ の 他	1 9 6	1 5 3
合 計	4, 811	3, 497

- ・鳥取県内居住者の届出件数です。
- ・届出件数 4,811 件のうち、新規登録者は 3,497 件でした。

資料 1 - 1 部位別・受診動機別集計結果（実数）

2005年標準集計対象

	有訴受診	健康診断 (人間ドック等)	各種がん検診	他疾患 治療中	その他	計
全部位	1211	275	286	368	609	2749
口腔・咽頭	29	1		7	4	41
食道	27	13	2	11	15	68
胃	175	98	84	81	125	563
結腸	128	27	66	32	48	301
直腸	93	17	25	14	27	176
肝臓	41	8	1	45	74	169
胆嚢胆管	35	4		9	19	67
膵臓	49	1		15	27	92
肺	125	40	35	55	88	343
皮膚	21			4	2	27
乳房	109	7	47	3	23	189
子宮	59	3	6	4	36	108
卵巣	21			3	5	29
前立腺	70	42	18	39	21	190
腎など	33	3	2	8	11	57
膀胱	64	5		10	16	95
脳など	15	1		3	7	26
甲状腺	14	2		5	3	24
その他	103	3	0	20	58	184

資料 1 - 1 部位別・受診動機別集計結果（％）

2005年標準集計対象

	有訴受診	健康診断 (人間ドック等)	各種がん検診	他疾患 治療中	その他	計
全部位	44.1	10.0	10.4	13.4	22.2	100.0
口腔・咽頭	70.7	2.4	0.0	17.1	9.8	100.0
食道	39.7	19.1	2.9	16.2	22.1	100.0
胃	31.1	17.4	14.9	14.4	22.2	100.0
結腸	42.5	9.0	21.9	10.6	15.9	100.0
直腸	52.8	9.7	14.2	8.0	15.3	100.0
肝臓	24.3	4.7	0.6	26.6	43.8	100.0
胆嚢胆管	52.2	6.0	0.0	13.4	28.4	100.0
膵臓	53.3	1.1	0.0	16.3	29.3	100.0
肺	36.4	11.7	10.2	16.0	25.7	100.0
皮膚	77.8	0.0	0.0	14.8	7.4	100.0
乳房	57.7	3.7	24.9	1.6	12.2	100.0
子宮	54.6	2.8	5.6	3.7	33.3	100.0
卵巣	72.4	0.0	0.0	10.3	17.2	100.0
前立腺	36.8	22.1	9.5	20.5	11.1	100.0
腎など	57.9	5.3	3.5	14.0	19.3	100.0
膀胱	67.4	5.3	0.0	10.5	16.8	100.0
脳など	57.7	3.8	0.0	11.5	26.9	100.0
甲状腺	58.3	8.3	0.0	20.8	12.5	100.0
その他	56.0	1.6	0.0	10.9	31.5	100.0

資料 1 - 2 部位別・診断方法の割合(旧届出票)

- 2005年診断 -

部位	X線	内視鏡	組織診	細胞診	R I	超音波	剖検	臨床経過	C T	その他
全部位	41.3%	47.0%	74.3%	18.4%	11.1%	27.4%	0.0%	1.7%	41.2%	13.2%
口腔・咽頭	40.0%	40.0%	100.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%
食道	43.5%	78.3%	87.0%	4.3%	8.7%	13.0%	0.0%	0.0%	43.5%	8.7%
胃	45.2%	82.2%	91.7%	7.6%	1.9%	5.1%	0.0%	0.0%	17.8%	1.9%
結腸	41.7%	71.4%	88.1%	3.6%	0.0%	3.6%	0.0%	2.4%	26.2%	4.8%
直腸	46.2%	69.2%	82.7%	9.6%	7.7%	15.4%	0.0%	1.9%	36.5%	7.7%
肝臓	16.7%	3.7%	24.1%	3.7%	20.4%	68.5%	0.0%	1.9%	87.0%	40.7%
胆嚢・胆管	45.0%	20.0%	30.0%	20.0%	10.0%	65.0%	0.0%	5.0%	65.0%	15.0%
膵臓	23.3%	16.7%	23.3%	26.7%	10.0%	53.3%	0.0%	0.0%	83.3%	23.3%
喉頭	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
肺	67.3%	26.5%	63.3%	46.9%	22.4%	10.2%	0.0%	6.1%	67.3%	16.3%
皮膚	0.0%	0.0%	100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
乳房	69.4%	8.3%	80.6%	58.3%	33.3%	69.4%	0.0%	2.8%	52.8%	13.9%
子宮	38.9%	16.7%	72.2%	72.2%	16.7%	38.9%	0.0%	0.0%	16.7%	11.1%
卵巣	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%
前立腺	20.0%	8.6%	94.3%	2.9%	25.7%	45.7%	0.0%	0.0%	22.9%	37.1%
膀胱	57.1%	21.4%	85.7%	42.9%	21.4%	64.3%	0.0%	0.0%	85.7%	7.1%
腎など	25.9%	63.0%	77.8%	37.0%	7.4%	48.1%	0.0%	0.0%	37.0%	11.1%
脳など	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	40.0%	0.0%	80.0%	80.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%
リンパ腫	40.0%	33.3%	60.0%	20.0%	13.3%	13.3%	0.0%	6.7%	40.0%	20.0%
骨髄腫	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
造血組織	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%

資料 1 - 2 部位別診断方法の割合(新届出票)

- 2005年診断 -

部位	原発巣の組織診	転移巣の組織診	細胞診	部位特異的な腫瘍マーカー	臨床検査	臨床所見のみ
全部位	74.2%	2.0%	8.8%	4.2%	13.8%	1.3%
口腔・咽頭	84.8%	0.0%	4.3%	0.0%	4.3%	2.2%
食道	93.0%	0.0%	0.0%	1.8%	8.8%	0.0%
胃	94.4%	0.2%	0.6%	0.4%	4.4%	0.2%
結腸	85.3%	1.2%	1.2%	0.4%	10.1%	2.3%
直腸	90.5%	1.2%	1.8%	1.2%	6.5%	1.2%
肝臓	25.5%	4.1%	1.4%	24.8%	54.5%	4.8%
胆嚢・胆管	37.5%	3.6%	23.2%	8.9%	51.8%	0.0%
膵臓	21.9%	1.4%	15.1%	21.9%	50.7%	2.7%
喉頭	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
肺	47.9%	4.9%	35.7%	4.3%	13.4%	1.5%
皮膚	88.5%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%
乳房	76.7%	0.6%	14.7%	1.2%	8.0%	2.5%
子宮	88.2%	0.0%	5.9%	0.0%	4.9%	0.0%
卵巣	79.5%	0.0%	5.1%	7.7%	12.8%	0.0%
前立腺	90.6%	0.0%	0.6%	7.8%	3.9%	1.1%
膀胱	84.7%	0.0%	3.5%	0.0%	12.9%	1.2%
腎など	59.3%	11.1%	13.0%	1.9%	25.9%	1.9%
脳など	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	4.2%
甲状腺	50.0%	0.0%	55.0%	0.0%	5.0%	0.0%
リンパ腫	78.6%	5.7%	4.3%	1.4%	12.9%	0.0%
骨髄腫	43.8%	12.5%	12.5%	18.8%	31.3%	0.0%
造血組織	76.0%	0.0%	8.0%	4.0%	4.0%	0.0%

資料 1 - 3 病巣の拡がり

- 2005年診断 -

	病巣の拡がり						合計
	上皮内	限局	所属リンパ節	隣接臓器浸潤	遠隔転移	不明	
全部位	7.9%	42.3%	14.9%	8.8%	14.4%	11.7%	100.0%
口腔・咽頭	8.3%	25.0%	39.6%	12.5%	8.3%	6.3%	100.0%
食道	16.0%	26.7%	34.7%	6.7%	10.7%	5.3%	100.0%
胃	18.7%	40.7%	16.1%	4.6%	10.0%	10.0%	100.0%
結腸	10.7%	31.8%	18.2%	6.5%	14.6%	18.2%	100.0%
直腸	8.2%	36.3%	23.1%	6.0%	12.6%	13.7%	100.0%
肝臓	0.0%	71.3%	3.4%	3.9%	12.9%	8.4%	100.0%
胆嚢胆管	0.0%	34.3%	14.3%	24.3%	12.9%	14.3%	100.0%
膵臓	0.0%	9.9%	5.5%	34.1%	44.0%	6.6%	100.0%
肺	0.8%	33.8%	19.1%	8.9%	26.9%	10.5%	100.0%
皮膚	25.0%	67.9%	0.0%	3.6%	3.6%	0.0%	100.0%
乳房	5.3%	47.1%	24.3%	1.6%	5.8%	15.9%	100.0%
子宮	16.1%	55.1%	6.8%	11.9%	5.9%	4.2%	100.0%
卵巣	0.0%	34.1%	12.2%	22.0%	29.3%	2.4%	100.0%
前立腺	1.0%	57.6%	4.0%	14.6%	11.6%	11.1%	100.0%
腎など	3.1%	49.2%	4.6%	13.8%	27.7%	1.5%	100.0%
膀胱	3.8%	74.3%	2.9%	7.6%	2.9%	8.6%	100.0%
脳など	0.0%	79.2%	0.0%	0.0%	0.0%	20.8%	100.0%
甲状腺	0.0%	36.4%	45.5%	13.6%	0.0%	4.5%	100.0%
その他	1.8%	32.7%	9.4%	12.3%	18.1%	25.7%	100.0%

資料2-1 部位別・治療方法別患者割合(%)

—2005年診断

部位	ICD-10	手術		放射線治療		化学療法
		鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県
全部位	C00-C96 D05-D06	63.2	59.1	10.4	9.8	26.4
胃	C16	82.7	71.2	0.9	0.6	16.4
結腸	C18	82.4	78.1	0.6	0.6	17.1
直腸	C19-C21	73.2	81.1	2.0	2.1	24.8
肝臓	C22	54.9	19.2	5.9	2.1	39.2
肺	C33-C34	36.7	33.6	20.5	21.9	42.8
乳房	C50 D05	55.3	87.2	20.2	18.8	24.5
子宮	C53-C55 D06	74.0	68.2	11.5	18.2	14.5

\*全国値は2000年

資料2-2 治療状況の年次推移

手術

—2005年診断

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
89-90	68.1%	80.6%	89.8%	86.9%	25.2%	28.7%	94.3%	70.1%
91-92	69.7%	82.8%	88.8%	90.5%	27.8%	35.3%	94.5%	47.3%
93-94	71.5%	79.3%	92.8%	87.6%	28.7%	46.8%	92.7%	62.2%
95-96	69.9%	80.9%	89.1%	87.9%	35.5%	30.5%	88.3%	62.3%
97-98	69.1%	80.2%	87.3%	88.0%	39.9%	42.0%	89.8%	63.2%
99-00	68.8%	80.5%	90.4%	91.1%	40.0%	36.4%	92.3%	76.8%
01-02	69.2%	82.7%	90.4%	93.5%	31.8%	45.3%	82.2%	81.1%
03-04	65.0%	81.0%	89.1%	87.5%	27.4%	40.4%	88.8%	79.9%
05	63.2%	82.7%	82.4%	73.2%	54.9%	36.7%	55.3%	74.0%

放射線療法

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
89-90	10.6%	0.3%	1.3%	0.4%	14.7%	33.6%	3.6%	43.5%
91-92	9.4%	0.4%	0.2%	1.1%	20.7%	28.3%	3.9%	25.3%
93-94	7.6%	0.5%	0.4%	1.3%	2.5%	27.1%	10.9%	31.1%
95-96	8.1%	0.5%	0.0%	2.9%	1.9%	29.9%	17.5%	22.6%
97-98	8.4%	0.8%	0.2%	1.6%	2.5%	22.1%	20.4%	23.2%
99-00	10.2%	0.6%	0.6%	2.3%	4.8%	29.3%	18.0%	23.2%
01-02	9.8%	0.2%	0.3%	1.4%	5.4%	21.0%	22.9%	18.8%
03-04	11.4%	1.1%	1.2%	4.5%	4.4%	25.1%	21.6%	16.5%
05	10.4%	0.9%	0.6%	2.0%	5.9%	20.5%	20.2%	11.5%

化学療法

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
89-90	35.2%	27.8%	32.9%	34.1%	48.1%	45.3%	60.9%	25.2%
91-92	27.9%	22.5%	28.8%	31.0%	44.0%	27.4%	53.9%	4.4%
93-94	22.8%	15.4%	20.8%	22.2%	30.3%	32.9%	36.5%	8.9%
95-96	20.0%	14.3%	16.7%	24.3%	23.4%	28.7%	43.3%	3.8%
97-98	20.0%	15.5%	17.5%	22.8%	18.5%	28.5%	33.3%	9.5%
99-00	20.9%	17.9%	20.0%	26.1%	18.8%	23.9%	34.7%	19.9%
01-02	22.5%	16.4%	13.7%	24.9%	14.0%	36.1%	32.0%	25.4%
03-04	24.4%	17.5%	15.0%	19.6%	20.3%	39.0%	34.7%	21.9%
05	26.4%	16.4%	17.1%	24.8%	39.2%	42.8%	24.5%	14.5%

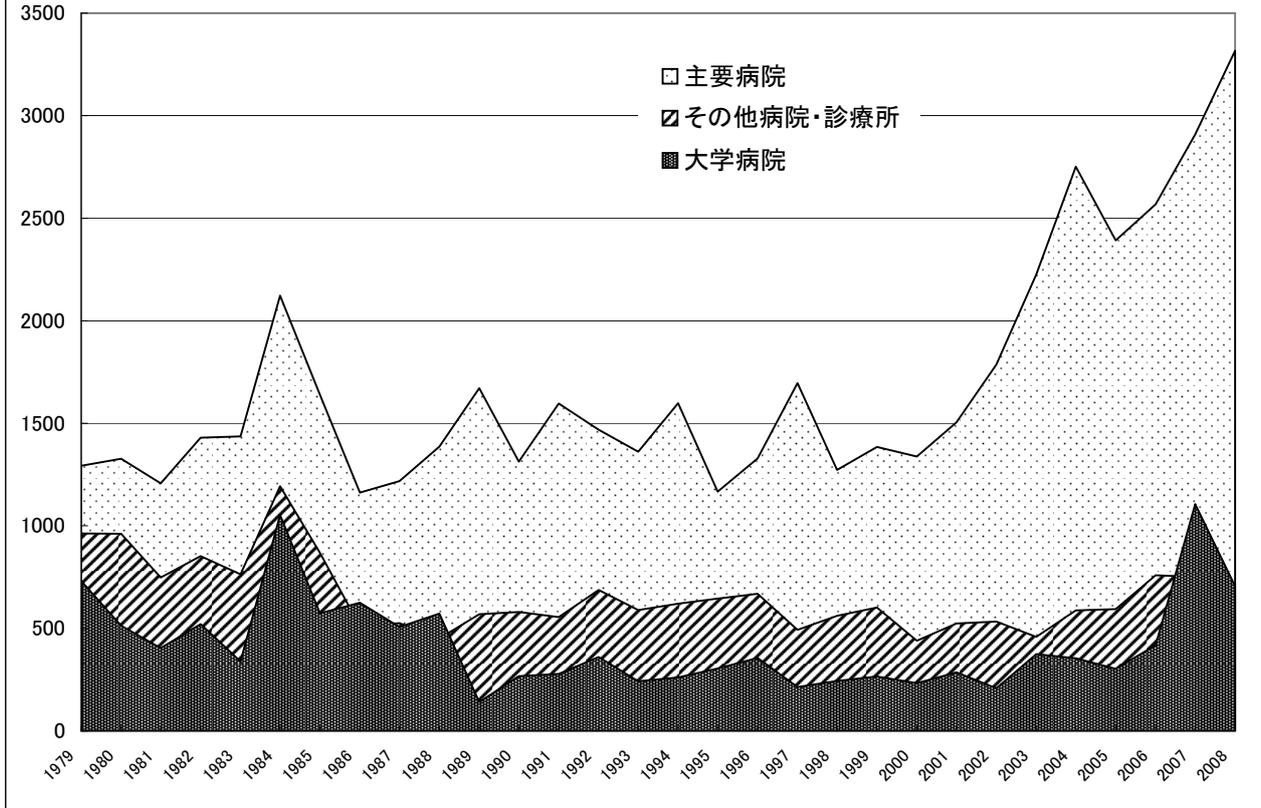
資料3-1 主要病院別届出件数の年次推移

	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988
鳥取県立中央病院	308	408	390	561	473	666	561	464	378	436
鳥取市立病院	114	108	95	70	78	129	114	64	68	120
鳥取赤十字病院	208	186	122	225	255	392	245	171	218	212
岩美病院	11	7	0	9	8	22	15	0	3	20
智頭病院	25	21	15	11	70	69	28	17	20	48
鳥取県立厚生病院	173	185	216	151	212	314	288	279	261	250
米子医療センター	144	134	142	175	114	144	101	36	25	96
山陰労災病院	73	57	62	47	62	119	95	30	15	69
博愛病院	113	103	51	71	25	65	66	2	134	36
済生会境港総合病院	54	66	52	40	60	89	48	51	48	58
西伯病院	5	21	19	17	26	32	31	21	21	24
日南病院	30	15	31	35	36	50	39	19	21	11
日野病院	35	16	13	18	17	31	7	8	6	7
主要病院	1,293	1,327	1,208	1,430	1,436	2,122	1,638	1,162	1,218	1,387
大学病院	732	514	405	522	339	1,054	575	626	507	572
その他病院・診療所	964	962	749	853	764	1,193	868	510	526	452
全県届出数	2,989	2,803	2,362	2,805	2,539	4,369	3,081	2,298	2,251	2,411

	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998
鳥取県立中央病院	447	394	516	380	224	381	255	287	368	278
鳥取市立病院	292	118	149	159	265	211	116	283	274	160
鳥取赤十字病院	254	83	209	182	170	226	170	45	116	132
岩美病院	37	38	21	32	22	13	22	7	7	36
智頭病院	36	24	16	0	10	6	0	0	0	2
鳥取県立厚生病院	258	260	221	221	196	326	248	195	292	267
米子医療センター	30	1	0	92	25	0	8	36	140	30
山陰労災病院	232	230	321	303	249	291	266	298	237	170
博愛病院	2	63	46	23	87	30	0	20	127	95
済生会境港総合病院	48	56	30	33	48	44	37	28	1	1
西伯病院	22	25	21	25	33	52	38	74	80	68
日南病院	13	16	24	15	32	19	7	21	9	12
日野病院	0	5	23	4	0	0	0	35	45	22
主要病院	1,671	1,313	1,597	1,469	1,361	1,599	1,167	1,329	1,696	1,273
大学病院	142	267	279	361	242	261	305	357	215	245
その他病院・診療所	569	581	555	688	590	621	646	669	493	562
全県届出数	2,382	2,161	2,431	2,518	2,193	2,481	2,118	2,355	2,404	2,080

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
鳥取県立中央病院	298	262	370	164	518	512	351	321	792	751
鳥取市立病院	188	171	214	502	700	860	635	578	515	794
鳥取赤十字病院	102	124	206	284	221	267	431	665	410	381
岩美病院	35	17	7	9	3	23	3	0	12	12
智頭病院	0	0	0	8	0	4	4	3	0	0
鳥取県立厚生病院	227	218	213	261	213	202	274	298	134	495
米子医療センター	208	227	217	262	249	545	352	222	578	197
山陰労災病院	144	208	168	218	225	200	236	449	332	523
博愛病院	94	31	67	28	66	108	97	32	118	69
済生会境港総合病院	9	5	0	10	0	5	0	0	17	43
西伯病院	53	54	30	25	21	22	9	0	0	52
日南病院	12	21	13	15	9	3	0	0	0	0
日野病院	15	1	0	0	1	0	0	0	0	0
主要病院	1,385	1,339	1,505	1,786	2,226	2,751	2,392	2,568	2,908	3,317
大学病院	266	233	286	208	375	355	304	419	1,107	706
その他病院・診療所	602	440	525	534	459	589	594	760	751	670
全県届出数	2,253	2,012	2,316	2,528	3,060	3,695	3,290	3,747	4,766	4,693

資料3-2 医療機関別届出件数の年次推移



資料3-3 2008年主要病院・部位別届出集計

	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢	膵臓	肺	乳房	子宮	前立腺	膀胱	腎臓	甲状腺	リンパ腫	多発性骨	白血病	その他	合計
鳥取県立中央病院	26	125	71	35	49	11	30	101	41	31	25	13	17	9	9	7	19	132	751
鳥取市立病院	21	143	111	49	40	22	20	78	82	29	39	23	13	14	15	11	4	80	794
鳥取赤十字病院	8	87	59	16	24	14	19	14	54	0	27	23	14	2	2	0	0	18	381
岩美病院	1	6	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	12
智頭病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県立厚生病院	10	110	50	14	36	18	22	124	55	14	6	4	7	3	7	0	0	15	495
鳥取大学附属病院	31	55	39	16	50	6	15	114	55	39	16	11	22	18	16	11	16	176	706
国立米子病院	2	34	19	12	6	7	14	32	9	0	21	9	5	1	6	3	5	12	197
山陰労災病院	14	131	55	34	36	13	23	42	16	0	53	33	19	0	8	10	0	36	523
博愛病院	0	17	5	10	0	5	4	3	24	0	1	0	0	0	0	0	0	0	69
済生会境港総合病院	0	10	6	5	0	0	3	6	7	0	0	5	0	1	0	0	0	0	43
西伯病院	0	15	10	6	4	2	4	1	4	2	1	0	0	0	0	0	0	3	52
日南病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日野病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東部	60	407	253	109	149	53	83	221	183	70	98	64	47	27	31	20	24	247	2146
中部	18	175	98	33	65	33	44	153	59	16	49	35	11	4	14	1	1	39	848
西部	49	295	149	87	101	35	63	209	123	44	97	62	46	24	32	25	22	236	1699
鳥取県	127	877	500	229	315	121	190	583	365	130	244	161	104	55	77	46	47	522	4693

資料4-1 鳥取県における部位別登録精度(DCN)の年次推移

男性

	1979	1980	1981	1984	1987	1990	1993	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
全部位	36.8	30.6	34.5	35.8	29.4	30.4	30.4	25.0	31.0	35.4	37.2	35.8	32.3	25.7	26.6	24.4	18.8
食道	57.1	29.6	20.0	34.3	14.8	27.8	22.0	18.0	23.7	34.5	35.7	27.3	25.6	18.6	26.1	24.0	15.0
胃	31.6	26.3	33.6	35.2	17.7	18.5	17.8	14.1	17.7	20.1	23.8	25.8	18.0	14.8	15.1	15.0	12.7
結腸	23.3	11.4	27.6	16.7	23.4	22.0	14.0	12.9	15.2	19.6	21.1	19.2	18.2	15.2	19.9	14.9	11.0
直腸	28.6	29.4	26.2	32.7	24.7	14.9	8.9	23.1	16.5	23.2	21.2	18.5	25.0	8.1	15.4	9.1	11.8
肝臓	55.6	59.0	56.0	24.6	45.9	42.6	50.3	28.6	48.2	42.4	50.6	50.3	56.7	37.4	39.2	44.9	26.3
胆嚢	71.4	62.5	45.5	47.0	35.5	45.7	35.4	42.6	43.9	55.8	60.0	38.5	52.8	52.4	46.8	40.7	36.2
膵臓	65.5	63.3	57.6	58.8	50.0	36.1	52.4	29.6	50.0	62.8	62.2	70.0	54.9	45.2	42.2	51.3	25.0
肺	43.2	32.5	33.3	41.3	39.2	40.9	48.1	48.2	47.6	55.0	51.5	53.4	44.9	36.7	35.6	29.9	28.2
前立腺	38.1	14.3	26.3	45.5	30.0	45.3	44.0	15.1	37.4	26.8	19.1	20.2	25.0	13.3	19.6	14.3	12.3
膀胱	22.7	12.5	24.1	28.1	26.5	24.4	29.3	13.0	7.1	23.3	17.7	14.5	27.7	17.3	15.4	9.5	5.4
腎臓	45.5	30.8	14.3	54.5	36.8	61.9	35.3	20.0	20.7	40.7	24.1	31.3	33.3	31.9	34.9	31.0	22.2
甲状腺	20.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	14.3	14.3	25.0	16.7	0.0	50.0	28.6	0.0	0.0	0.0
リンパ組織	44.4	36.7	48.0	28.6	45.2	53.7	55.3	61.2	63.4	52.9	72.7	69.2	58.5	44.0	50.9	50.0	31.9
造血器組織	41.2	35.7	50.0	0.0	37.5	76.2	47.6	53.8	63.2	81.0	76.9	47.1	63.3	69.2	57.5	51.4	50.0

女性

	1979	1980	1981	1984	1987	1990	1993	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
全部位	35.3	29.5	31.1	34.4	26.0	24.8	26.8	24.5	33.0	38.1	34.9	37.1	33.7	26.6	30.7	23.4	19.4
食道	33.3	0.0	42.9	62.5	33.3	25.0	0.0	40.0	14.3	27.3	66.7	30.8	25.0	33.3	33.3	26.7	20.0
胃	37.3	33.5	34.2	35.6	22.9	18.2	17.6	18.0	22.9	24.9	27.8	31.1	25.9	22.4	23.8	20.4	13.1
結腸	24.2	27.5	25.6	39.6	14.7	23.2	18.6	12.0	21.7	23.3	20.3	29.7	22.2	20.2	28.7	17.7	12.9
直腸	31.6	42.3	46.2	20.7	33.3	10.2	12.5	11.5	22.8	17.0	23.4	26.1	24.2	12.8	24.1	17.9	9.1
肝臓	61.8	59.4	54.5	45.5	48.0	37.3	39.0	34.2	54.3	61.1	63.4	55.7	59.7	42.1	42.2	35.4	37.5
胆嚢	65.2	59.1	65.4	41.9	37.8	39.6	50.9	60.0	54.8	53.9	48.3	60.3	63.8	70.8	51.9	39.1	44.1
膵臓	57.6	77.8	57.7	60.0	44.7	40.0	57.5	40.5	50.0	62.9	51.7	53.8	57.9	50.0	55.2	51.5	34.8
肺	51.1	34.5	31.9	49.2	33.8	42.1	44.4	37.0	45.8	52.4	48.4	46.4	53.4	32.1	36.8	37.3	21.3
乳房	18.2	3.8	8.5	16.1	6.7	9.7	4.6	9.3	10.7	13.1	9.9	16.2	9.5	10.3	9.3	5.9	7.1
子宮	32.9	10.6	13.6	16.9	26.0	15.6	26.9	25.4	29.9	37.9	17.4	17.9	13.3	9.5	12.0	8.8	5.6
卵巣	47.1	22.7	41.2	34.6	22.7	25.0	57.9	50.0	51.6	57.1	46.9	40.5	31.9	17.8	32.6	14.0	17.3
膀胱	14.3	20.0	50.0	29.4	45.5	28.6	60.0	23.1	47.4	47.1	23.8	31.3	23.1	23.1	27.6	25.6	27.3
腎臓	25.0	0.0	0.0	16.7	38.5	53.3	38.5	36.4	40.9	50.0	58.3	40.9	27.3	38.1	37.5	31.0	25.7
甲状腺	0.0	7.1	0.0	15.4	5.3	10.5	4.9	3.0	14.3	14.3	15.6	20.0	21.4	3.4	19.2	0.0	25.0
リンパ組織	25.0	34.8	34.8	33.3	43.5	52.0	53.6	42.9	43.2	63.9	72.6	48.7	69.4	44.0	50.7	50.0	35.1
造血器組織	47.1	69.2	63.2	0.0	22.7	40.0	33.3	70.0	82.6	91.3	50.0	88.9	86.7	54.5	70.0	47.1	44.0

資料４－２ 鳥取県における組織診実施割合（HV/I％）の年次推移

男性

	1979	1980	1981	1984	1987	1990	1993	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
全部位	33.4	32.4	35.0	34.5	51.1	45.5	53.9	48.3	47.3	46.9	46.2	51.3	54.8	57.7	60.8	61.1	66.1
食道	14.3	40.7	50.0	48.6	63.0	50.0	58.5	68.9	62.7	60.3	50.0	63.6	68.6	67.8	65.2	66.7	76.3
胃	41.8	38.1	47.1	44.6	72.4	67.2	76.0	67.5	63.4	66.6	61.9	68.4	68.1	73.8	78.0	74.8	82.1
結腸	43.3	28.6	34.5	34.5	53.1	54.0	77.7	68.2	57.6	62.5	61.1	73.1	71.9	70.7	69.1	74.4	77.5
直腸	28.6	41.2	35.7	28.1	61.6	52.7	77.0	58.7	65.1	57.9	64.4	71.7	68.8	80.2	79.5	76.4	80.6
肝臓	4.4	2.4	3.3	11.3	10.4	5.8	9.3	13.6	9.3	11.4	14.6	16.3	9.1	10.6	13.1	15.2	20.1
胆嚢	21.4	12.5	9.1	5.9	45.2	11.4	16.7	14.9	19.5	14.0	8.3	38.5	22.2	16.7	14.9	25.4	39.7
膵臓	17.2	10.0	12.1	13.6	10.9	11.5	19.1	13.0	25.0	15.7	10.8	8.3	15.5	12.3	16.7	15.0	28.9
肺	16.8	17.5	26.5	31.6	46.8	38.3	38.8	32.8	39.3	36.2	41.9	39.6	48.8	52.8	55.1	56.7	56.9
前立腺	23.8	33.3	5.3	13.6	47.5	39.6	34.7	58.1	48.2	52.4	63.2	68.6	69.8	81.7	76.6	77.0	80.3
膀胱	54.5	41.7	24.1	25.0	44.1	53.7	61.0	22.2	55.4	41.9	55.7	56.5	52.3	72.0	80.8	82.1	84.9
腎臓	45.5	15.4	28.6	0.0	26.3	23.8	38.2	23.3	37.9	29.6	41.4	31.3	42.4	51.1	53.5	50.9	61.1
甲状腺	40.0	57.1	80.0	33.3	75.0	100.0	87.5	71.4	85.7	62.5	83.3	100.0	50.0	42.9	100.0	100.0	90.0
リンパ組織	44.4	43.3	32.0	61.9	32.3	26.8	40.4	32.0	36.6	41.2	22.7	26.9	36.6	56.0	45.3	36.0	52.2
造血器組織	23.5	21.4	25.0	7.7	33.3	9.5	19.1	30.8	26.3	14.3	15.4	29.4	36.7	23.1	37.5	37.1	41.7

女性

	1979	1980	1981	1984	1987	1990	1993	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
全部位	38.6	39.8	38.0	38.4	54.4	50.7	58.2	49.2	47.9	45.6	51.3	50.6	54.5	58.2	57.0	62.8	64.8
食道	0.0	0.0	28.6	37.5	33.3	37.5	66.7	60.0	71.4	63.6	22.2	46.2	75.0	50.0	46.7	60.0	73.3
胃	37.3	41.1	35.8	44.1	67.9	67.4	77.5	68.6	55.7	62.7	57.0	60.9	62.5	67.8	69.2	71.6	80.6
結腸	36.4	20.0	41.0	28.3	66.7	35.8	68.2	61.3	54.0	54.1	63.5	57.3	65.3	67.4	60.1	70.7	75.3
直腸	34.2	26.9	46.2	55.2	46.7	67.8	75.0	67.9	59.7	64.4	57.8	62.3	69.4	66.7	64.6	73.7	78.4
肝臓	0.0	0.0	6.1	9.1	12.0	9.8	17.0	9.2	11.4	10.0	9.9	13.9	10.4	3.9	12.2	18.3	14.8
胆嚢	17.4	9.1	7.7	29.0	32.4	29.2	24.6	20.0	11.9	11.5	26.7	19.1	12.1	6.3	19.2	28.1	25.0
膵臓	12.1	7.4	11.5	6.7	10.5	8.6	14.9	19.0	10.0	6.5	17.2	20.0	7.0	14.3	11.9	10.6	17.4
肺	17.0	20.0	12.8	30.5	45.1	38.2	33.3	43.2	40.0	34.0	35.9	46.4	38.2	51.9	49.3	46.0	63.1
乳房	69.7	70.5	69.5	58.6	74.4	69.3	82.3	56.8	74.6	73.1	82.6	76.2	83.7	83.3	87.4	89.4	84.8
子宮	40.5	63.5	51.9	44.9	68.5	74.0	65.7	34.9	63.6	59.1	81.7	80.2	81.9	81.9	84.9	88.8	88.1
卵巣	41.2	45.5	17.6	23.1	68.2	42.9	31.6	29.2	38.7	35.7	46.9	40.5	59.6	68.9	60.5	74.0	69.2
膀胱	42.9	30.0	50.0	17.6	27.3	50.0	20.0	30.8	36.8	29.4	57.1	43.8	69.2	69.2	58.6	62.8	60.6
腎臓	25.0	100.0	55.6	16.7	23.1	26.7	38.5	9.1	40.9	6.3	25.0	27.3	50.0	38.1	45.8	48.3	42.9
甲状腺	81.4	78.6	75.0	65.4	81.6	68.4	87.8	63.6	85.7	85.7	78.1	80.0	71.4	89.7	73.1	87.5	70.0
リンパ組織	66.7	26.1	52.2	44.4	43.5	16.0	39.3	41.1	38.6	33.3	25.8	51.3	28.6	56.0	44.8	36.0	45.9
造血器組織	35.3	0.0	15.8	57.1	27.3	20.0	50.0	20.0	13.0	4.4	42.9	5.6	13.3	36.4	30.0	41.2	44.0

資料5-1 鳥取県がん罹患集計結果一覧表(平成17年 男性)

部 位	ICD-10	年 齢 10 歳 階 級											粗罹患率	調整罹患率	H/I (%)	DCN/I(%)
		合計	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	80+	不詳				
全部位*1	C00-C96 D05-D06 (140-208 2330-2331)	2281	6	1	7	18	66	319	569	813	477	5	786.4	464.2	66.1	18.8
全部位*2	C00-C96 (140-208)	2281	6	1	7	18	66	319	569	813	477	5	786.4	464.2	66.1	18.8
口唇、口腔および咽頭	C00-C14 (140-149)	48	0	0	1	0	0	16	11	16	4	0	16.5	10.3	68.8	20.8
口唇、口腔	C00-C08 (140-145)	20	0	0	0	0	0	7	4	8	1	0	6.9	4.1	75.0	20.0
咽頭	C09-C14 (146-149)	28	0	0	1	0	0	9	7	8	3	0	9.7	6.2	64.3	21.4
食道	C15 (150)	80	0	0	0	0	0	15	32	23	9	1	27.6	16.8	76.3	15.0
胃	C16 (151)	503	0	0	1	3	24	82	126	177	87	3	173.4	105.2	82.1	12.7
小腸	C17 (152)	7	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	2.4	1.3	71.4	28.6
結腸	C18 (153)	209	0	0	0	0	4	25	58	74	48	0	72.1	41.5	77.5	11.0
直腸および肛門	C19-C21 (154)	144	0	0	0	0	7	27	34	57	19	0	49.6	30.2	80.6	11.8
肝および肝内胆管	C22 (155)	194	0	0	1	2	4	33	66	63	25	0	66.9	41.6	20.1	26.3
胆嚢および肝外胆管	C23-C24 (156)	58	0	0	0	0	0	5	12	22	19	0	20.0	10.7	39.7	36.2
膵臓	C25 (157)	76	0	0	0	1	1	17	21	22	14	0	26.2	16.1	28.9	25.0
その他の消化器	C26 (159)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.3	0.2	0.0	100.0
鼻腔、中耳および副鼻腔	C30-C31 (160)	5	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	1.7	1.0	40.0	60.0
喉頭	C32 (161)	23	0	0	0	0	1	5	8	7	2	0	7.9	5.0	95.7	0.0
気管、気管支および肺	C33-C34 (162)	369	0	0	0	1	5	34	83	139	107	0	127.2	69.3	56.9	28.2
胸腺、心および縦隔	C37-C38 (164)	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1.0	0.5	33.3	33.3
その他の呼吸系および胸腔内臓器	C39 (165)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨および関節軟骨	C40-C41 (170)	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.3	0.3	0.0	100.0
皮膚の悪性黒色腫	C43 (172)	4	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	1.4	0.9	50.0	25.0
皮膚のその他の悪性新生物	C44 (173)	11	0	0	0	0	1	2	3	1	4	0	3.8	2.4	81.8	0.0
胸膜	C45 (163)	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0.7	0.5	100.0	0.0
カポジ肉腫	C46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
後腹膜および腹膜	C48 (158)	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.3	0.5	0.0	0.0
結合組織およびその他の軟部組織	C47 C49 (171)	5	0	1	0	1	1	0	0	2	0	0	1.7	1.6	80.0	0.0
乳房(上皮内がんを含む)	C50 D05 (174-175 2330)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.3	0.2	100.0	0.0
子宮(上皮内がんを含む)	C53-C55 D06 (179-180 182 2331)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子宮	C53-C55 (179-180 182)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子宮頸	C53 (180)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子宮体	C54 (182)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子宮、部位不明	C55 (179)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卵巣	C56 (1830)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他及び部位不明の女性生殖器	C51-C52 C57 (183-184 1830は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
胎盤	C58 (181)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前立腺	C61 (185)	244	0	0	0	0	0	17	52	105	69	1	84.1	44.1	80.3	12.3
睾丸	C62 (186)	10	0	0	2	1	3	3	1	0	0	0	3.4	3.5	90.0	0.0
陰茎およびその他の男性生殖器	C60 C63 (187)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.3	0.2	100.0	0.0
腎など	C64-C66 C68 (189)	54	1	0	0	0	2	11	11	19	10	0	18.6	11.3	61.1	22.2
腎臓、腎盂を除く	C64 (1890)	27	1	0	0	0	2	6	9	8	1	0	9.3	6.4	55.6	25.9
膀胱	C67 (188)	93	0	0	0	0	5	10	18	35	25	0	32.1	18.4	84.9	5.4
眼	C69 (190)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳など	C70-C72 (191-192)	14	0	0	1	0	1	1	1	5	5	0	4.8	2.9	28.6	57.1
脳	C71 (191)	12	0	0	1	0	1	1	0	5	4	0	4.1	2.5	33.3	58.3
髄膜およびその他の中枢神経系	C70 C72 (192)	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0.7	0.4	0.0	50.0
甲状腺	C73 (193)	10	0	0	0	0	0	4	2	2	2	0	3.4	2.1	90.0	0.0
その他の内分泌腺	C74-C75 (194)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.5	0.0	0.0
その他および不明確な部位	C76 (195)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
続発部位および原発部位不詳	C77-C80 (196-199)	14	0	0	0	0	1	0	5	5	3	0	4.8	2.8	14.3	64.3
リンパ組織	C81-C90 C96 (200-203)	69	1	0	1	5	5	7	13	20	17	0	23.8	15.8	52.2	31.9
ホジキンリンパ腫	C81 (201)	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0.7	0.9	100.0	0.0
非ホジキンリンパ腫	C82-C85 (200)	52	1	0	0	4	4	7	9	17	10	0	17.9	12.1	55.8	28.8
その他のリンパ組織	C96 (202)	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.3	0.2	100.0	0.0
多発性骨髄腫	C88-C90 (203)	14	0	0	0	0	1	0	3	3	7	0	4.8	2.6	28.6	50.0
白血病	C91-C95 (204-208)	24	3	0	0	3	0	0	3	10	5	0	8.3	6.0	41.7	50.0
リンパ性白血病	C91 (204)	10	3	0	0	0	0	0	2	3	2	0	3.4	2.8	40.0	50.0
骨髄性白血病	C92 (205)	10	0	0	0	3	0	0	1	5	1	0	3.4	2.6	30.0	60.0
単球性白血病	C93 (206)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.3	0.2	100.0	0.0
その他の明示された白血病	C94 (207)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
細胞形態不明の白血病	C95 (208)	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1.0	0.5	66.7	33.3

\*1: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含む

\*2: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含まない

I: 罹患数 H: 組織診実施数 DCN: 死亡情報で初めて把握されたもの

資料5-2 鳥取県がん罹患集計結果一覧表(平成17年 女性)

部 位	ICD-10	年 齢 10 歳 階 級										粗罹患率	調整罹患率	H/I (%)	DCN/I(%)	
		合計	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	80+					不詳
全部位*1	C00-C96 D05-D06 (140-208 2330-2331)	1595	2	6	9	27	105	216	333	414	473	10	502.8	267.6	64.8	19.4
全部位*2	C00-C96 (140-208)	1579	2	6	7	21	100	215	332	414	472	10	497.8	261.6	64.5	19.6
口唇、口腔および咽頭	C00-C14 (140-149)	16	0	0	0	0	0	0	3	7	6	0	5.0	1.8	62.5	31.3
口唇、口腔	C00-C08 (140-145)	15	0	0	0	0	0	0	3	6	6	0	4.7	1.7	60.0	33.3
咽頭	C09-C14 (146-149)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.3	0.1	100.0	0.0
食道	C15 (150)	15	0	0	0	0	2	5	1	3	4	0	4.7	2.9	73.3	20.0
胃	C16 (151)	252	0	0	0	3	15	32	50	79	70	3	79.4	40.3	80.6	13.1
小腸	C17 (152)	9	0	0	0	0	0	0	1	5	3	0	2.8	1.0	66.7	0.0
結腸	C18 (153)	178	0	1	0	0	3	21	49	44	60	0	56.1	26.5	75.3	12.9
直腸および肛門	C19-C21 (154)	88	0	0	0	2	4	14	21	16	29	2	27.7	14.6	78.4	9.1
肝および肝内胆管	C22 (155)	88	1	0	0	0	1	7	21	29	29	0	27.7	12.3	14.8	37.5
胆嚢および肝外胆管	C23-C24 (156)	68	0	0	0	0	0	4	7	16	41	0	21.4	6.9	25.0	44.1
膵臓	C25 (157)	69	0	0	0	0	0	5	11	20	33	0	21.8	7.8	17.4	34.8
その他の消化器	C26 (159)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
鼻腔、中耳および副鼻腔	C30-C31 (160)	4	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1.3	0.7	50.0	25.0
喉頭	C32 (161)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0.6	0.1	100.0	0.0
気管、気管支および肺	C33-C34 (162)	141	0	0	0	2	4	11	34	44	46	0	44.4	20.8	63.1	21.3
胸腺、心および縦隔	C37-C38 (164)	5	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	1.6	0.8	20.0	40.0
その他の呼吸系および胸腔内臓器	C39 (165)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨および関節軟骨	C40-C41 (170)	4	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	1.3	0.7	25.0	50.0
皮膚の悪性黒色腫	C43 (172)	3	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0.9	0.6	100.0	0.0
皮膚のその他の悪性新生物	C44 (173)	20	0	1	0	0	0	1	1	5	12	0	6.3	2.2	90.0	10.0
胸膜	C45 (163)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.3	0.1	0.0	100.0
カボジ肉腫	C46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
後腹膜および腹膜	C48 (158)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.3	0.0	0.0	0.0
結合組織およびその他の軟部組織	C47 C49 (171)	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0.6	0.3	100.0	0.0
乳房(上皮内がんを含む)	C50 D05 (174-175 2330)	210	0	0	0	5	42	45	51	47	20	0	66.2	48.8	84.8	7.1
子宮(上皮内がんを含む)	C53-C55 D06 (179-180 182 2331)	126	0	1	5	11	18	24	26	24	15	2	39.7	30.5	88.1	5.6
子宮	C53-C55 (179-180 182)	110	0	1	3	5	13	23	25	24	14	2	34.7	24.5	87.3	6.4
子宮頸	C53 (180)	53	0	1	2	4	6	12	12	11	5	0	16.7	13.0	92.5	5.7
子宮体	C54 (182)	52	0	0	1	1	7	11	12	12	6	2	16.4	10.9	88.5	1.9
子宮、部位不明	C55 (179)	5	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	1.6	0.6	20.0	60.0
卵巣	C56 (1830)	52	0	1	0	0	4	13	16	11	6	1	16.4	10.6	69.2	17.3
その他及び部位不明の女性生殖器	C51-C52 C57 (183-184 1830は除く)	5	0	0	0	0	1	1	0	1	2	0	1.6	0.9	80.0	0.0
胎盤	C58 (181)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
前立腺	C61 (185)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
睾丸	C62 (186)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陰茎およびその他の男性生殖器	C60 C63 (187)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腎など	C64-C66 C68 (189)	35	0	0	0	0	1	5	4	13	12	0	11.0	5.0	42.9	25.7
腎臓、腎盂を除く	C64 (1890)	11	0	0	0	0	1	3	0	3	4	0	3.5	1.8	45.5	27.3
膀胱	C67 (188)	33	0	0	0	0	1	2	3	9	18	0	10.4	3.7	60.6	27.3
眼	C69 (190)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳など	C70-C72 (191-192)	28	0	0	0	1	1	4	6	7	9	0	8.8	4.4	42.9	28.6
脳	C71 (191)	19	0	0	0	1	0	1	4	6	7	0	6.0	2.6	36.8	36.8
髄膜およびその他の中枢神経系	C70 C72 (192)	9	0	0	0	0	1	3	2	1	2	0	2.8	1.8	55.6	11.1
甲状腺	C73 (193)	20	0	0	0	0	4	2	3	4	6	1	6.3	3.5	70.0	25.0
その他の内分泌腺	C74-C75 (194)	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.6	1.0	0.0	0.0
その他および不明確な部位	C76 (195)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.3	0.1	0.0	100.0
続発部位および原発部位不詳	C77-C80 (196-199)	17	0	0	0	0	0	1	1	2	13	0	5.4	1.4	23.5	70.6
リンパ組織	C81-C90 C96 (200-203)	74	0	1	2	0	3	11	13	16	27	1	23.3	11.4	45.9	35.1
ホジキンリンパ腫	C81 (201)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.5	100.0	0.0
非ホジキンリンパ腫	C82-C85 (200)	47	0	1	1	0	2	7	7	13	15	1	14.8	7.3	53.2	29.8
その他のリンパ組織	C96 (202)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.3	0.1	100.0	0.0
多発性骨髄腫	C88-C90 (203)	25	0	0	0	0	1	4	6	2	12	0	7.9	3.6	28.0	48.0
白血病	C91-C95 (204-208)	25	0	1	1	2	1	5	7	4	4	0	7.9	5.7	44.0	44.0
リンパ性白血病	C91 (204)	6	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	1.9	1.1	0.0	66.7
骨髄性白血病	C92 (205)	15	0	1	1	2	1	3	4	2	1	0	4.7	4.2	60.0	33.3
単球性白血病	C93 (206)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.3	0.0	100.0	0.0
その他の明示された白血病	C94 (207)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
細胞形態不明の白血病	C95 (208)	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0.9	0.4	33.3	66.7

\*1: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含む      \*2: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含まない  
I: 罹患数      H: 組織診実施数      DCN: 死亡情報で初めて把握されたもの

資料5-3 鳥取県がん罹患集計結果一覧表(平成17年 総数)

部 位	ICD-10	年 齢 10 歳 階 級											粗罹患率	調整罹患率	H/I (%)	DCN/I (%)
		合計	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	80+	不詳				
全部位*1	C00-C96 D05-D06 (140-208 2330-2331)	3876	8	7	16	45	171	535	902	1227	950	15	638.3	349.7	65.5	19.0
全部位*2	C00-C96 (140-208)	3860	8	7	14	39	166	534	901	1227	949	15	635.6	346.7	65.4	19.1
口唇、口腔および咽頭	C00-C14 (140-149)	64	0	0	1	0	0	16	14	23	10	0	10.5	5.8	67.2	23.4
口唇、口腔	C00-C08 (140-145)	35	0	0	0	0	0	7	7	14	7	0	5.8	2.9	68.6	25.7
咽頭	C09-C14 (146-149)	29	0	0	1	0	0	9	7	9	3	0	4.8	2.9	65.5	20.7
食道	C15 (150)	95	0	0	0	0	2	20	33	26	13	1	15.6	9.1	75.8	15.8
胃	C16 (151)	755	0	0	1	6	39	114	176	256	157	6	124.3	69.0	81.6	12.8
小腸	C17 (152)	16	0	0	0	0	0	1	3	8	4	0	2.6	1.2	68.8	12.5
結腸	C18 (153)	387	0	1	0	0	7	46	107	118	108	0	63.7	32.9	76.5	11.9
直腸および肛門	C19-C21 (154)	232	0	0	0	2	11	41	55	73	48	2	38.2	21.5	79.7	10.8
肝および肝内胆管	C22 (155)	282	1	0	1	2	5	40	87	92	54	0	46.4	25.8	18.4	29.8
胆嚢および肝外胆管	C23-C24 (156)	126	0	0	0	0	0	9	19	38	60	0	20.7	8.6	31.7	40.5
膵臓	C25 (157)	145	0	0	0	1	1	22	32	42	47	0	23.9	11.8	23.4	29.7
その他の消化器	C26 (159)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.2	0.1	0.0	100.0
鼻腔、中耳および副鼻腔	C30-C31 (160)	9	0	0	0	0	0	2	2	3	2	0	1.5	0.8	44.4	44.4
喉頭	C32 (161)	25	0	0	0	0	1	5	8	7	4	0	4.1	2.4	96.0	0.0
気管、気管支および肺	C33-C34 (162)	510	0	0	0	3	9	45	117	183	153	0	84.0	40.8	58.6	26.3
胸腺、心および縦隔	C37-C38 (164)	8	0	0	0	0	0	2	1	4	1	0	1.3	0.6	25.0	37.5
その他の呼吸系および胸腔内臓器	C39 (165)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨および関節軟骨	C40-C41 (170)	5	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0.8	0.5	20.0	60.0
皮膚の悪性黒色腫	C43 (172)	7	0	0	0	1	0	2	2	1	1	0	1.2	0.8	71.4	14.3
皮膚のその他の悪性新生物	C44 (173)	31	0	1	0	0	1	3	4	6	16	0	5.1	2.3	87.1	6.5
胸膜	C45 (163)	3	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0.5	0.3	66.7	33.3
カボジ肉腫	C46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
後腹膜および腹膜	C48 (158)	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0.3	0.3	0.0	0.0
結合組織およびその他の軟部組織	C47 C49 (171)	7	0	1	0	1	1	0	1	3	0	0	1.2	1.0	85.7	0.0
乳房(上皮内がんを含む)	C50 D05 (174-175 2330)	211	0	0	0	5	42	45	51	48	20	0	34.7	25.5	84.8	7.1
子宮(上皮内がんを含む)	C53-C55 D06 (179-180 182 2331)	126	0	1	5	11	18	24	26	24	15	2	20.7	15.8	88.1	5.6
子宮	C53-C55 (179-180 182)	110	0	1	3	5	13	23	25	24	14	2	18.1	12.8	87.3	6.4
子宮頸	C53 (180)	53	0	1	2	4	6	12	12	11	5	0	8.7	6.7	92.5	5.7
子宮体	C54 (182)	52	0	0	1	1	7	11	12	12	6	2	8.6	5.7	88.5	1.9
子宮、部位不明	C55 (179)	5	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0.8	0.3	20.0	60.0
卵巣	C56 (1830)	52	0	1	0	0	4	13	16	11	6	1	8.6	5.6	69.2	17.3
その他及び部位不明の女性生殖器	C51-C52 C57 (183-184 1830は除く)	5	0	0	0	0	1	1	0	1	2	0	0.8	0.5	80.0	0.0
胎盤	C58 (181)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
前立腺	C61 (185)	244	0	0	0	0	0	17	52	105	69	1	40.2	18.4	80.3	12.3
睪丸	C62 (186)	10	0	0	2	1	3	3	1	0	0	0	1.6	1.8	90.0	0.0
陰茎およびその他の男性生殖器	C60 C63 (187)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.2	0.1	100.0	0.0
腎など	C64-C66 C68 (189)	89	1	0	0	0	3	16	15	32	22	0	14.7	7.8	53.9	23.6
腎臓、腎盂を除く	C64 (1890)	38	1	0	0	0	3	9	9	11	5	0	6.3	4.0	52.6	26.3
膀胱	C67 (188)	126	0	0	0	0	6	12	21	44	43	0	20.7	10.1	78.6	11.1
眼	C69 (190)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳など	C70-C72 (191-192)	42	0	0	1	1	2	5	7	12	14	0	6.9	3.6	38.1	38.1
脳	C71 (191)	31	0	0	1	1	1	2	4	11	11	0	5.1	2.5	35.5	45.2
髄膜およびその他の中枢神経系	C70 C72 (192)	11	0	0	0	0	1	3	3	1	3	0	1.8	1.1	45.5	18.2
甲状腺	C73 (193)	30	0	0	0	0	4	6	5	6	8	1	4.9	2.9	76.7	16.7
その他の内分泌腺	C74-C75 (194)	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.5	0.7	0.0	0.0
その他および不明確な部位	C76 (195)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.2	0.1	0.0	100.0
続発部位および原発部位不詳	C77-C80 (196-199)	31	0	0	0	0	1	1	6	7	16	0	5.1	2.1	19.4	67.7
リンパ組織	C81-C90 C96 (200-203)	143	1	1	3	5	8	18	26	36	44	1	23.5	13.3	49.0	33.6
ホジキンリンパ腫	C81 (201)	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0.5	0.7	100.0	0.0
非ホジキンリンパ腫	C82-C85 (200)	99	1	1	1	4	6	14	16	30	25	1	16.3	9.4	54.5	29.3
その他のリンパ組織	C96 (202)	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0.3	0.2	100.0	0.0
多発性骨髄腫	C88-C90 (203)	39	0	0	0	0	2	4	9	5	19	0	6.4	3.0	28.2	48.7
白血病	C91-C95 (204-208)	49	3	1	1	5	1	5	10	14	9	0	8.1	5.7	42.9	46.9
リンパ性白血病	C91 (204)	16	3	0	0	0	0	2	4	4	3	0	2.6	1.9	25.0	56.3
骨髄性白血病	C92 (205)	25	0	1	1	5	1	3	5	7	2	0	4.1	3.3	48.0	44.0
単球性白血病	C93 (206)	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0.3	0.1	100.0	0.0
その他の明示された白血病	C94 (207)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
細胞形態不明の白血病	C95 (208)	6	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	1.0	0.4	50.0	50.0

\*1: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含む

\*2: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含まない

I: 罹患数 H: 組織診実施数 DCN: 死亡情報で初めて把握されたもの

資料6 平成17年・市郡別罹患数

市町村	全部位		食道		胃		結腸		直腸		肝臓		胆嚢胆管	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
県計	2,281	1,595	80	15	503	252	209	178	144	88	194	88	58	68
市計	1,524	1,118	50	12	353	175	145	120	103	61	130	67	38	44
郡計	757	477	30	3	150	77	64	58	41	27	64	21	20	24
鳥取市	723	550	28	4	172	82	57	57	53	27	54	34	16	18
倉吉市	201	140	7	1	43	27	22	16	8	5	21	7	5	5
米子市	473	357	9	6	111	55	54	42	34	24	39	21	15	16
境港市	127	71	6	1	27	11	12	5	8	5	16	5	2	5
岩美郡	72	37	1	1	18	5	4	4	5	1	6	3	3	3
気高郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八頭郡	161	105	5	0	31	17	19	13	10	5	20	6	5	6
東伯郡	278	166	14	0	50	19	17	21	19	7	22	7	8	8
西伯郡	189	130	8	1	42	28	15	12	5	12	13	3	4	6
日野郡	57	39	2	1	9	8	9	8	2	2	3	2	0	1
鳥取保健所	795	587	29	5	190	87	61	61	58	28	60	37	19	21
郡家支所	161	105	5	0	31	17	19	13	10	5	20	6	5	6
倉吉保健所	479	306	21	1	93	46	39	37	27	12	43	14	13	13
米子保健所	789	558	23	8	180	94	81	59	47	41	68	29	21	27
日野保健所	57	39	2	1	9	8	9	8	2	2	3	2	0	1
東部	956	692	34	5	221	104	80	74	68	33	80	43	24	27
中部	479	306	21	1	93	46	39	37	27	12	43	14	13	13
西部	846	597	25	9	189	102	90	67	49	43	71	31	21	28

市町村	膵臓		肺		乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱		リンパ腫	
	男	女	男	女	女	女	女	男	男	女	男	女
県計	76	69	369	141	210	126	52	244	93	33	55	49
市計	51	44	245	100	152	87	42	150	46	22	43	29
郡計	25	25	124	41	58	39	10	94	47	11	12	20
鳥取市	33	20	113	55	76	49	17	61	26	10	23	14
倉吉市	3	8	35	13	23	6	4	29	4	2	2	4
米子市	12	13	74	28	47	23	16	50	14	8	14	10
境港市	3	3	23	4	6	9	5	10	2	2	4	1
岩美郡	4	2	13	2	3	4	0	5	3	1	1	2
気高郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八頭郡	5	5	20	7	11	8	3	10	12	2	3	4
東伯郡	10	8	39	20	28	14	4	53	18	3	5	7
西伯郡	4	8	37	9	13	11	2	24	12	5	1	7
日野郡	2	2	15	3	3	2	1	2	2	0	2	0
鳥取保健所	37	22	126	57	79	53	17	66	29	11	24	16
郡家支所	5	5	20	7	11	8	3	10	12	2	3	4
倉吉保健所	13	16	74	33	51	20	8	82	22	5	7	11
米子保健所	19	24	134	41	66	43	23	84	28	15	19	18
日野保健所	2	2	15	3	3	2	1	2	2	0	2	0
東部	42	27	146	64	90	61	20	76	41	13	27	20
中部	13	16	74	33	51	20	8	82	22	5	7	11
西部	21	26	149	44	69	45	24	86	30	15	21	18

資料7 平成17年・市郡別年齢調整罹患率  
(昭和60年モデル人口、人口10万対)

市町村	全部位		食道		胃		結腸		直腸		肝臓		胆嚢胆管	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
県計	464.2	267.6	16.8	2.9	105.2	40.3	41.5	26.5	30.2	14.6	41.6	12.3	10.7	6.9
市計	452.2	273.6	15.6	3.3	106.5	40.4	42.3	26.1	31.4	14.1	40.5	14.2	10.6	7.3
郡計	501.1	257.0	19.5	1.6	105.6	41.3	40.4	28.0	28.3	17.0	45.2	8.0	11.3	6.1
鳥取市	484.7	308.4	20.1	2.4	116.4	42.9	37.6	26.8	35.1	12.3	38.3	16.4	10.1	7.6
倉吉市	451.6	256.4	14.4	0.8	100.5	48.6	53.8	27.2	14.9	8.4	51.0	8.0	11.2	7.8
米子市	415.8	249.1	7.8	5.7	99.7	34.9	45.4	28.2	32.5	17.2	36.6	13.7	12.1	6.3
境港市	441.4	214.1	23.5	2.4	92.9	34.3	39.4	13.9	34.0	19.9	54.2	14.3	6.7	8.4
岩美郡	614.6	220.6	10.7	5.3	166.0	48.7	45.0	17.4	38.3	0.0	52.0	6.2	27.9	8.7
気高郡	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
八頭郡	549.5	281.4	17.1	0.0	120.1	54.5	58.5	30.3	33.1	19.4	57.8	13.1	14.6	7.3
東伯郡	524.0	257.0	26.5	0.0	96.9	26.3	32.2	34.1	36.4	10.5	48.4	9.1	13.5	7.5
西伯郡	461.8	275.0	16.3	3.6	108.0	51.5	30.8	20.3	13.0	26.2	37.0	3.1	6.1	4.3
日野郡	357.4	175.4	14.8	2.1	62.0	31.0	60.8	27.5	34.6	31.1	22.4	8.3	0.0	2.1
鳥取保健所	493.9	302.8	19.4	2.7	119.7	43.0	37.8	26.3	35.5	11.4	39.3	15.7	11.4	7.7
郡家支所	549.5	281.4	17.1	0.0	120.1	54.5	58.5	30.3	33.1	19.4	57.8	13.1	14.6	7.3
倉吉保健所	491.1	256.0	21.0	0.4	98.2	36.6	42.0	30.7	26.7	9.6	49.6	8.5	12.5	7.7
米子保健所	426.5	245.6	12.2	4.7	99.9	38.0	41.1	24.1	28.3	18.9	39.1	11.4	9.9	6.2
日野保健所	357.4	175.4	14.8	2.1	62.0	31.0	60.8	27.5	34.6	31.1	22.4	8.3	0.0	2.1
東部	501.1	299.6	19.2	2.3	118.4	44.4	41.0	26.8	34.9	12.1	42.9	15.3	11.9	7.7
中部	491.1	256.0	21.0	0.4	98.2	36.6	42.0	30.7	26.7	9.6	49.6	8.5	12.5	7.7
西部	419.5	241.6	12.4	4.7	96.6	37.8	42.0	24.6	27.9	19.2	37.8	11.3	8.9	5.8

市町村	膀胱		肺		乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱		リンパ腫	
	男	女	男	女	女	女	女	男	男	女	男	女
県計	16.1	7.8	69.3	20.8	48.8	30.5	10.6	44.1	18.4	3.7	13.2	7.8
市計	16.1	7.5	67.6	21.0	50.9	29.8	12.8	40.2	13.9	3.7	14.5	6.2
郡計	16.0	8.2	73.9	20.5	43.6	31.8	5.0	53.0	27.9	3.6	10.7	13.1
鳥取市	22.7	6.3	69.0	26.5	56.1	40.3	14.5	38.1	18.4	3.9	17.1	7.2
倉吉市	6.8	11.3	71.3	22.8	67.6	14.9	9.3	58.4	6.3	1.9	3.3	4.7
米子市	12.4	7.9	61.8	16.8	43.6	22.2	11.4	38.7	12.1	3.7	14.9	6.1
境港市	11.7	6.3	79.6	7.1	30.7	28.0	12.3	32.0	6.9	3.9	14.3	5.1
岩美郡	33.9	12.3	94.5	20.7	24.7	36.0	0.0	33.9	19.0	1.7	15.1	14.7
気高郡	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
八頭郡	20.0	5.6	60.8	18.1	43.6	36.6	4.8	31.5	40.3	2.2	15.8	8.2
東伯郡	17.4	8.0	65.3	27.4	63.2	21.4	5.8	89.8	31.6	1.4	10.1	14.1
西伯郡	9.5	11.1	84.7	14.9	32.4	44.3	6.0	45.7	23.9	9.5	7.3	18.9
日野郡	8.4	3.7	81.4	13.6	13.9	23.2	3.4	6.5	6.5	0.0	6.5	0.0
鳥取保健所	23.4	6.7	71.0	26.1	54.0	40.2	13.6	37.6	18.6	3.8	17.0	7.6
郡家支所	20.0	5.6	60.8	18.1	43.6	36.6	4.8	31.5	40.3	2.2	15.8	8.2
倉吉保健所	12.7	9.5	67.9	25.2	65.3	18.4	7.4	75.5	20.3	1.6	7.0	9.5
米子保健所	11.7	8.5	69.2	14.6	39.1	26.6	10.3	39.2	14.2	5.0	12.8	8.2
日野保健所	8.4	3.7	81.4	13.6	13.9	23.2	3.4	6.5	6.5	0.0	6.5	0.0
東部	22.5	6.6	69.6	24.9	52.5	40.0	12.6	36.5	22.0	3.5	16.4	7.6
中部	12.7	9.5	67.9	25.2	65.3	18.4	7.4	75.5	20.3	1.6	7.0	9.5
西部	11.7	8.2	70.0	14.6	37.6	26.6	9.9	36.3	13.8	4.6	12.7	7.6

資料8-1 平成17年・標準化罹患比（全国＝100）

市町村	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県計	110.3	101.1	123.3	111.2	107.2	96.8	121.2	118.9	123.2	103.3	114.3	99.3	89.5	103.4
市計	109.2	104.2	128.0	115.2	110.2	97.6	127.0	122.7	121.7	118.4	113.6	105.5	92.3	99.2
郡計	112.6	94.4	113.5	103.0	101.0	95.4	108.8	111.1	126.4	73.3	115.6	86.8	83.1	113.9
鳥取市	116.5	116.9	140.8	124.3	97.3	105.7	146.7	121.0	113.8	137.1	117.6	132.4	103.5	128.1
米子市	101.5	98.1	119.4	105.4	123.2	101.9	125.1	145.6	109.3	111.2	103.8	88.3	83.6	71.0
倉吉市	107.4	95.4	117.0	129.2	124.3	93.2	74.8	74.7	147.6	87.9	118.6	97.9	109.5	56.5
境港市	104.3	77.1	112.4	84.5	104.2	46.7	112.3	117.3	169.8	101.1	122.4	48.5	42.5	124.2
岩美郡	143.0	92.5	174.9	88.0	85.6	85.5	177.9	0.0	159.6	135.7	164.3	55.1	54.6	149.1
気高郡	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
八頭郡	123.4	107.9	121.2	119.1	154.3	110.5	136.3	110.3	202.2	107.5	95.9	76.6	81.1	121.3
東伯郡	119.7	95.7	109.9	75.4	77.4	101.3	144.8	87.2	125.4	72.4	105.5	124.6	113.3	113.6
西伯郡	101.8	91.7	115.9	130.9	85.8	70.6	47.8	183.3	92.8	37.8	125.9	68.3	66.6	114.6
日野郡	77.6	73.8	63.1	99.8	130.0	120.3	50.6	80.1	55.0	62.0	123.6	57.7	45.9	65.8
鳥取保健所	118.4	115.0	143.3	121.4	96.5	104.1	148.9	111.7	117.1	137.0	121.1	126.2	100.1	129.5
郡家支所	123.4	107.9	121.2	119.1	154.3	110.5	136.3	110.3	202.2	107.5	95.9	76.6	81.1	121.3
倉吉保健所	114.2	95.6	113.1	99.8	98.3	97.7	113.4	81.5	135.3	79.4	111.3	112.5	111.6	87.2
米子保健所	102.0	93.3	117.5	108.4	111.2	85.6	105.0	150.2	115.0	91.3	112.2	77.2	73.4	88.3
日野保健所	77.6	73.8	63.1	99.8	130.0	120.3	50.6	80.1	55.0	62.0	123.6	57.7	45.9	65.8
東部	119.2	113.9	139.7	121.1	105.9	105.2	146.9	111.4	130.9	131.9	116.9	117.9	97.3	128.3
中部	114.2	95.6	113.1	99.8	98.3	97.7	113.4	81.5	135.3	79.4	111.3	112.5	111.6	87.2
西部	99.9	91.7	112.8	107.6	112.9	88.7	100.6	144.3	110.0	88.6	113.2	75.4	71.6	86.9

資料8-2 平成17年・標準化死亡比（全国＝100）

	総数		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県計	103.8	100.0	92.7	106.1	101.2	95.4	111.0	98.6	107.8	114.9	112.2	88.1	72.7	121.0
鳥取市	106.4	99.3	83.0	129.4	66.9	119.7	105.3	84.1	125.5	123.2	115.0	101.2	59.4	69.0
米子市	99.2	98.4	85.4	104.8	122.8	61.9	141.3	110.2	102.8	98.8	111.3	96.4	108.1	120.2
倉吉市	112.6	97.2	122.5	91.8	124.4	78.5	99.8	75.3	151.0	66.2	138.1	75.1	60.1	188.2
境港市	120.0	119.0	91.7	101.4	123.8	108.7	115.8	244.2	129.5	215.9	124.3	35.4	60.9	295.2
岩美郡	105.4	89.3	98.1	37.6	-	192.7	190.8	139.9	35.6	178.9	155.0	39.2	76.4	141.8
八頭郡	102.7	134.0	119.9	89.8	155.8	95.8	36.0	166.1	134.7	329.8	97.9	78.0	92.2	56.7
東伯郡	101.3	112.3	103.1	92.6	74.5	86.2	100.5	62.3	83.8	81.6	113.7	115.0	50.8	189.0
西伯郡	96.1	66.1	90.9	101.9	125.3	65.2	126.4	75.9	57.3	16.5	78.5	85.7	42.1	77.7
日野郡	90.2	88.5	63.8	104.4	153.3	166.0	64.4	-	48.0	40.6	88.9	27.1	120.8	106.3
鳥取保健所	105.7	104.4	90.1	116.5	77.4	120.5	99.3	101.3	121.4	162.6	114.6	93.0	65.4	71.6
倉吉保健所	106.3	105.5	111.7	92.2	96.6	82.7	100.1	68.2	113.8	74.6	124.5	96.9	55.0	188.4
米子保健所	101.7	93.5	87.7	103.5	123.5	69.9	133.6	122.2	96.1	96.1	105.2	84.2	85.7	137.2
日野保健所	90.2	88.5	63.8	104.4	153.3	166.0	64.4	-	48.0	40.6	88.9	27.1	120.8	106.3

資料9-1 主要部位・性別罹患数の年次推移（鳥取県・全国）

主要部位・性別罹患数の年次推移（鳥取県全体）

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
全部位	男	1,399	1,469	1,519	1,652	1,696	1,565	1,435	1,507	1,664	1,604	1,774	1,767	1,787	1,890	1,997	2,180	2,281
	女	1,075	1,079	1,168	1,164	1,130	1,055	1,058	1,091	1,212	1,168	1,271	1,272	1,312	1,396	1,441	1,576	1,595
胃	男	480	461	436	477	506	457	408	403	402	413	407	399	411	439	437	471	503
	女	271	223	286	312	264	219	269	245	262	209	223	235	232	245	240	225	252
結腸	男	100	105	127	134	168	160	144	170	224	184	175	156	203	198	191	262	209
	女	98	95	107	123	136	147	125	150	161	146	148	138	167	178	188	181	178
直腸	男	81	80	95	105	114	102	101	104	103	95	104	92	80	111	117	110	144
	女	54	62	58	79	68	70	60	78	57	59	64	69	62	78	79	95	88
肝臓	男	163	166	174	175	175	157	118	147	162	158	178	203	164	179	153	178	194
	女	59	58	68	72	62	61	60	76	70	90	71	79	77	76	90	82	88
肺	男	178	202	228	270	231	209	210	194	267	271	260	268	303	305	323	344	369
	女	75	86	90	83	77	76	79	81	120	103	128	110	131	131	136	150	141
乳房	女	105	114	159	124	135	146	128	118	122	130	121	130	147	156	151	236	210
子宮	女	79	97	67	59	64	54	61	63	77	66	108	106	105	116	125	125	126

主要部位・性別罹患数の年次推移（全国）

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
全部位	男	215,643	229,506	239,643	252,153	257,046	261,402	264,131	275,859	278,353	290,343	304,527	310,130	325,213	339,650	372,374	372,913
	女	165,825	177,383	184,782	193,870	195,563	197,767	194,579	200,501	206,434	213,421	224,996	228,215	243,568	249,643	269,220	275,578
胃	男	64,657	64,763	66,893	67,614	66,901	67,609	66,440	68,931	66,928	67,861	69,627	68,992	72,267	71,634	73,798	73,950
	女	35,064	34,493	34,757	35,608	35,380	34,916	34,402	34,625	33,384	33,518	34,058	33,793	35,459	35,126	36,525	35,822
結腸	男	17,963	20,628	23,004	26,016	27,365	28,548	30,201	32,019	30,590	33,008	35,092	33,915	36,582	37,045	35,262	35,657
	女	16,056	17,083	18,852	20,801	21,563	21,993	22,266	23,830	24,039	24,726	27,105	26,232	29,213	29,382	29,859	29,070
直腸	男	12,837	13,920	14,287	15,659	15,967	16,453	17,466	18,806	18,655	20,144	20,461	20,516	21,557	24,925	21,892	20,954
	女	8,548	9,101	9,757	10,126	10,155	9,874	10,381	10,971	11,341	11,693	11,834	11,474	12,785	13,843	11,902	11,585
肝臓	男	21,553	23,497	24,659	25,877	25,983	25,487	25,000	24,795	25,198	25,931	26,174	27,411	27,727	27,876	29,126	28,172
	女	7,539	8,830	8,928	9,420	9,817	9,701	10,288	10,191	10,598	11,307	11,794	12,642	12,745	12,728	13,535	13,343
肺	男	30,867	33,217	34,864	36,816	37,849	38,545	38,052	40,976	41,953	43,895	45,091	48,184	49,427	51,988	55,928	55,984
	女	11,538	11,913	13,080	14,090	14,068	14,863	14,689	15,954	16,464	17,723	18,226	19,706	21,192	21,647	22,817	24,122
乳房	女	24,117	24,697	26,866	28,186	30,107	30,326	29,818	29,699	32,347	33,676	36,139	37,389	40,675	41,960	45,716	50,549
子宮	女	16,465	17,872	17,871	18,408	18,277	18,289	17,735	17,596	18,190	17,686	18,364	19,812	22,947	23,306	24,240	24,422

資料9-2 主要部位・性別死亡数の年次推移（鳥取県・全国）

主要部位・性別死亡数の年次推移（鳥取県全体）

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
全部位	男	733	836	791	889	907	886	985	960	949	964	1,006	1,021	1,035	1,043	1,080	1,099	1,058	1,084	1,124	1,144
	女	545	521	555	548	540	600	661	634	663	668	657	720	697	708	765	736	744	747	840	833
胃	男	184	194	176	177	210	197	184	193	200	171	176	192	174	200	194	190	157	182	177	172
	女	128	105	108	121	121	103	146	126	124	106	116	132	113	122	105	104	110	93	132	108
結腸	男	39	51		53	52	50	73	57	72	75	68	60	73	63	74	91	71	66	77	76
	女	45	42		47	49	63	57	58	62	57	50	77	77	81	85	77	77	77	90	86
直腸	男	27	36	29	41	36	32	41	50	33	52	45	47	42	29	39	30	49	50	45	38
	女	27	20	26	26	28	19	31	34	25	22	35	29	30	27	39	38	28	30	32	48
肝臓	男	111	120	135	119	136	127	135	108	137	113	140	141	150	132	124	149	126	115	143	136
	女	34	43	44	49	43	57	56	57	66	72	57	54	58	66	63	87	74	68	79	56
肺	男	142	155	170	194	187	174	220	205	188	216	212	233	219	239	230	237	266	265	262	254
	女	58	66	73	62	60	68	78	80	77	77	95	80	97	78	94	97	87	92	103	128
前立腺	男	20	29		32	33	26	29		41	36	36	42	55	44	60	47	49	51	62	54
乳房	女	29	20	35	35	23	26	49	39	34	42	36	35	32	37	47	39	40	57	46	42
子宮	女	32	27	35	30	24	33	32	55	28	34	28	32	33	29	31	33	35	27	34	23

主要部位・性別死亡数の年次推移（全国）

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
全部位	男	127,211	130,395	134,475	139,674	142,222	146,896	159,623	164,824	167,076	172,306	175,817	179,140	181,393	184,033	186,912	193,096	196,603	198,052	202,743	206,354
	女	85,414	87,018	89,252	92,243	93,485	96,774	103,399	106,359	108,337	111,615	114,739	116,344	119,265	120,535	122,631	127,262	129,338	131,262	133,725	136,609
胃	男	30,271	29,909	30,296	30,507	29,998	30,564	32,015	32,384	32,218	32,858	32,788	32,798	32,267	31,788	32,142	32,851	32,643	32,745	33,143	32,973
	女	17,954	17,562	17,600	17,534	17,313	17,227	18,061	17,781	17,521	17,822	17,888	17,852	17,691	17,425	17,393	17,711	17,668	17,670	17,454	17,187
結腸	男	7,274	7,791	8,236	8,804	9,197	9,646	10,420	11,055	11,162	11,581	11,862	12,139	12,422	12,556	12,868	13,305	13,436	13,680	14,061	14,482
	女	7,371	7,718	8,031	8,578	8,901	9,417	9,866	10,327	10,568	11,162	11,383	11,498	12,014	12,417	12,982	13,167	13,685	13,637	13,872	14,322
直腸	男	5,352	5,569	5,693	6,157	6,122	6,189	6,892	7,048	7,193	7,468	7,556	7,729	7,843	8,143	8,263	8,661	8,847	8,867	8,949	9,110
	女	3,666	3,701	3,823	3,933	3,841	3,836	4,096	4,200	4,301	4,528	4,562	4,582	4,668	4,794	5,057	5,206	5,129	5,197	5,290	5,440
肝臓	男	17,621	18,393	18,765	19,571	20,060	20,764	22,773	22,904	22,937	23,553	23,492	23,602	23,596	23,815	23,376	23,421	23,203	22,576	22,300	22,332
	女	6,458	6,959	7,003	7,428	7,705	7,913	8,934	9,271	9,422	9,880	10,324	10,379	10,715	10,822	10,713	11,089	11,065	11,086	11,299	11,333
肺	男	25,870	26,872	27,968	29,223	30,398	31,724	33,389	35,023	35,700	36,880	37,934	39,053	39,904	41,146	41,634	43,991	45,189	45,941	47,685	48,610

資料10-1 主要部位別年齢調整罹患率および死亡率の全国比較（男性）

年齢調整罹患率 (人口10万対)		全部位	全国	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
			鳥取	346.2	357.8	360.6	362.5	372.0	367.0	365.8	372.7	375.1
		胃	全国	373.5	368.0	380.3	362.7	410.7	434.1	422.3	410.0	373.4
			鳥取	102.8	105.6	102.3	103.4	102.0	94.5	93.6	93.4	93.6
		結腸	全国	119.9	130.8	121.6	114.0	123.8	124.5	122.6	111.2	99.0
			鳥取	27.0	29.3	32.7	35.1	41.7	42.8	44.6	42.3	43.3
		直腸	全国	28.0	25.8	27.7	31.3	34.9	47.6	45.6	42.6	41.3
			鳥取	19.1	20.6	21.1	21.2	23.9	22.9	23.5	24.5	25.5
		肝臓	全国	20.0	22.8	20.1	25.2	26.1	29.8	27.5	28.7	25.5
			鳥取	33.6	34.5	34.5	35.3	35.6	34.8	33.3	34.4	33.0
		肺	全国	46.2	42.4	41.9	44.5	46.3	41.6	41.7	34.6	36.8
			鳥取	51.4	52.7	52.8	53.4	53.7	53.5	53.5	53.8	55.6
		前立腺	全国	50.8	44.0	52.3	51.4	65.8	54.4	54.0	57.1	44.7
			鳥取	12.4	13.0	13.4	14.7	15.6	16.4	17.5	18.1	19.2
			8.7	14.1	10.9	12.3	18.5	19.9	20.9	19.6		
			1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	
全部位	全国	365.3	373.2	381.7	374.5	380.6	384.9	409.8	400.4			
	鳥取	400.9	383.8	399.7	391.7	388.3	403.9	415.9	445.6	464.2		
胃	全国	87.8	87.1	87.1	83.2	84.5	81.3	81.1	79.6			
	鳥取	97.0	99.3	92.4	91.0	94.1	96.0	91.9	99.1	105.2		
結腸	全国	40.0	42.3	43.8	40.9	42.8	41.9	38.5	38.1			
	鳥取	54.2	42.9	38.8	35.4	44.2	42.8	38.8	53.9	41.5		
直腸	全国	24.3	25.9	25.7	24.9	25.5	28.8	24.8	23.1			
	鳥取	25.0	23.5	24.5	21.3	18.5	24.2	27.2	23.6	30.2		
肝臓	全国	32.4	32.8	32.4	32.8	32.3	31.6	31.9	30.2			
	鳥取	40.8	37.9	42.1	45.0	35.9	40.4	33.7	36.2	41.6		
肺	全国	54.8	55.9	55.7	57.1	56.6	57.4	59.5	58.1			
	鳥取	62.4	63.2	56.0	57.5	62.2	63.8	63.6	66.5	69.3		
前立腺	全国	19.7	20.4	20.7	22.9	26.2	31.4	41.4	39.7			
	鳥取	18.1	17.7	28.0	24.6	22.0	22.7	40.9	36.1	44.1		

年齢調整死亡率 (人口10万対)		全部位	全国	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
			鳥取	215.5	217.8	215.6	215.6	216.8	214.1	214.7	226.1	225.7
		胃	全国	227.4	207.5	230.2	213.6	233.8	237.5	223.7	244.2	228.0
			鳥取	53.1	51.1	49.5	48.7	47.4	45.2	44.7	45.4	44.3
		結腸	全国	57.0	52.1	53.7	48.3	46.6	55.5	49.2	45.9	47.2
			鳥取	12.0	12.5	12.9	13.2	13.7	13.8	14.1	14.8	15.1
		直腸	全国	11.0	10.9	14.1	9.9	13.9	13.8	12.7	18.2	13.2
			鳥取	8.8	9.0	9.0	8.9	9.3	9.0	8.9	9.7	9.6
		肝臓	全国	8.0	7.7	9.9	8.0	11.0	9.1	8.3	10.2	12.1
			鳥取	27.7	28.2	28.4	28.2	28.5	28.4	28.7	31.6	30.8
		肺	全国	28.9	31.9	32.9	34.5	31.9	36.6	32.6	35.4	27.6
			鳥取	43.7	45.0	45.0	45.3	45.8	46.1	46.7	47.5	48.1
		前立腺	全国	41.1	39.7	41.9	45.7	50.2	47.9	43.3	52.8	47.9
			鳥取	5.7	6.1	6.0	6.4	6.5	6.6	7.0	7.7	8.2
								6.1	6.7	6.9		
			1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	
全部位	全国	221.3	221.0	219.0	214.0	209.4	205.1	201.7	202.0	197.7		
	鳥取	225.5	224.0	224.6	220.2	216.2	209.5	216.7	213.1	203.4		
胃	全国	42.6	42.1	40.8	39.1	37.1	35.3	34.5	34.2	32.7		
	鳥取	47.2	39.2	39.5	43.0	36.4	41.2	39.7	37.1	30.4		
結腸	全国	14.7	14.8	14.7	14.4	14.2	13.9	13.8	13.9	13.4		
	鳥取	17.6	16.0	14.4	12.4	16.0	12.2	14.8	16.9	13.9		
直腸	全国	9.5	9.6	9.4	9.3	9.2	9.1	9.0	9.2	9.0		
	鳥取	7.6	12.3	10.4	10.3	9.5	6.3	8.8	6.0	10.1		
肝臓	全国	29.9	29.9	29.0	28.2	27.3	26.7	25.5	24.8	23.7		
	鳥取	34.4	27.3	33.6	30.9	32.2	28.4	25.9	31.4	26.2		
肺	全国	47.3	47.3	47.0	46.3	45.6	45.3	44.2	45.2	44.6		
	鳥取	44.1	49.6	45.1	48.9	45.5	46.6	44.0	43.7	48.0		
前立腺	全国	8.2	8.6	8.5	8.6	8.4	8.5	8.5	8.5	8.5		
	鳥取	8.7	7.6	7.1	8.0	10.3	8.2	8.4	7.7	7.7		

資料 10-2 主要部位別年齢調整罹患率および死亡率の全国比較（女性）

			1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	
		全部位	全国	214.5	218.8	219.8	222.7	230.6	224.6	223.9	225.7	224.5
			1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	
		全部位	全国	224.7	229.6	237.4	233.7	247.4	247.4	260.8	266.2	
年齢調整罹患率 (人口10万対)	胃	全国	45.2	44.6	42.6	42.1	42.5	39.1	38.0	37.9	36.9	
		鳥取	53.1	56.2	44.7	52.8	58.8	50.2	43.0	49.2	44.6	
	結腸	全国	18.5	20.0	20.7	22.3	25.1	24.9	25.1	24.2	25.0	
		鳥取	18.3	15.6	18.3	19.8	22.7	23.7	28.1	24.4	26.7	
	直腸	全国	10.1	11.1	11.4	11.9	12.5	11.5	11.1	11.7	12.0	
		鳥取	9.6	11.1	12.0	11.6	14.5	14.9	13.9	11.5	14.6	
	肝臓	全国	9.4	9.3	9.9	9.8	10.1	10.0	9.6	10.8	10.2	
		鳥取	10.5	10.8	8.9	13.6	13.5	11.8	10.9	9.5	12.3	
	肺	全国	14.1	14.2	13.7	14.5	14.7	14.5	14.9	15.3	16.0	
		鳥取	12.6	12.1	13.0	13.1	13.2	14.4	13.7	12.5	14.3	
	乳房	全国	33.7	35.0	33.6	36.5	38.4	37.9	38.0	39.8	38.9	
		鳥取	35.0	24.5	28.1	41.7	31.2	34.9	37.7	35.5	30.0	
	子宮	全国	23.0	23.9	24.6	23.6	25.3	24.8	23.9	24.8	24.2	
		鳥取	12.6	20.9	23.2	18.1	13.4	17.1	18.5	16.9	14.9	
				1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
				1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
	年齢調整死亡率 (人口10万対)	全部位	全国	110.5	109.4	107.7	107.1	107.0	105.0	105.1	108.3	107.7
			鳥取	111.5	110.7	100.3	109.2	100.7	96.3	104.5	107.8	107.4
胃		全国	23.7	22.9	21.6	20.9	20.1	19.2	18.4	18.5	17.6	
		鳥取	27.8	25.4	20.5	21.1	21.4	20.4	17.8	23.1	20.7	
結腸		全国	9.0	9.3	9.3	9.4	9.7	9.7	9.8	9.9	9.9	
		鳥取	9.2	8.4	8.2	9.0	8.9	8.3	10.8	7.9	9.8	
直腸		全国	4.6	4.6	4.5	4.5	4.4	4.2	4.0	4.3	4.3	
		鳥取	4.4	5.5	3.9	5.3	4.6	4.5	3.0	6.2	5.5	
肝臓		全国	7.6	7.6	7.8	7.6	7.8	7.8	7.8	9.1	9.1	
		鳥取	6.0	6.8	7.6	8.4	9.0	7.8	10.1	9.3	9.0	
肺		全国	11.8	12.0	11.6	11.9	12.3	12.1	12.3	12.5	12.6	
		鳥取	13.1	11.1	11.9	12.7	10.3	10.2	11.3	11.7	13.3	
乳房		全国	8.1	8.2	8.2	8.7	8.7	8.9	9.3	9.9	9.9	
		鳥取	7.4	7.5	4.7	9.0	8.7	5.7	6.2	11.2	8.6	
子宮		全国	6.4	6.1	5.8	5.7	5.6	5.2	5.2	5.4	5.4	
		鳥取	4.8	6.3	5.7	6.6	5.6	4.9	6.1	5.8	5.8	
			1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	
全部位		全国	106.4	105.9	105.2	103.5	102.5	99.7	98.1	99.2	97.3	
	鳥取	107.1	106.7	102.2	104.1	98.9	92.8	102.0	95.6	96.9		
胃	全国	16.8	16.4	15.9	15.3	14.6	13.8	13.2	13.2	12.5		
	鳥取	20.1	16.9	17.8	19.1	16.0	14.5	13.3	12.3	14.8		
結腸	全国	9.8	9.6	9.8	9.5	9.5	9.5	9.5	9.4	9.3		
	鳥取	9.1	8.2	7.5	9.5	10.1	9.9	9.8	9.5	9.2		
直腸	全国	4.2	4.3	4.2	4.1	4.1	3.9	4.0	4.0	3.8		
	鳥取	3.8	3.5	5.5	4.2	4.7	3.9	5.2	5.7	3.7		
肝臓	全国	9.0	9.0	9.1	8.8	8.8	8.5	8.1	8.1	7.7		
	鳥取	10.3	11.1	7.9	7.1	7.4	8.4	8.1	10.5	8.8		
肺	全国	12.5	12.6	12.5	12.3	12.2	11.8	11.1	11.5	11.7		
	鳥取	11.6	11.7	13.2	11.1	12.8	10.4	11.8	11.0	11.0		
乳房	全国	10.4	10.4	10.5	10.7	11.1	10.8	10.9	11.4	11.4		
	鳥取	8.3	10.6	8.6	7.8	7.5	7.2	10.1	7.6	8.2		
子宮	全国	5.3	5.2	5.2	5.3	5.2	5.2	5.1	5.2	5.1		
	鳥取	5.7	5.3	5.6	5.4	5.9	5.3	5.0	6.1	6.2		

資料 1 1 - 1 主要部位・性別罹患数の年次推移（東部・中部・西部）

主要部位・性別罹患数の年次推移（鳥取県東部）

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
全部位	男	660	621	611	672	697	586	522	586	620	602	680	673	725	742	796	893	956
	女	448	423	425	469	434	399	394	442	463	467	466	500	512	535	574	658	692
胃	男	233	193	179	186	192	174	146	153	135	165	157	154	175	184	190	202	221
	女	126	100	104	141	117	81	96	101	110	75	85	103	94	97	98	85	104
結腸	男	45	39	50	55	61	60	50	63	76	56	55	46	74	72	78	121	80
	女	43	30	35	47	41	54	53	45	57	51	51	53	63	63	63	78	74
直腸	男	40	30	35	44	49	37	38	43	39	36	46	29	36	44	43	49	68
	女	23	25	25	34	23	22	26	35	20	27	22	25	26	34	30	48	33
肝臓	男	82	83	82	83	74	40	39	52	59	49	68	84	68	78	65	71	80
	女	28	23	26	38	31	16	22	35	22	45	27	36	40	39	41	41	43
肺	男	79	88	98	113	109	93	88	88	109	100	107	108	132	126	131	139	146
	女	24	28	31	31	23	24	22	35	55	41	36	44	42	44	55	51	64
乳房	女	48	43	57	42	48	56	37	36	47	51	43	60	54	63	75	107	90
子宮	女	34	36	33	23	36	29	30	37	32	30	44	36	33	36	49	49	61

主要部位・性別罹患数の年次推移（鳥取県中部）

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
全部位	男	303	300	311	338	324	370	341	306	378	352	424	365	360	409	459	458	479
	女	241	248	270	231	244	256	283	242	272	277	283	293	272	291	311	344	306
胃	男	111	96	90	105	110	101	103	76	102	109	98	91	90	88	86	100	93
	女	65	56	65	63	52	54	74	49	54	61	51	44	44	49	46	55	46
結腸	男	16	22	18	26	37	36	29	39	43	36	32	36	32	42	39	37	39
	女	21	21	25	22	31	32	33	32	28	30	29	29	32	31	50	40	37
直腸	男	18	23	16	20	27	25	25	18	20	22	23	18	16	11	30	18	27
	女	13	11	10	19	17	16	10	14	14	13	14	17	14	15	19	16	12
肝臓	男	34	21	30	36	32	43	22	35	31	27	46	38	33	39	39	37	43
	女	12	12	17	12	10	18	18	20	19	17	16	19	12	18	14	17	14
肺	男	49	45	58	56	39	50	58	30	67	60	56	56	57	62	68	89	74
	女	14	18	26	16	22	18	33	20	24	28	36	28	25	28	33	39	33
乳房	女	23	28	25	25	30	39	30	34	29	33	34	33	40	31	29	40	51
子宮	女	10	23	12	12	12	12	18	11	26	19	15	25	32	23	30	21	20

主要部位・性別罹患数の年次推移（鳥取県西部）

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
全部位	男	436	548	597	642	675	608	572	613	663	637	669	725	700	739	742	829	846
	女	386	408	473	464	452	400	381	403	476	409	518	477	528	570	556	574	597
胃	男	136	172	167	186	204	182	159	174	165	138	152	153	145	167	161	169	189
	女	80	67	117	108	95	84	99	94	97	71	87	88	94	99	96	85	102
結腸	男	39	44	59	53	70	64	65	68	104	92	87	74	96	84	74	104	90
	女	34	44	47	54	64	61	39	73	76	63	68	56	72	84	54	63	67
直腸	男	23	27	44	41	38	40	38	43	43	37	35	45	28	56	44	43	49
	女	18	26	23	26	28	32	24	29	23	19	27	27	22	29	30	31	43
肝臓	男	47	62	62	56	69	74	57	60	72	80	64	81	63	62	49	70	71
	女	19	23	25	22	21	27	20	20	29	26	28	24	25	19	35	24	31
肺	男	50	69	72	101	83	66	64	75	91	105	97	104	114	117	124	116	149
	女	37	40	33	36	32	34	24	26	41	33	56	38	64	59	48	60	44
乳房	女	34	43	77	57	57	51	61	48	46	45	43	37	53	62	47	89	69
子宮	女	35	38	22	24	16	13	13	15	19	14	49	44	40	57	46	55	45

資料 1 1 - 2 主要部位・性別年齢調整罹患率の年次推移（東部・中部・西部）

主要部位・性別年齢調整罹患率の年次推移（鳥取県東部）

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
全部位	男	489.1	443.2	407.3	463.0	474.8	387.4	338.9	371.5	388.3	367.6	396.5	385.5	409.2	414.4	430.8	473.8	501.1
	女	255.1	234.1	238.0	244.8	233.4	214.8	203.3	224.5	232.5	224.0	218.2	218.5	224.0	241.2	255.0	306.4	299.6
胃	男	172.7	139.8	123.1	126.5	131.1	117.2	96.5	100.0	84.4	103.5	92.6	89.7	102.9	106.4	104.1	110.3	118.4
	女	70.9	51.0	53.8	74.8	57.7	41.9	46.8	49.7	53.5	35.5	37.4	41.5	40.5	41.1	36.4	30.5	44.4
結腸	男	33.1	28.4	32.1	38.0	41.9	39.5	31.9	39.9	47.1	33.2	31.4	26.3	41.6	39.8	40.0	65.5	41.0
	女	21.3	16.9	20.7	24.1	19.7	27.8	24.8	23.2	28.6	24.2	21.2	22.2	23.5	26.5	21.1	29.6	26.8
直腸	男	30.5	20.9	21.5	30.5	33.3	24.8	25.5	27.5	25.0	23.3	28.6	17.3	21.4	25.5	25.5	26.7	34.9
	女	12.0	14.5	13.1	16.6	13.2	10.0	12.3	17.9	8.6	11.2	10.4	11.4	10.6	16.2	13.1	20.0	12.1
肝臓	男	63.5	58.5	58.7	59.0	49.5	26.0	26.0	33.1	37.7	27.8	42.4	46.9	38.5	44.7	36.9	35.5	42.9
	女	15.6	11.1	13.1	18.2	14.6	7.3	9.1	15.0	9.9	19.3	10.5	14.4	15.2	10.9	13.8	15.8	15.3
肺	男	56.3	60.7	64.6	75.8	74.5	60.4	55.5	53.0	67.1	58.7	59.1	61.2	70.2	66.9	66.9	71.5	69.6
	女	12.1	13.3	13.6	13.6	10.8	10.6	9.4	16.5	26.5	16.2	12.6	16.4	14.2	15.0	20.6	17.3	24.9
乳房	女	31.9	28.6	39.2	28.1	34.8	37.1	24.8	24.7	31.4	33.2	27.4	36.8	34.2	40.7	47.4	74.5	52.5
子宮	女	21.4	25.0	21.1	14.6	26.0	20.1	23.5	25.0	21.7	21.1	29.8	19.9	22.0	23.4	35.7	37.2	40.0

主要部位・性別年齢調整罹患率の年次推移（鳥取県中部）

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
全部位	男	403.1	395.2	360.8	410.2	403.2	437.6	400.7	350.3	425.2	394.6	458.7	390.8	384.4	420.6	459.8	465.4	491.1
	女	248.2	249.5	264.5	218.0	244.8	236.8	250.2	215.9	260.2	247.5	240.9	243.4	247.5	251.1	256.0	285.7	256.0
胃	男	150.1	126.3	110.6	129.3	140.0	116.9	126.1	87.7	116.6	126.7	106.3	103.7	104.8	88.9	92.2	109.2	98.2
	女	67.2	50.7	52.8	56.3	49.6	48.4	61.6	40.5	51.7	52.3	43.0	30.9	34.5	34.9	32.0	40.6	36.6
結腸	男	21.9	28.0	21.5	30.5	47.3	44.9	34.8	45.2	47.7	39.0	36.1	38.5	34.6	45.9	36.5	37.4	42.0
	女	18.9	21.7	20.0	23.0	25.7	28.7	26.1	24.3	25.1	24.9	24.0	21.0	25.2	23.9	35.1	28.6	30.7
直腸	男	25.4	29.9	18.4	24.9	34.6	30.9	30.0	20.8	21.6	25.9	26.6	18.9	17.8	11.9	34.5	19.9	26.7
	女	12.4	10.8	12.0	18.2	17.0	13.7	9.0	13.4	13.5	11.4	11.8	14.8	11.1	10.8	15.5	16.1	9.6
肝臓	男	43.7	28.8	37.9	43.7	41.5	52.7	26.1	43.1	40.6	30.4	51.9	42.7	36.9	46.7	41.1	38.3	49.6
	女	14.2	12.0	19.7	9.2	12.3	14.1	14.0	14.9	16.3	12.1	12.8	13.8	9.5	12.6	9.8	9.1	8.5
肺	男	61.8	56.4	66.4	67.3	44.5	59.6	64.5	31.9	74.0	64.6	56.4	55.7	56.8	64.9	66.8	80.0	67.9
	女	15.4	12.6	19.6	11.4	18.5	15.0	25.2	15.3	17.4	18.3	20.7	17.1	17.3	23.4	19.8	25.7	25.2
乳房	女	27.9	35.2	34.4	32.4	41.2	49.0	40.0	44.0	39.2	44.0	38.4	46.4	52.9	48.8	40.1	48.9	65.3
子宮	女	13.9	25.7	15.5	11.0	14.6	12.0	16.8	11.0	30.3	18.6	20.1	29.1	38.3	27.8	43.9	25.4	18.4

主要部位・性別年齢調整罹患率の年次推移（鳥取県西部）

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
全部位	男	312.4	383.0	383.9	431.2	442.5	388.3	357.6	372.2	389.1	370.4	370.1	393.7	369.4	387.2	379.0	409.7	419.5
	女	204.9	212.4	237.1	223.6	224.8	186.6	179.2	187.5	207.7	180.5	234.1	201.7	234.8	243.0	217.1	240.7	241.6
胃	男	99.0	120.8	108.3	124.1	133.3	117.1	99.5	105.7	97.2	78.7	84.0	85.3	80.1	89.3	80.6	83.8	96.6
	女	41.7	33.7	52.9	50.6	46.0	38.2	44.9	42.9	37.0	29.6	35.0	34.7	39.6	36.4	36.0	32.4	37.8
結腸	男	28.3	30.2	37.4	36.0	46.3	41.2	40.0	41.2	62.6	53.4	46.4	42.0	50.5	44.5	38.2	50.6	42.0
	女	18.3	21.8	21.7	25.1	28.4	26.9	18.1	32.9	30.7	27.7	28.4	21.5	30.1	29.3	22.0	21.2	24.6
直腸	男	16.5	18.6	29.3	27.5	24.5	26.0	24.2	26.5	25.6	21.5	19.9	25.8	15.9	29.6	25.3	23.0	27.9
	女	9.8	12.8	11.3	11.1	13.8	16.5	11.3	12.3	11.2	7.3	13.6	11.8	9.4	13.7	13.3	13.2	19.2
肝臓	男	33.5	42.5	41.6	37.8	44.1	48.7	38.6	38.3	43.4	49.0	36.7	44.5	33.2	33.5	27.2	35.8	37.8
	女	9.0	10.5	11.4	10.0	9.9	11.8	8.6	9.0	9.6	9.8	9.1	9.0	8.9	6.7	10.6	8.8	11.3
肺	男	35.6	48.2	44.3	66.1	52.5	40.2	38.3	42.9	50.0	58.8	52.7	54.3	57.8	60.8	59.1	54.7	70.0
	女	16.7	16.9	13.8	14.9	14.8	13.7	8.4	11.8	15.3	14.9	21.8	13.4	24.5	23.2	16.0	17.3	14.6
乳房	女	21.1	27.9	50.8	34.0	35.1	29.1	37.7	27.9	30.4	27.6	25.5	22.8	29.2	32.1	24.1	49.1	37.6
子宮	女	21.9	23.4	10.7	12.6	8.3	7.2	5.1	6.0	12.4	7.4	33.9	26.7	27.6	38.0	30.0	38.3	26.6

## 参考資料1 鳥取県がん登録事業実施要綱

(趣旨)

**第1条** この要綱は、鳥取県がん登録事業（以下「がん登録」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業の目的)

**第2条** がん登録は、本県における悪性新生物患者の疫学及び診療面での実態を把握するため、悪性新生物の登録を行い、もって悪性新生物予防対策推進上の基礎資料とし、県民の保健衛生の向上に寄与することを目的とする。

(事業の実施)

**第3条** がん登録は、県が鳥取県健康対策協議会（以下「健対協」という。）に委託して実施する。

(登録の対象)

**第4条** がん登録は、次に掲げる者（以下「登録対象者」という。）について行う。

(1) 県内居住者で次に掲げる疾患（良性と明記されていない脳腫瘍及び内分泌腫瘍を含む。）と診断又は疑診された者

ア 悪性新生物

イ 上皮内癌

ウ 性質不詳の新生物

(2) 県内居住者で死亡した者のうち、人口動態調査（昭和22年指定統計第5号）死亡小票（以下「死亡小票」という。）のいずれかの欄に悪性新生物又は性質不詳の新生物の記載のある者

(登録事項)

**第5条** がん登録は、登録対象者に係る次に掲げる事項（以下「登録事項」という。）について登録する。

(1) 氏名

(2) 性別

(3) 生年月日

(4) 現住所

(5) 診断名

(6) 病理組織診断名

(7) 病巣の拡がり

(8) 初診年月日

(9) 症状初発年月

(10) 受診の動機

(11) 診断・疑診年月日

(12) 診断根拠

(13) 治療方法

(14) 生存状況

(登録の方法)

**第6条** がん登録は、次により行う。

(1) 届出票による登録

ア 健対協は、医療機関に対し、患者が登録対象者に該当するときは、届出票（様式第1号）の提出を求めることができるものとする。

イ 健対協は、提出された届出票について記入漏れ、重複の有無、疑義又は不明事項の有無等を確認し、必要に応じて届出した医療機関に問い合わせるものとする。この場合、健対協は、当該医療機関に対し、問合せ票（様式第2号）の提出を求めることができるものとする。

ウ 健対協は、登録対象者に係る登録事項を記入するための冊子又は電子媒体（以下「腫瘍登録簿」という。）を作成し、確認済の届出票の内容を腫瘍登録簿に登録するものとする。

(2) 死亡小票による登録

ア 県は、管内保健所から死亡小票の写しの提供を受け、健対協に送付するものとする。

イ 健対協は、腫瘍登録簿と死亡小票を照合して、登録済の登録対象者の死亡が確認された場合は、その旨を腫瘍登録簿に登録するものとする。  
ウ 健対協は、腫瘍登録簿と死亡小票を照合して、死亡小票に未登録の登録対象者が記載されていた場合は、当該登録対象者を腫瘍登録簿に登録するものとする。この場合、死亡診断書を作成した医療機関に対し、当該登録対象者に係る補充票（様式第3号）の提出を求めることができるものとする。

（予後の調査）

**第7条** 健対協は、登録済の登録対象者の生死の状況を確認するため、医療機関に対し必要に応じて追跡票（様式第4号）の提出を求めることができるものとする。

2 前条第1号イ及びウの規定は、前項の規定による予後の調査をする場合について準用する。

（解析及び評価）

**第8条** 健対協は、第6条及び第7条による登録に基づき解析及び評価を行い、罹患率その他の数値を算出するものとする。

（結果の報告）

**第9条** 健対協は、前条による結果並びに第6条及び第7条による登録の状況を毎年1回以上県に報告するものとする。

2 健対協は、前項の報告の提出に当たって、当該報告に係る疾病の予防対策、患者の管理対策等について意見を付することができる。

（結果の公表）

**第10条** 県は、第8条による結果を、毎年、速やかに公表するものとする。

（利用及び提供の制限）

**第11条** がん登録に従事する者は、届出票その他のがん登録に係る情報の取扱いを厳重に行うとともに、第2条に掲げる目的以外の目的のために登録対象者に係る登録事項をがん登録に従事する者において利用し、又はがん登録に従事する者以外の者に提供してはならない。ただし、疫学研究への活用等提供することに公益上の必要その他相当な理由があると県が認めるときは、この限りでない。

（情報の提供）

**第12条** 県は、前条ただし書の規定により登録対象者に係る登録事項を提供しようとするときは、提供を受ける者に対し、鳥取県個人情報保護事務取扱要綱（平成11年9月29日付鳥取県総務部長通知）に定める個人情報提供申請書のほか、次に掲げる書類のいずれかを提出させるものとする。

（1）承認済の倫理審査申請書

（2）承認済の研究計画書その他前号に準ずる書類

（雑則）

**第13条** この要綱に定めるもののほか、がん登録の実施について必要な事項は、福祉保健部長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成17年5月26日から施行し、平成17年度事業から適用する。

2 成人病登録実施要綱は、廃止する。

## 参考資料 2

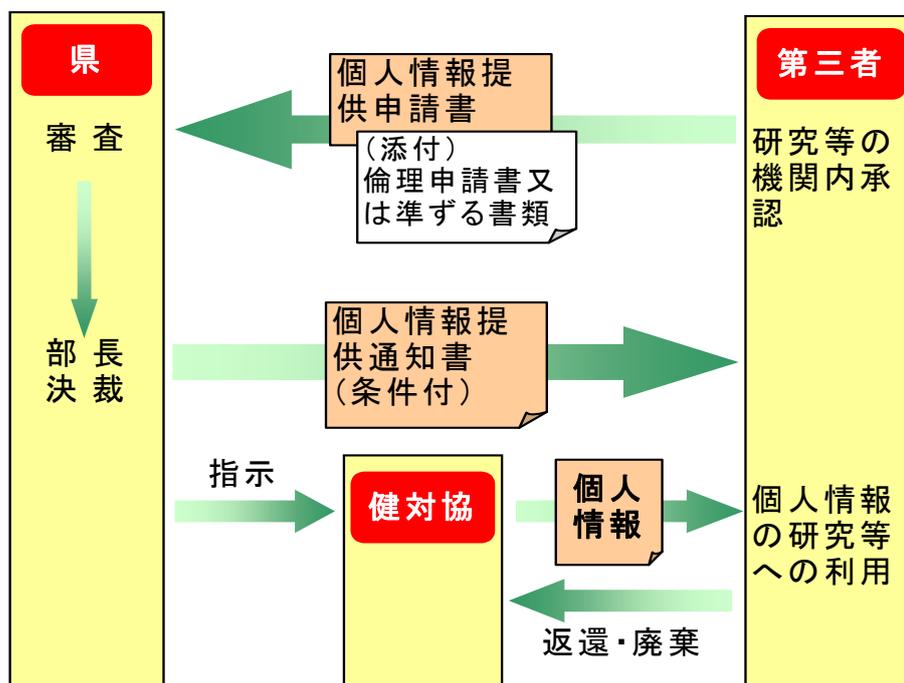
### 登録情報の提供および疫学研究等での利用手続き

鳥取県がん登録事業実施要綱第11条および第12条の趣旨に基づき、所定の手続き、審査を経て、情報の提供を受けることができる。その趣旨と手続き方法を以下に示す。

#### 趣旨

がん登録事業で収集される個人情報について、疫学研究等での利用を目的とする第三者に提供する際には、鳥取県個人情報保護事務取扱要領に基づき、次の手順で行う。

- ① 第三者が「個人情報提供申請書」に、第三者が所属する機関で承認を得た倫理申請書又はこれに準ずる書類を県に提出する。
- ② 県は審査の結果、適当と認めるときは、「個人情報提供通知書」を条件を付した上、交付する。
- ③ 県は委託先の健対協に指示して、第三者の求める個人情報を提供させる。
- ④ 第三者は個人情報を利用した後は、健対協に返還するか廃棄する。



#### ■ 個人情報提供の申請・審査・条件付提供通知・提供の流れ

様式 1 号



# 鳥取県がん登録届出票

(1) 届出機関名 ・所在地  
・名称 \_\_\_\_\_

ふりがな ( ) (2) 患者氏名: (姓 _____) (名 _____)	(3) 性別: 1. 男 2. 女
---	-------------------

(4) 生年月日: 1. 明 2. 大 3. 昭 4. 平 年 月 日

(5) 現住所: 鳥取 県 \_\_\_\_\_ 市 \_\_\_\_\_ 町 \_\_\_\_\_ 番地 \_\_\_\_\_ 号 \_\_\_\_\_ 郡 \_\_\_\_\_ 村 \_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_ 号

(6) 診断名: \_\_\_\_\_ 腫瘍占居部位 \_\_\_\_\_  
1. 初発 (治療開始前) 2. 治療開始後 3. 疑診

(7) 病理組織診断名: ( \_\_\_\_\_ ) ※例: 「扁平上皮癌」「高分化腺癌」など

(8) 病巣の拡がり: 1. 上皮内 2. 当該臓器に限局 3. 所属リンパ節転移 4. 隣接臓器浸潤 5. 遠隔転移 6. 不明

(9) 初診年月日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

(10) 受診の動機: 1. 有訴受診 2. 健康診断 (人間ドック等) 3. 各種がん検診 4. 他疾患治療中 5. その他

(11) 診断・疑診年月日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

(12) 診断根拠: 前医の情報も含めて診断の根拠とした検査を、数字の小さい方を優先して一つだけ記入してください  
1. 原発巣の組織診 2. 転移巣の組織診 3. 細胞診 4. 部位特異的な腫瘍マーカー  
5. 臨床検査 6. 臨床所見のみ

(13) 治療方法: 該当するものの番号には ○、最も中心となっている治療方法に、1つだけ ◎を付けて下さい  
1. 外科的手術 (腹腔鏡手術を含む) }  
2. 体腔鏡的手術 } → a. 治癒切除 b. 非治癒切除 c. その他  
3. 内視鏡手術 (ポリペクトミーを含む)  
4. 放射線療法 5. 化学療法 6. ホルモン療法 7. 免疫療法 8. 対症療法のみ  
9. その他 (TAE, PEIT, ラジオ波, 温熱, レーザー焼灼 MCT/MCNT, 骨髄移植 )

(14) 現在の状態:  
1. 生存中 (最終生存確認年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)  
2. 死亡 (死亡年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日) → 死因 a. がん死 b. 他病死  
3. 不明 死因名 ( \_\_\_\_\_ )

(15) 患者が貴院受診前に他機関を訪れている場合はその診療機関名を記載ください。  
\_\_\_\_\_

(16) 患者を他機関に紹介された場合はその医療機関名を記載してください。  
\_\_\_\_\_

この欄は記入しないでください。

※ 受付年月日: \_\_\_\_\_

※ 受付番号: NO. \_\_\_\_\_

※ 登録番号: NO. \_\_\_\_\_

## 参考資料 4

# 鳥取県がん登録届出票記入要領

(2009年6月改訂版)

- 届出対象住所 : 鳥取県内在住者(他府県住所の患者は、届出があっても登録・集計に含めない)  
同上 疾患 : 全悪性新生物(上皮内がんを含む)または頭蓋内の新生物(良性及び性状不詳の新生物を含む)  
届出票の提出 : 1. 貴院における治療終了時  
入院患者:新発生のがんに対する一連の治療が終了した時、または退院時  
外来患者:(1)外来治療終了時、(2)検査・治療のために他院に紹介した時  
2. 多重がんの診断時(各々の部位について別々に届出票を作成)  
3. 悪性新生物と診断されていた患者が死亡した時

今年から届出項目の(6)診断名および(13)治療方法の選択内容が変更になりましたのでご注意ください。  
なお、再通知の場合は、**最低(1)~(6)**の項目と**追加・訂正・更新のあった項目**のみの記入でも構いません。  
記入に際しましては、できるだけ分かりやすい表記をお願いします。  
また、貴院で既に新発生のがんの届出をした者の再発例の届出は不要です。

### 必須項目(1)~(6)

- (1)届出機関・所在地・名称 : 貴病院・医院・診療所の所在地と名称を記入して下さい。  
レセプトなどに使用されるスタンプでも構いません。  
(2)患者氏名 : 姓と名の間は1文字空けて、氏名には必ず正しいふりがなを付けて下さい。  
(個人情報の取扱いには、細心の注意を払っております)。  
(3)性別 : 該当する番号を○で囲んで下さい。  
(4)生年月日 : 和暦で生年月日を記入。元号は、該当する番号を○で囲み、年月日を記入して下さい。  
この項は、登録照合の第1指標として活用されますので、お書き間違いのないようにお願いいたします。  
(5)現住所 : 県内居住者は市・郡からお書き下さい。市・郡・町・村の文字は該当するものを○で囲んで下さい。  
注) 受診のために仮の住所に滞在されている場合は、本来の住所を記入して下さい。  
(6)診断名 : 診断名中には分類のため腫瘍発生の臓器を記入して下さい。  
なお、明確に悪性を示す言葉のない診断名(例一膀胱腫瘍)の場合、もし悪性であることが判明していれば、悪性の言葉を頭に付けて下さい。悪性の言葉がないと、性状不詳の新生物に分類されます。  
また、上皮内癌の症例には上皮内癌、再発の症例には再発とお書き添え下さい。

◎腫瘍占居部位 : 診断名に示された臓器内の腫瘍の占居部位は可能な限り書いて下さい。

例 : 診断名:胃がん→**腫瘍占居部位:噴門部**、診断名:膀胱がん→**腫瘍占居部位:尿管口**

診断名:肺がん→**腫瘍占居部位:上葉**、診断名:乳がん→**腫瘍占居部位:C(外側上部)**

初発(治療開始前)・治療開始後・疑診 : 貴医療機関における判断により、該当する番号を○で囲んで下さい。

※コード化しますので略語の利用は避けて、できるだけ読みやすい表記をお願いします。

※多重がんの場合は、各々のがんについて別々に届出票を作成して下さい。

◎(7)病理組織診断名 : 病理組織検査による診断名《組織型》を記入して下さい。

例：扁平上皮癌、高分化型腺癌、低分化型管状腺癌、移行上皮癌、硬性腺癌、肝細胞癌  
 ※病理組織所見(肺の腺癌・扁平上皮癌、胃の低分化腺癌、B細胞慢性リンパ性白血病、など)がますます重要になっていますので、病理組織型<分化度、リンパ腫・白血病の免疫学的表現型を含め>を漏れなく記入して下さい。できるだけ読みやすい表記をお願いします。

- (8)病巣の拡がり：悪性新生物と診断された病巣の拡がりについて該当する番号を○で囲んで下さい。  
 1.上皮内 2.当該臓器に限局 3.所属リンパ節転移 4.隣接臓器浸潤 5.遠隔転移 6.不明
- (9)初診年月日：(6)診断名に記載の腫瘍のために、患者が貴医療機関を最初に受診した年月日を記入して下さい。
- (10)受診の動機：腫瘍の発見の経緯を把握するための項目。該当する番号を○で囲んで下さい。  
 1.有訴受診 2.健康診断(人間ドック等) 3.各種がん検診 4.他疾患治療中 5.その他
- (11)診断・疑診年月日：貴医療機関が、患者を(6)診断名に記載の腫瘍と診断または疑診(記入時点でおそらく疑診に留まっている場合)の年月日を記入して下さい。
- (12)診断根拠：前医の情報も含めて診断の根拠とした検査を、数字の小さい方を優先して一つだけ記入して下さい。  
 1. 原発巣の組織診…白血球の骨髄穿刺は、この項に含む。  
 2. 転移巣の組織診。  
 3. 細胞診…喀痰、尿沈渣、腔分泌物などによる剥離細胞診、TV ブラッシ、ファイバースコープなどによる擦過あるいは吸引細胞診、洗滌細胞診を含む。白血病及び悪性リンパ腫の一般血液検査も、この項に含む。  
 4. 部位特異的な腫瘍マーカー…絨毛癌のHCG、前立腺がんのPSA、肝がんのAFP、神経芽細胞腫のHVA・VMA、など。  
 5. 臨床検査…X線、CT、MRI、RI、PET、超音波などの画像診断、内視鏡。組織診、細胞診を伴わない試験開腹・開胸・解剖。CEAなどの非特異的腫瘍マーカー、など。  
 6. 臨床所見のみ…上記1-5を伴わない視触診。
- (13)治療方法：貴医療機関が実施された治療方法の番号を○で囲んで下さい。  
 なお、最も中心となっている治療方法に、1つだけ◎を付けて下さい。
- |                     |     |                      |
|---------------------|-----|----------------------|
| 1.外科的手術(腹腔鏡手術を含む)   | } → | a.治癒切除、b.非治癒切除、c.その他 |
| 2.体腔鏡的手術            |     |                      |
| 3.内視鏡手術(ポリペクトミーを含む) |     |                      |
- ※上記治療結果は、該当する記号を○で囲んで下さい。
- 4.放射線療法 …… 放射線治療。主治療の他、術前術後照射も含む。  
 5.化学療法 …… 抗がん剤投与。術中投与も含む。肝がんのTAIは、ここに含める。  
 6.ホルモン療法 …… ホルモン剤投与。自己のホルモン分泌を制御するための摘除術、あるいは放射線照射  
 7.免疫療法 …… 悪性腫瘍に対する自己免疫を強化する目的で行われるBCGなどの投与。  
 8.対症療法のみ …… 1.~7.、および9.以外の治療方法を行わず、対症療法のための治療。  
 9.その他 …… 1.~8.以外の治療方法による治療。該当する治療法を○で囲んで下さい。  
 その他、それ以外の治療をした場合にはその治療名を記入して下さい。  
 TAE …肝動脈塞栓療法。  
 PEIT …経皮的エタノール注入法。  
 ラジオ波  
 温熱 …病巣に対して行った温熱療法。



## 病理組織略語表

Malignant Tumor 届出票の病理組織を記入時に参照してください。

### 部位共通

病理組織名	略語
腺がん	ad.ca.
管状腺がん	tub
高分化型管状腺がん	tub1
中分化型管状腺がん	tub2
低分化型管状腺がん	tub3
印環細胞がん	sig
粘液がん	muc
乳頭腺がん	pap
扁平上皮がん	sq.C.C.
腺扁平上皮がん	asc
肝細胞がん	HCC
胆管細胞がん	CCC
腎細胞がん	RCC
未分化がん	ud
小細胞がん	SmCC
移行上皮がん	TCC
基底細胞がん	BCC
上皮内がん	CIS

### 部位固有

#### 乳がん

病理組織名	略語
乳頭腺管がん	Pap tub
充実腺管がん	Solid tub
硬がん	Sci

#### 胃がん・大腸がん・前立腺がん

病理組織名	略語
低分化腺がん	por,por1,por2

#### リンパ腫・白血病

病理組織名	略語
悪性リンパ腫	ML
非ホジキンリンパ腫	NHL
急性リンパ芽球性白血病	ALL
急性骨髄性白血病	AML
慢性リンパ球性白血病	CLL
慢性骨髄性白血病	CML
成人 T 細胞白血病	ATL

#### 白血病の FAB 分類

L1 ~3, MO ~7

### 分化度

病理組織名	略語
Well differentiated	W/D ,Well diff
Moderately differentiated	M/D ,Mod diff
Poorly differentiated	P/D ,Poorly diff
Undifferentiated	Undiff

## がん登録対策専門委員会

委員長：岸本拓治（鳥大医学部社会医学講座環境予防医学教授）

平成 22 年 3 月現在

明穂 政裕（県医師会理事）	武田 倬（県立中央病院長）
石飛 誠一（中部医師会）	能勢 隆之（鳥取大学長）
石長 恵（境港市健康長寿課主任）	福島 明（東部医師会）
岩垣 陽子（鳥取県医師会事務局）	藤井 秀樹（県福祉保健部医療政策監兼 次長兼健康政策課長）
大城 陽子（米子保健所長兼日野保健所長）	前田 迪郎（県立厚生病院長）
大津 千晴（石田医院）	南崎 剛（西部医師会）
岡本 幹三（鳥取大学医学部健康政策医学講師）	宮崎 博実（県医師会常任理事）
尾崎 米厚（鳥取大学医学部環境予防医学准教授）	村脇 義和（鳥取大学医学部機能病態内科学教授）
紀川 純三（鳥取大学医学部附属病院がんセンター教授）	山下 裕（鳥取市立病院副院長）
国政 清子（鳥取県立中央病院医療情報管理室看護主任）	吉中 正人（県医師会理事）
古城 治彦（山陰労災病院副院長）	

敬称略

### 編集後記

今や世の中はがん登録に対する期待は大きくなっており、その評価は追い風となっています。鳥取県がん登録のホームページも多少の改良と追加を試みて、鳥取県がん登録事業報告書平成20年度版をPDFで掲載、登録情報も随時更新、レイアウトも一新して、わかりやすさと利用のしやすさにつとめておりますので、気軽に利用していただくとありがたいですね。

また、試しに、私の基礎医学セミナーの講義で「がん登録の意義と限界」および「法制化の壁」について学生たちにレポートを書かせたところ、医学生ですらほとんど知らない、という回答でした。やはり、全国民へのがん登録の意義や必要性についての認知がまず重要、法制化はその後、まだまだ情宣がたりない、という意見が大多数でした。

わが登録室の実務作業も、標準集計システムの構築が完了し、念願の平成元年まで遡った死亡情報の追加作業が開始できたことと生存率解析ソフトの開発によるシステム更新の目途がついたことは、今年の大きな収穫といえます。これによって、生存解析もやり易くなり、鳥取県における「がん診療の均てん化」への質的評価に役立てることも現実的な話に近づいてまいりました。現在、追い風となっている「がん登録の推進」や「がん対策推進」に大きな力になるとともに、がん登録の存在意義を知らしめるチャンスにもつながると思われれます。

今年も、がん登録の届出は順調で、登録精度はDCNが20%を下回って、DCNの一桁代達成も間近と思われれます。これこそ、がん登録に携わっている者の実務者冥利につきるといえるでしょうか。これも偏に、日頃からご協力、ご支援いただいております届出医療機関の方々のご尽力があればこそ、と感謝いたしております。

なお、本報告書は、小林まゆみ研究補佐員の協力のもとに完成することができました。不備な点も多々あるかとは思いますが、忌憚のないご意見・ご感想をいただけますと幸いです。

平成 22 年 3 月吉日

鳥取県健康対策協議会 がん登録対策専門委員会委員

鳥取大学医学部健康政策医学分野 岡本幹三

鳥取大学医学部環境予防医学分野

がん登録実務担当 小林まゆみ